臺灣日日新報 夕刊
六月五日
夕刊定價一部二錢
編輯兼發行人 臺北市榮町四丁目 … 發行所 臺灣日日新報社 基隆支局 臺中支局 臺南支局 花蓮港支局 大阪支局 東京支局

この上の優柔不斷 最早や許されぬ

何應欽との第二次會見で 酒井參謀長言明

【北平五日發電通】四日午後何應欽との第二次會見において酒井參謀長は二十七日の要求の
一、蔣介石の對日二重政策の完全放棄
二、北支に於ける排日機構組織の解消
の二點に就き何等誠意ある表明なきを指摘し何應欽を通じ蔣介石の誠意を再要求した、何應欽はこれに對し自分は努めて事態の擴大を避け自己の權限は勿論權限外の事項に就ても中央に交渉の上善處すると時局の緊迫を聲明したが酒井參謀長はこれを撥ねつけ「この上優柔不斷に出るなら我方は適切な手段に出づることあるべし」と重ねて言明した

……ものと察せられてゐる

聊かの誠意も—— 認め難き狀態

會見後酒井參謀長語る

【北平五日發聯合】何應欽氏と二時間に亘つて重大會見を了した酒井參謀長は會見後左の如く語る
本日の會見では我方の通告手交後今日までの經過を聽取したが未だ我々の希望を滿たすものがなかつたから嚴重督促をして置いた、蔣介石氏の回訓電報も來てゐるが聊かの誠意も認むべきものがない樣な狀態である、將來如何なる事態を發生するか保證し得ないが皆蔣氏の責任である、それを良く蔣氏に傳へる樣念を押して置いた、更に僕の國民黨觀、蔣介石觀をざつくばらんに述べてその決定を促した

永田軍務局長 天津に赴かん

【奉天四日發電通】永田軍務局長は都合に依り更に北支に到り梅津天津軍司令官に會見、林陸相の意圖を傳へ今後の北支對策に就き直……

學良、飛機で成都へ 北支問題牽制の魂膽か

【漢口五日發電通】張學良は蔣介石と會見の爲め三日飛行機で成都に發行したこと判明した、于學忠排斥問題、北支學良系分子の追放問題等に付き直……等の進言せる北支解決策に對抗し自己の立場を強調してこれが牽制せんとするものと見られてゐる

商震氏、部隊を平津移駐 于軍の完全撤退を勸告

肯かねば實力を行使

【天津四日發電通】四日午後八時半支那側發表によれば、平津警備司令たるべき商震氏は麾下部隊を直ちに平津に移駐し、日本側と密接なる連絡を保ち治安維持に當るべく于學忠の完全撤退を勸告し、若し于學忠が肯かざれば實力行使に出る意氣込みである

國家の美風と軍機 斷じて守るべし

蘭船事件に關して 臺灣軍當局の談

蘭船ジュノウ號事件管轄移轉問題に關し臺灣軍當局は五日午後一時左の如く土橋高級參謀をして談話の形式で發表した

和蘭汽船ジュノウ號の船舶法違反事件は臺南地方法院合議部に於て第二審中與知被告人の代理人たる辯護人等より刑事訴訟法第十六條の規定に基き地方民情により裁判の公平を維持する能はざる虞ありとし管轄移轉の請求をなし、その結果

遂に事件は 臺北地方法院合議部に移管せらるる事になつたのであるが被告人の代理人たる辯護人等の右管轄移轉請求の理由に付き聞く所に依れば、高雄、臺南州下の帝國軍人、在郷軍人、海軍軍人其他の民衆中國防會を組織し又は個々に、或は法院に對し數回書を提出し、或は新聞に投書し、或は演說の方法等により或は集團に…… [illegible]

我國の軍機 を保護するため被告人を嚴罰に處するの要ありと盛んに宣傳し、其他…… [illegible]

今回の汚名 を雪がんと努力するに至つたのである

×

……ものにして斷じて許すべからざるものとす、當分命は國家の……を紊亂し……

×

つらつら思ふに本事件は……

靜觀主義を 持し來……

精神の美風 を否認……

裁判所より ……

訴訟事項に 關し……

僅か四日の壽命で 佛內閣が總辭職

ラヴァール外相に對して 後繼組閣の命下る

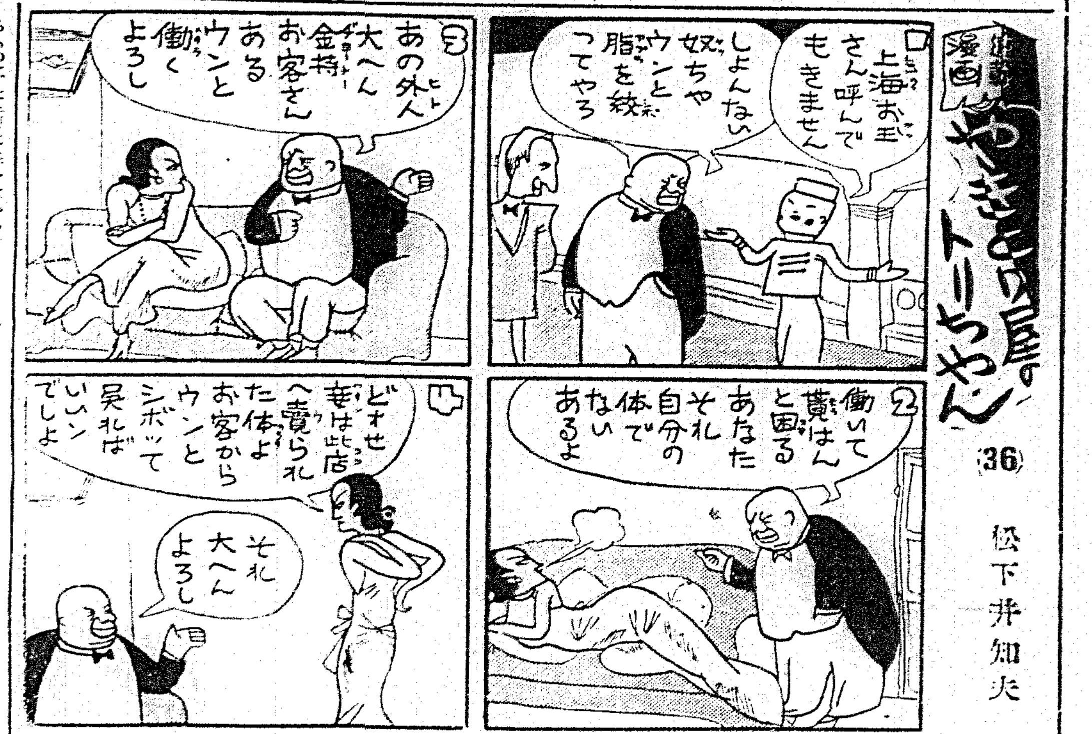
【パリ四日發聯合至急報】フランスのブイソン新內閣は四日午後八時下院における新政府信任案討議に二百六十四票對二百六十二票の僅少の差をもつて否決し直ちに總辭職を提出した、ブイソン內閣は……成立したもので……であつた

【パリ四日發聯合】…… [illegible] 後繼首相はラヴァール氏

參與三十名 正式發令さる

【東京五日發聯合】調査局參與三十名は五日午前十一時左の如く正式發令された

資源局長官	川久保修吉
對滿事務局次長	川越丈雄
外務次官	重光葵
內務次官	丹羽七郎
大藏次官	津島壽一
陸軍次官	橋本虎之助
海軍次官	長谷川清
司法次官	長島毅
文部次官	三邊長治
農林次官	長瀬貞一
商工次官	吉野信次



遞信次官 大橋八郎
鐵道次官 喜安健次郎
拓務次官 入江海平
正四位勳一等 佐藤寛次
正三位勳三等 子爵 大河內正敏
正四位伯爵 酒井忠正
正四位子爵 愛松友光
正四位勳三等 池田宏
同 中村與兵衛
正五位勳三等 瀧正雄
同 野田文一郎
正六位勳四等 男爵 深尾隆太郎
從四位勳三等 中島彌團
從七位 田中貢
岡谷敬助
栗本勇之助
福澤泰江
小林一三
庄司乙吉

その日その日

○ 讀者を出し惜むのか、それとも……

○ ……

人事

無絃琴

朗らかな人生

(61)

光明静夫作 田中比左良畫

エレヴエーター・ガール (七)

……

全國初等教育者の大會 臺北で開くに決る
島外から五百餘名の多數が出席
會期は十月卅、卅一日の兩日

今秋の始政四十年記念博覽會期中に全國初等教育者大會を開催する議に就ては豫て帝國教育會と臺灣教育會との間に交渉中であつたが、その後進行し目下文部省主催の全國學務部長會議に列席中の阿部督府學務部長も種々を以て交渉方に特派されてゐたが愈々左記要項の下に開催される事に決定した

一、會場 臺北市醫專講堂
一、主催 帝國教育會
一、會期 十月三十日、三十一日の兩日
一、參加者 全國初等教育者並に初等教育關係者
一、區域 內地、外地、朝鮮、臺灣、樺太、滿洲國、並に外務省指定學校(マニラ及び香港に於ける)

而して大會の主催者は便宜上帝國教育會とされてゐるが實質的には臺灣教育會の主催と同様で決定と同時に臺灣教育會より內地各府縣及び外地當局に勸誘狀を發したが出席者は大體內地、外地より五百名、島內二百名 計七百名に上るものと豫想され割引運賃等は目下交渉中である、而して舊きの東京市長現帝國教育會長永田秀次郎氏が出席となれば同氏の講演も期待される譯である、大會の日程は

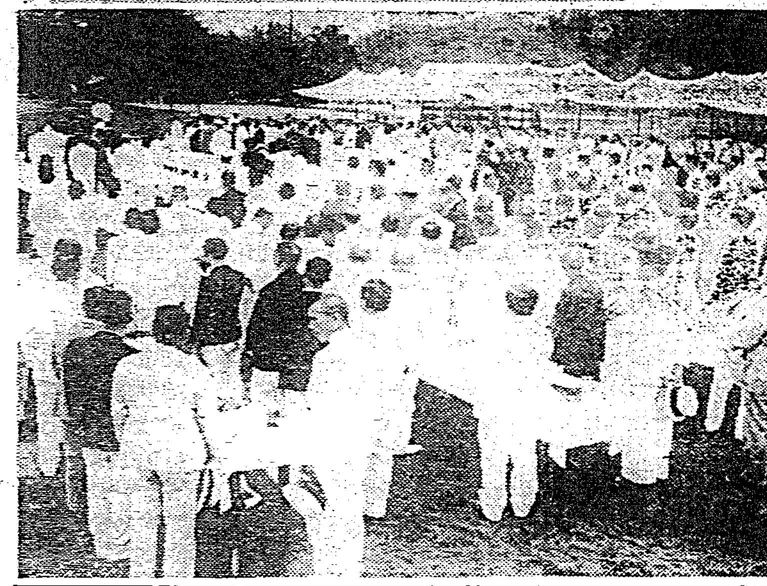
第一日 開會の辭に次いで國歌奉唱、勅語奉讀、主催者挨拶、祝辭等あつて議事に入り臺灣の教育事業に關する講演あり
第二日 議事終了後山內及び博覽會觀察

大會終了後は出席者各班に分れて島內視察を行ふ豫定であると

博覽會の地鎭祭 けふ新公園で擧行
關係者三百餘名が參列
式後、冷酒で祝宴を開く

臺灣博覽會の地鎭祭は既報の如く五日午前八時より新公園の廣場にて盛大且つ嚴肅に擧行された、祭壇はコート寄に設けられ齋主山口宮司以下奉仕、この日の參列者は總督代理平塚長官、軍司令官代理桑木參謀長、警務局長、倉岡長、保田臺銀、三好德三郎氏等民間人、並に博覽會協賛會の職係役員委員など無慮三百名出席

先づ修祓ありて山口宮司の降神、祝詞あり、數地祓の後平塚博覽會長の鍬入、松木協賛會長(代理松岡理事長)の鍬入、井手工務部長の鎭物等の行事あり、次いで總督代理、軍司令官代理、博覽會長代理(奧田特產課長)協賛會長代理(松岡理事長)知事代理(福元內務部長)市尹、工務部長、來賓代表保田臺銀頭取、土木協會代表(關係氏代理)の玉串奉奠あり式を終つた、かくて式場寄りの廣場に設けられた祝宴場にて冷酒を酌み酣な祝宴を開き平塚博覽會長の挨拶あり來會者のため乾杯した、之に對し松岡理事長は博覽會の隆昌を祈つて乾杯し九時過ぎ散會した



博覽會地鎭祭
上 平塚會長の鍬入れ
下 祝宴

臺比水上競技會の競技種目が決定
比島側が臺灣の提案を認む

今夏八月比律賓マニラに於て開催の第四回臺比對抗水上競技大會の競技種目に關して臺灣體協と比島體協との間に異論を生じ、爾來數次の交渉も進捗せず一時暗礁に乘上げた形があつたことは既報の本紙が屢々報道せる所であるが、臺灣側の正論的主張に對して比島側も承認し得ざる破目となつて茲に臺灣側の提案を容認する所となつた、斯くて行悩みの狀態にあつた競技も圓滿に解決し前大會の競技種目から五十米自由型を除く左の十一種目が今次大會の競技種目と決定した、尚今次大會に於て初めて擧行することとなつた女子公開競技の競技種目に關しては比島側の提案を臺灣體協に於て承認し左の五種目に決定をみた、大會開催期日の問題は比島側は八月十六、十七、十八の三日間を主張してゐるが、臺灣側としては特使の關係上マニラ着後二日間の條件を必要とすることから八月十八、十九、二十日の三日間を主張してゐるがこれも近日中に解決をみる筈である

臺比對抗水上競技種目

◇第一日
1 一〇〇米自由型(男) 決勝
2 一〇〇米自由型(女) 豫選
3 一〇〇米背泳(男) 決勝
4 八〇〇米自由型(男) 同
5 四〇〇米自由型(女) 同
6 二〇〇米蛙泳(男) 同

◇第二日
1 四〇〇米自由型(男) 決勝
2 一〇〇米自由型(女) 同
3 二〇〇米平泳(女) 豫選
4 二〇〇米背泳(男) 決勝
5 一〇〇米背泳(女) 豫選
6 四〇〇米繼泳(男) 決勝

◇第三日
1 一〇〇米自由型(男) 決勝
2 一〇〇米背泳(女) 決勝
3 二〇〇米平泳(男) 同
4 二〇〇米平泳(女) 同
5 一〇〇米平泳(男) 同
6 四〇〇米繼泳(女) 同
7 八〇〇米繼泳(男) 同

豫定日程
八月一〇日(土) 基隆發ガンヂス丸乘船
同 一四日(水) マニラ着
同 一六日(金) 一七日(土) 一八日(日) 競技
同 一九日(月) マニラ見學
同 二一日(水) マニラ發、ウエナス丸乘船
同 二三日(金) パコロット着
同 二四日(土) パコロット水泳大會
同 二五日(日) 同
同 二六日(月) マムブカル見學
同 二七日(火) パコロット發
同 二八日(水) マニラ着
同 二九日(木) マニラ發ガンヂス丸乘船
九月一日(日) 高雄着
同 二日(月) 基隆着

臺灣選手一行人數
男子選手 一三名
女子選手 六名
監督 一名
外 一名
計 二一名

女子は公開競技にして全比本人其の他在比外人等參加し國際的競技になるものの如くである

新竹州產倉協會を設立

【新竹電話】新竹州產業組合聯合會新竹支會では四日午前十時より州會議室にて產倉關係者會議を開催、郡市係員並びに產倉關係者四十名參集の下に諮問、協議、注意各事項につき協議、午後三時散會したが、新竹州下の產業組合は更に米穀の改良を圖り[illegible]とする共同販賣の傾向にあるが此の種統制機關なき爲め今回之が合理化と產倉の向上とを以つて一丸となり產業發達に資せんとする目的の下に新竹州產倉協會を設立する事が決定した

廣東の一般民衆は日本に好意を寄す
中山大學の馮教授語る

廣東丸入港

【基隆電話】商船南支航路廣東丸は五日朝基隆に入港したが乘客百二十名中に廣東國立中山大學農學院の教授馮銳氏に引率された學生七名の東亞農業考察團がやつて來たが馮教授は我が東大出身の農學士で流暢な日本語で左の如く語る

四十八日間の豫定で臺灣日本內地と各地の農林業施設を視察に來ました、臺灣には一週間乃至十日間滯在の豫定です、廣東の

製糖業 は未だ初歩で主として甘蔗種の栽培をしてゐます、中には在來種も多數混じつてゐます、製糖工場は現在三つあり技師はアメリカ人で將來の企業指導計畫は其外セメントの事業も非常に有望視されてゐる、又農業では水稻の改良に努めてゐる、廣東に於ては一般民衆は皆日本に好意を寄せて平等を原則とする日支親善を希望してゐる、北支事件は出發間際のゴタゴタした最中なので詳しいことは解りませんが、ああ云ふ問題の起ることは日支將來の爲めによくないことは勿論です、私達は學者で政治上の問題はくわしく知らず又語るを欲しませんが、[illegible]

囑託に なつてゐる[illegible]

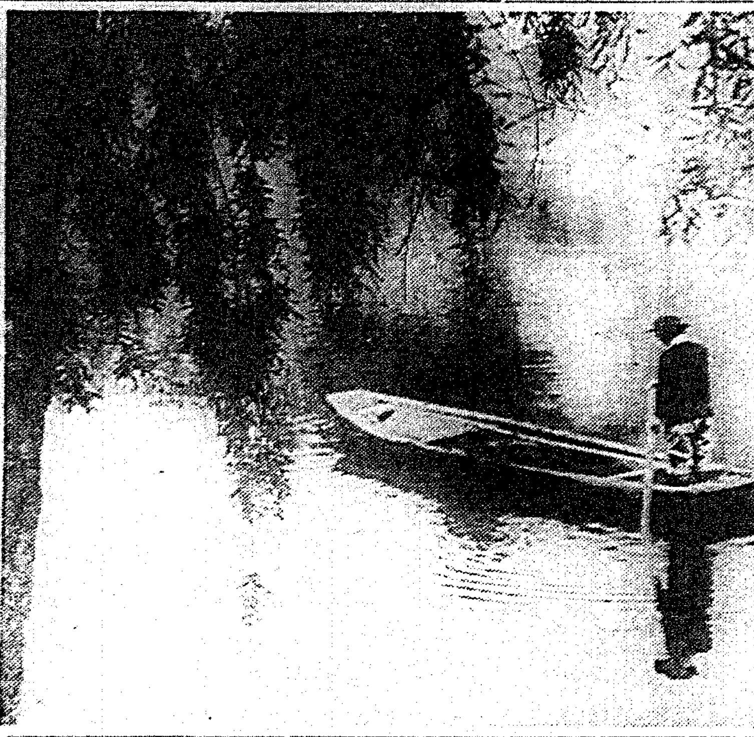
中山大學の學生視察團 臺北着後は市內見學

本島農業視察の爲め五日朝基隆入港の廣東丸で來臺した廣東中山大學學生視察團一行七名は午後零時二十六分臺北驛着、直ちに督府文教局を訪ひ、[illegible]の案內で博物館、植物園、同構內中研林業部、商品陳列館等を見學、鐵道ホテルに投宿した

梅蘭芳の厦門行き決まれば臺博の頃
臺灣からの招聘熱望に
王厦門市長好意を示す

(寫眞は梅蘭芳の舞臺姿)

【厦門特置員發】[illegible]



そぼ降る雨中の藻刈船
櫻田門附近にて

閩贛鐵道を福建政府が計畫
古レールを使つて

【福州特置員發】福建省政府では江西省の上饒から閩北の延平までの所謂閩(福建)贛(江西)鐵道を敷設する計畫の下に浙贛鐵路局に援助方を依頼したところ、同局より技師士化鈞及毛以聲兩氏を派遣して來た、同鐵道計畫の動機は浙贛鐵路局理事長曾養甫が蔣委員長の許可を得て多額の鐵道公債を發行し、それを以て玉萍鐵路完成及び杭(杭州)江(玉山)線の輕軌道を重軌道に敷き換へることになつたことが判明した爲舊軌道用の古レールが不用となつたので之を以て玉山の上饒から閩北の延平までの鐵道を敷設せんと計畫し[illegible]の諒解を得たさうである、同省江西省の境界から浦城を經て延平までの間は已に乘合自動車が開通された

禮を厚うせねば容易に來まい
本島人側有力者談

[illegible]

電化工場敷地の埋立を急ぐ
人夫を增して

【基隆電話】基隆市外木山に於ける臺灣電化株式會社の工場敷地三萬坪は去月末から人夫二百人內外を入れ埋立を急いでゐるが、[illegible]

基隆にまたヨットが入港
太平洋横斷の爲といふ
息子と

【基隆電話】[illegible]

朝日丸入港遲る
强風の爲門司を遲く出港

【神戶四日發本社特電】朝日丸は門司入港後强風のため[illegible]

新竹商工會議所の臨時總會

【新竹電話】新竹商工會議所では[illegible]

仕方がなかつた

[illegible]

臺北近郊の風物を撮影
鐵道部旅客係が宣傳用に

[illegible]

福州の洪水危機を脫す

【福州五日發】福州の洪水は四日午後より漸次減水し五日朝に至り殆ど全く危機を脫した、省政府は目下被害調査中

新帝展に槐人社反對
聲明書を發表

【東京五日發連通】[illegible]

岡田三郎助氏も會員就任を受諾
四十九名の顏が揃ふ

【東京五日發】[illegible]

新竹州宣傳協會を組織

【新竹電話】[illegible]

電化工場敷地の埋立を急ぐ 人夫を增して

澎湖郷軍分會から代表三名が出席
臺北の演說會に

【馬公五日發】澎湖郷軍分會[illegible]

第一聯隊で依託に應ず
十六日新公園で檢查

軍用犬訓練

臺灣步兵第一聯隊では軍犬訓練依託に關する規定によつて民間所有の軍用犬の訓練依託を受理することになつてゐるが[illegible]

臺灣軍用犬同好會が帝國軍用犬協會に合流

[illegible]

あすの天氣 (臺北測候所發表)

臺北地方 南東の和風曇一時驟雨
[illegible]

潮汐 (六日)

基隆 滿 午前[illegible] 午後[illegible] 干 午前[illegible] 午後[illegible]
淡水 滿 午前[illegible] 午後[illegible] 干 午前[illegible] 午後[illegible]

各地氣溫 (六月五日午前十時)

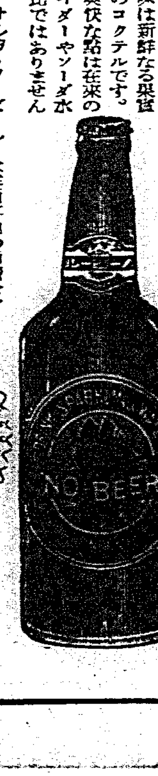
[illegible]

ジール 体温計
世界中の醫師が持つ!

尿の病 正しき漢藥 腎臟・膀胱・尿道の漢方藥! 本舖 大阪市 長倉製藥所

船車醉に はれやか ¥.30 ¥.50 ¥1.00 ¥2.00

流行歌 佐渡の子守唄 阿部幸次
B 菅笠しぐれ 東京富丸
浪曲の粋 山風の孤兒 天光軒滿月
父歸る
タイヘイレコード

アサシオ・ノービール
アサシオ・ノービールの味は新鮮なる果實汁のコクテルです。其爽快な點は在來のサイダーやソーダ水の比ではありません
アサシオ・ノービール は洋酒其他の酒類を混合して下さい。素的に旨いビールになります


臺北・臺南・高雄 總代理店 越智商店
製造元 大阪 アサシオ飲料株式會社

胃腸に わかもと

親鸞聖人 (228)

吉川英治 作　山村耕花 畫

女人篇

九十九夜 (三)

その晩、尋有は先に臥床を出て大乘院の外に忍んでゐた。

ぽつ――と冷いものが顔にあたつた。雨である。然し、雲が明るい。糸のやうな雨が翔けてゐる。

「降らねばよいが」

夜毎にこの闇を歩む兄の身を思ひやつて祈るのだつた。

静かな跫音が今山門を出て行つた。範宴である。勿論氣づいてゐるはづはない。尋有はその後から見え隠れに兄の影を追つて行くのだつた。

雲ですら危險の多い横川の谷間を、範宴は、闇を衝いて下りて行く、何か、蘇々とした目的でもあるやうな足だ。むしろ尋有の方が遅れがちなのである。

渓流に沿つて、道は白川へ出けて來る。その頃から風が募つて、

で二更を告げた。

「この道を？……いつたい何處へ行かうとなさるのか」

愈々、兄の心が尋有には解らなくなつた。粟田山の麓から、長い雑木林の道がつづく。水をもつた落葉を踏んで飽かずに歩むと、やがて、黒い町の屋根が見え、三條磧の水明りが眼の前にあつた。

河はもうこの一降りで水嵩を増してゐた。激流が稲の行に白い泡を嚙んでゐる。六條までも下がれば橋はあるが、範宴は淺瀬を見ましてそこを渡渉して行かうとする。

「あ。あぶない」

尋有は自分の危險をわすれて、河の中ほどまで進んだ兄の姿に氣をとられてゐた。法衣のすそを落くからげても飛沫は腰でかかるのだつた。それにこの水の冷たさは何うだらう。尋有は齒をかみしばつて、一歩々々、河底の石を足の爪先で探りながら歩いた。

耳を聾ふやうな北山颪に、大粒な雨が交つて、顔を打つ、衣を打つ。

すざまじい空になつた。黒い雨雲がちぎれて飛ぶ間に、月の端が不意に顔を出すかと思ふと、一瞬に又まつ暗になつた。がらつと響る物音は、竦んずる足もとを脅かすのである。尋有はともすると見失ひさうな先の影に、喘ぎをつづけてゐた。

草鞋の緒でも切れたのではないか、範宴は禪林寺の築垣あたりで辻堂の縁にしばらく休んでゐた。禪林寺の鐘の音が、吠える風の中

と――砂利でも撒つたやうな深い瀬へ、尋有は足を踏み入れた。

あつ――と思つた時はもう迅い水が咽首を切つて流れてゐた。

「兄君ッ――」

思はず尋有は叫んでしまつた。そして、四、五間ほど流されて、水面に手をあげた時、範宴は水煙りを上げて、彼の方へ駈け戻つて來た。

文日　何其明月

筆蹟　赤壁賦　(二〇二)　石原西涯篆

美術時評　橘小夢優奇世繪展を観る

三杉與志三

▲郷作版畫會の盡力によつて、はじめて見た小夢氏の肉筆は、全く何と言ひ現はしてよいか、私にとつては一種の驚異であつた。寫歎であつた。肉筆によつて見た真大の異彩であつた。

▲會場へ一歩足を踏み入れた瞬間私の心の異常へ突入して、ある種の異常を飛び出したものであつたことは爭ふべからざる事實である。日本畫家に見ぎりつつ驚異をつて居た變人にめぐり逢つた時の心持とでも云はうか「しぐれ」「異端」あたりの前に來た時には、良にもあらぬうつつの境に彷徨し

オリンピアの摸寫　目下巴里に滞在して鋭意精進してゐる劉啓祥氏はルーブル美術館のマネー作品「オリンピア」「笛吹き」及びルノアール作品「ニンフ」等三枚の摸寫をこの程完了した、これは何れも一百號以上の大きさのもので、臺灣の畫愛家に紹介するを目的としての榮寫である、同氏は來秋歸國の途に就く筈である（寫眞は摸寫中のオリンピアと同氏）

果して賣國奴？「北進日本」の密賣

文部省の推薦の國策映畫「北進日本」は去月臺北新世界館で上映したが、この映畫に關しフィルム密賣の嫌疑が起り當局では極秘裡に調査中である。

× ×

日本人が日本の不利なやうな映畫を外國に高價で賣りわたした例は國際聯盟脱退當時に一つあつた、この映畫が現像され焼き付されたフィルムは松岡代表がゼネバに到着してからの「さよなら演説」をする前に列國代表に觀覽せしめたのだつた。

特に悲慘な支那人の狼狽ぶりのみを撮影したかとまで思はれるそのフィルム、しかもそれが某軍の背後から撮影したと思はれるフィルムが、外國代表をいかに刺戟したかはすぐ想像できる。世界各國の秘密は東洋の點中日本に集中されてゐる。日本の秘密を極小の事實でも彼ら外國にとつては貴重の如く思つてゐる。外國系映畫會社はいろんな手段で日本の秘密をさぐらうと手をさしのべた。

× ×

からした國防映畫中のマスターピースが「北進日本」であつた。津輕海峡附近には函館港を中心にした津輕第一要塞地帶、尻岸内並の第二要塞地帶、大間弁天島の第三要塞地帶があり、海軍要港大湊を中心にした大湊要港地帯があつて、日本北部の戦略部と注目されてゐる地帶である。千島列島も飛

外國系映畫會社は本國へ送る時檢閲を恐れて未だ現像のままのネガを送る。日本では技術的にうまく現像ができないと表面の理由である。現像してあればどんどんカツトされてしまふから生フィルムのまま日本外に密送して了ふ。映畫「北進日本」に表向き東京某新聞社と海軍省がやつたことになつてはゐるが實際は極消シネマである。

× ×

極消シネマは撮影請負業であるこのシネマの作製した「北進日本」はどこのところからうに某大國の手に渡つてゐるコトが近頃に發見された。悪用に製作したのだから、ほしいと云へば賣るコトには支へはあるまい、さう云へばソレまでの話だ。だが、某大國が賣つた「北進日本」は津輕要塞地帶の手によつて映畫に檢閲されたフィルムではなく、未現像のままネガ・フィルムであつたとしたら大問題である。

しかもこの映畫には日本人でも外國映畫界に永年出入してゐる某氏が仲介となつてこちらから某外國に賣込みの商談と云ふ目録を密かに取引されてゐると云ふ噂に至つてなか……この事實は本人はあるまい。

この發行部について極の方面の當局のきき込むところとなり、極消シネマの事情は再び密偵され取調べを受けてゐるが、ネガ・フィルム賣込み事實があれば一大事件で新界の注目を集めてゐる。

× ×

陸軍並海軍當局では要塞地帶は撮影してゐない筈だがネガ・フィルムだとするとその有無は判明しない、レンズをほんの僅か一分か五厘右左に下に動かしても要塞地帶がその顔をつてしまふから？だがあの映畫は大へん重要な方面をとり入れてゐるから困つたことだ、それに最近は特にスパイの話題が喧しい時期である

と語つた、たとへ密賣とは云へ海軍省後援文部省推薦と銘うつた國防映畫を巨額で某外國に賣りつけたことが事實であれば、その心事全く憎むべきである。

（東京特信、豊島生）

俳優藝談　春琴に扮する苦心

田中絹代

谷崎先生の「春琴抄」が「お琴と佐助」と云ふ映畫的な題名となつて島津監督の手で製作されましたが、私にその難役たる春琴に扮し生れて初めての盲目となりました相手役の佐助には京都の高田浩吉さんが適々出演されました。

さて凡そ純文學として定評の高い大阪を中心とした春琴抄の映畫化は、一つの冒險であると存じますが、それを敢て決行した所に新興の人として、島津監督の映畫藝術に對する野心があつたと感嘆致します

映畫「お琴と佐助」が單に谷崎先生作「春琴抄」の筋を追ふだけでは意味ないことで、と云ふことは從つて其處に盛り立た私共に多くの

盲目が課せられたわけであります殊に春琴の役は盲目の爲に表情に變化がなく、又眼明の様に慢の動きが少い爲に、普通の芝居と全然趣を異にしてゐます、のみならず而も春琴その人は普通人以上に感情の變化がありますし、顔ふに春琴役は心の動でなければなりません。

新ら考へまして私はそこで最初から全然脚本に依頼しないで只原作を熟讀し春琴の感情を自得するやう努力致しました、島津監督も云つてをられますやうに、脚本には原作の感情など少しも表現されてゐないので脚本を讀むことに依つて監督の意圖から離れる懼れがあつたからです。

私は原作を讀んだ後更に原作を熟讀された監督の話を聞いただけで心の動として春琴の神情を表しました、變化の少い表情と動きの少い動作ですから心の動の反映こそは普通の演技以上の表情となり動作とならねばならぬと云ふ所に價値があると存じます、心眼を開き心の動を掴むらを通して感傷な心の動の反映を見た丈けに懸けて私はひそかに頷つて居ります。

（寫眞は田中絹代の春琴）

初夏から秋への新館洋畫陣　ラインアップ

臺北新世界館はさきにアメ白先・クリーンを改装して、發聲映畫に全力を努したが、この程各映畫會社と提携して、これからの新作にそなへることになつたから、ファンの好評を博することであらう、同館の主なる作品は左の如くで各社開映の封切まで陸續と封切ることになつた

【メトロ】　大陸非常線、男の世界、寶島、颱風、メリー・ウイドウ、白衣の騎士、かたみの傑作、虹の都へ、爆弾の類紅

【ユナイト】　復活、岩窟王、愛秋、ロスチャイルド、濁流、女優ナナ、羅馬太平記

【ワーナー】　最初の接吻、空の艦隊、つばさ、お嬢様大行進、傑作大勝利、泥醉歩、これがアメリカ艦隊、ワンダー・バー

【パラマウント】　可愛いマーカちやん、ルムバ、三日姉妹、明日なき抱擁、恐怖のページエント

【三映社】　怪人マブゼ、外人部隊、女の心、陽氣な連中、さよなら、モスコウの一夜

尚この他PCL、日活の傑作をこれに附加して番組を編成する由である

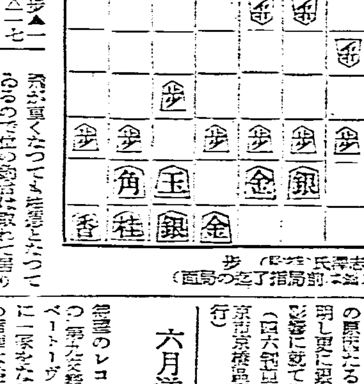
名家敗退將棋 (三)

(志澤氏一回勝二回目)

香角香交 七段 △小泉兼吉

香落番 四段 ▲志澤春吉

△小泉氏（持駒）歩歩



▲志澤氏（持駒）歩（第十一譜・指了局面）

△三六歩▲一八飛△四五歩▲一一香成△八八角成▲同銀△二七歩▲同飛△三六角▲二一成香△一六歩▲一九飛

△小泉七段日く　三六歩に一三歩と辛抱する手もあつたが、思ひ切つて…

▲志澤四段日く　一八飛は…七二にゐるので、…

◇大崎八段評　…

新刊紹介

◆世界は何處へ（新聞聯合社編）世界經濟の最近の大勢を統計と圖表を以て一目瞭然に說き明かしたもの（四六判百頁一一〇頁定價九十錢東京市京橋區銀座西八丁目同社發行）

◆銀の悲喜劇（新聞聯合社編）最近に於ける銀價の昂騰とその原因たるアメリカの銀政策を說明し更に銀價昂騰が支那に與へた重大影響に就て簡明に解説したもの（四六判百頁七三頁定價三十錢東京市京橋區銀座西八丁目同社發行）

六月洋樂新譜　コロムビアもの

今度のレコード、ベートーヴェンの「第九交響曲」…ベートーヴェンの靈魂に於ても…

臺日案內

内地土産　外國パイナップル　桐田商會

品質保證　桐田の冷し西瓜

寫眞　トウゴーカメラ

時計眼鏡　メガネ專門は和田　メガネ專門日光堂

樂器　山葉オルガン特賣中

ラヂオ　ラヂオ一八

電器器具　川北電氣商會

雜件　特許商標 辨理士岸喜鑑　玄米精乳と牛乳　小貸金　ベニヤ板各種　流質品何でも有る店　樺山アパート　冷ビール冷西瓜

王突台　世界的選手 鈴木龜吉商店　鈴龜の五台

りん病　世界一療法

臺北市街圖　定價五十錢　發行所臺灣日日新報社

每月 車しマクニン 年中明快！

專賣特許　花柳病豫防藥 レーロー

王冠印事務用鉛筆

猫イラズ　家の鼠に猫イラズ　野鼠に猫イラズ　植木の鐵砲虫に猫イラズ　にせものあり御買求の節は商標と猫イラズの名稱に御注意　本舗 東京本町 成毛商店

素張らしい賣行!!

コーラン着尺　のらむしニ布　コーランちぢみ帯　大賣出し

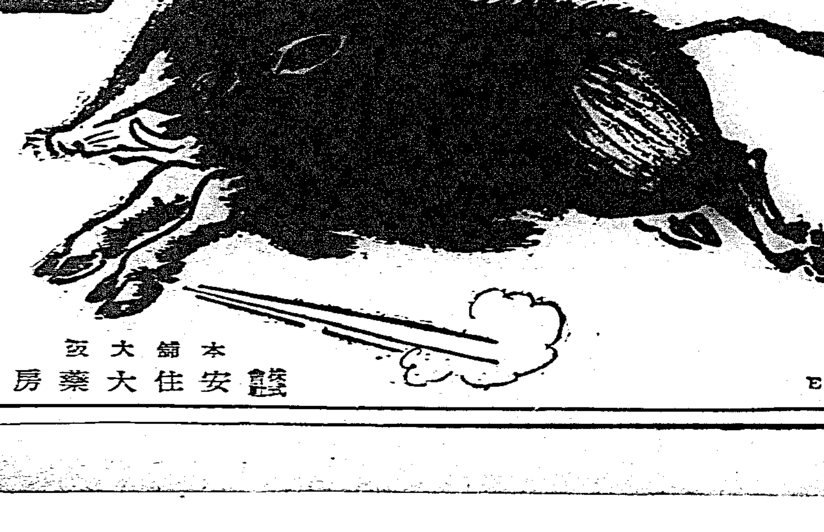
全島一流吳服店に在り

船よび汽車よび酒のよび　ノーシン　ありやこそ心配なしだ

一匹の蚊　一夏に千匹の蚊に繁殖　一本の猪印　一夜に千匹の蚊を撲滅

世界五十餘ケ國に輸出　即ち全地球人類の約八十パーセントの需要

キンメ火持の一番よい　安住蚊煙香



本舗大阪　安住大藥房

糖價米價高昂時代
甘蔗買收價必增額

各製糖工場十一、十二年期蔗作獎勵規程。本月中大部分可發表。現因米價騰貴而甘。獎勵金補助金須多少增額。四月間粟價暴落八十五圓。現已破六十圓。如再落。以中北部產米地。以水田種蔗之工場。値此粟價反落蔗作獎勵容易。獎勵規程亦好發表時機。夫今期產糖一千五百七十萬擔以上。來期料有一千七百萬擔以上。需出糖增加。年來製糖會社因糖價暴昂。得利三四成。然者米價相當好價。獎勵蔗勢必增額。不然則轉向於米作。會社正要考慮時機也云。

大湖福基間 道路埋沒 交通杜絕

新竹州大湖郡獅潭庄桂竹林前大湖福基間道路第一隧道兩側。因餘震及豪雨岩石崩潰。道路埋沒約五坪。自四日午前五時。自動車及臺車。交通不能。現正努力於復舊工事云。

東京漸有買意 契約少數 蓬萊米況

去四日株式暴落。後場試節。米價受其影響。大阪先限後場亦於廿九圓二十錢賽强保合。同日東京浮水九圓六十錢欲買。視前日加賣十錢。又東京銘柄四日前場七月限寄付九圓五十一錢。八月限寄付九圓五十三錢。大引九圓六十錢。蓋前年六月初。契約米已採買約三百萬袋。刻下不過百三十萬袋內外。減少大半。京濱阪神四大都市以外。採買無多。客月來阪神强氣主買。損失不少。至客月下旬始紛々投賣。一部浮水以九圓二十五錢之廉價。賣於東京。從來京濱多弱氣、獲利不少。至三兩日來漸有欲買之意。故浮水自九圓五十錢。按價至六十錢。五日朝期米復有漸昂之勢。蓬萊米隨而稍起。正米市場中限取組。雖減至二百七十七車。而先限却增至七百九十三車。波瀾漸大。每日皆有出米衞塞。每日約有二萬袋十數錢之騰落。昨今高雄以上。高雄港之在庫。亦逐日增加。四日四萬五千餘袋。基隆港之移出。雖不過千餘袋。而高雄港已多出十一萬四千餘袋。目下產地强氣。地場弱氣。而契約米意外少數。至室出時。需要方面須以高價一時來買欵。抑產地於盛出期。依時價賣出欵。必觀七八月間內地米況及天候如何。以爲決定。唯契約米未達半數之間。米價殊未易樂觀也。

島米殘額 減十數萬石 因各種多移出

前年五月一日現在之島內各種米在米額。多至八十四萬一千石。然昨年內地失收。蓬萊米丸糯米在來米多量移出。以致本年五月一日殘存額。減少十五六萬石。即六十八九萬石而已。米穀局米穀統制係發表。其減少現象。二三月來在來米意外缺乏。米價已出現。南部米已登場。島內消費米價。勢必漸落也。

臺灣教育會 懸賞募文 一等七十圓

臺灣教育會。爲資本島教育界振作研究心。自大正十年以來。每年一次。以久邇宮殿下御下賜教育獎勵資金。募集研究論文。其成績頗有可觀。故本年度。仍依左記規程。募集研究論文。

募集規程

題目 公民的教育徹底所關研究。

內容 關對生徒兒童公民的教育之徹底、要實際的具體的研究。

應募 本島內各學校教員並視學。

賞金 對優良者。由久邇宮殿下御下賜教育獎勵資金。授與賞金如次。一等金七十圓一人。二等金五十圓二人。三等金三十圓三人。等外佳作金十五圓若干名。

投稿 寄交文教局學務課內臺灣教育會。封筒朱書「教育論文」。

締切 昭和十年十月三十一日。

審查 依囑審查委員嚴選。

發表 昭和十一年一月十一日。

其他 應募文未經發表外部者。入賞者著作權。本會保有之。

通貨政策金融政策 總期無誤切望支持 深井新日銀總裁談

東京五日電。日本銀行新總裁深井英五氏。四日有語如左。

余久在日銀生活。不須如其自日銀外。而入爲總裁之人。說明其今後特異之方針。通貨政策金融政策所關今後方針之情勢。十分妥立政策根本要順社會經濟發展現在情勢。必欲聽其自然。而不使有所强。自當最善努力。不誤通貨政策之根本。然不得財界一般支持協力。不能滿足遂行。切望民間一般支持云々。

國民同盟 全體會議 安達總裁指示

東京五日電。國民同盟。四日午後二時。於本部開全體會議。安達總裁。及所屬代議士。全部出席。近日來黨內動搖問題所關中村繼男氏質問。野田文一郎氏。將其眞相說明。求其諒解。內容如左。

第六十七議會開會前。曾爲民政黨櫻井兵五郎君所招待。去月二十七日。與古屋。小山。井上。菊池各代議士。共招民政黨諸氏。原是事實。席上關說黨。入黨乃至政黨合同等。別無一言。因將該問題爲中心。交換意見。最後安達總裁。指示黨員言動所關方針如左。

我國民同盟。自立黨以來。主張政黨改革。或政界刷新之氣運。今也漸熟。然際我等同志。要一致結束。以行其志望。乃避世間所疑忌之行動。顧相謙愼。一同諒之。午後五時半散會云。

臺中州各溪漲水 村落多交通杜絕

臺中州地方。去二、三日豪雨。各河川殆見增水。橋梁流失不少。至四日判明被害如左。

一、大甲溪增水三尺。屯子脚。大甲溪自動車橋。三日午後六時流失。現交通杜絕。二、大安溪增水三尺。軌道橋流失。四日午前五時起。七塊厝。卓蘭間。交通杜絕。復舊似要十日間。三、大屯郡黃竹坑溪漲水。大里霧峰間橋梁二處流失。自動車不能運轉。四、大屯郡山脚地方之頭汴溪吊橋。流失八間。及橋脚三枝。五、大里溪漲水。致五張犁嗒哩間橋梁。流失約五十間。按五日復舊。又各地農作物。似無被害。低地方面水田。浸水甚大。今後二日間繼續降雨。恐穗發芽。

高雄各溪增水 竹筏連絡

高雄地方。數日來豪雨未歇。旗山郡楠梓仙溪漲水三尺以上。致旗山。旗尾間橋梁流失。爲是月眉。圓潭子間。鉋子寮。東大丘園間。及田化。六龜。新威間等山面交通。去四日同杜絕。現用竹筏連絡中。屏東武洛溪增水三尺。四日午前六時起。下里港新南勢間交通杜絕。ワウ溪亦增四尺。鹽埔。丸舊南勢間。連絡斷絕云。

臺展會期 延廿日間

第九回臺灣美術展覽會幹事磋商會。去四日午前十一時。開于鐵道旅館。深川文教局長。並臺展各幹事出席。協議結果。本年因値博覽會期中。欲期錦上添花。延長會期二十日間。即自十月二十六日至十一月十四日。以龍口町教育會館爲會場。盛大開會。又臺展宣傳標札。擬于近日募集云。

東遊紀略 其六（續）
漢學決非迂濶

黑船西來。科學上之偉大發明。各種利用厚生。及殺人機械嶄新。足使三百年來鎖國之日本。全國驚駭。於是尊王攘夷。有人出洋求學者有人。主張變法自强者有人。矯角殺牛。排斥漢學。爲無用長物者亦有人。漢學從而衰廢。重以漢學之本土。睡獅不醒。國土日削。富者佩珷、人必以爲眞玉。貧者雖懷瑾握瑜。亦視同瓦礫。是則美惡判於愛憎。而貴賤生於炎涼者也。問管論漢學爲學。非能使國土日削。民族委頓不振。中國也爲漢學。非漢學負中國也。所以者何。中國之人。皆在於不習漢學。及誤用漢學。舉國而國於地球上之國民。其不就學舉之多。致如中國。漢學重在格物。孔子爲聖之時。孔子之教明德新民。何嘗教人守舊。何嘗教爲政者。以八比時文愚民取士。使後於八比。不通世情之士。出爲民牧。或立於廟堂之上。倘論治平。於合文正公所謂實事求是之四字何關。莫怪政治上之永久不上軌道。地方土豪劣紳。及退而走險之徒。視在官者。有如寇盜。賊官屠邑。而莫之能禁。殺人越貨。或嘯聚爲盜。良由所學非所用也。日本國反是。歷代爲政者依儒教之精神。以鼓舞士氣。又無八比取士。所學非所用之弊。明德新民以採取科學長處。所志在於止於至善。治國平天下。不僅以風雲月露。吟風嘲月爲能事也。夫漢學本非迂濶。誤用之則成迂濶。譬如六藝。禮樂射御書數。書數日用必不可缺。射御當時之軍事教育。孔子不云乎。有文事者。必有武功。禮樂。人或視爲迂濶。實則何國無禮。何國無樂。春秋之世。諸侯及國賓客往來之燕饗鼓鐘歌詩。晉國士大夫亦極一時能事。而晉國之隆。致霸於天下莫强。故曰漢學決非迂濶。在善用與不善用之。制而已。漢學而外不知有學。迂濶也。不善用也。漢學之精神。即君々臣々父々子々。仁義忠信廉恥有勇。若徒尙詞章。不善用也。仲尼之徒。雖五尺童子。羞稱五霸。志在致澤。一物不知儒者之恥。迂濶者決非漢色不色。迂濶者。沒却儒教精神。

通貨政策 (見上)

中川總督 首相訪問

東京五日電。中川臺灣總督。五日午前九時。訪岡田首相於官邸。敍歸任之禮。而辭去云。

兒童遊園地 可決縮小

新竹市政五周年記念事業兒童遊園地建設費。將豫算三萬圓。減爲一萬圓。由青木市尹。於去四日午後二時。在市會議室。委員會可決。二時半散會。主要費用。即運動器具設備費三千七百二十六圓。動物舍費四千六百三十八圓云。

汐止遺跡所 十日祭典 決定諸行事

七星郡汐止御遺跡所。訂來十日。依例舉祭。去三日午後一時。假街役場樓上。開磋商會。決定盛大舉行。是日諸行事如左。一、午前九時舉式。二、同九時半。有各小公學校兒童。青年團員。街民等旗行列。三、正午開祝賀宴。四、午後二時。開兒童角力大會。五、午後七時。映寫活動寫眞。及演劇。六、晝夜放花火煙火。

華北問題
再或優柔寡斷 且出適切手段 酒井參謀長告何氏

北平四日電。四日午後。酒井參謀長。與何應欽氏。第二次會見。指摘二十七日要求二點。別無誠意表明。二點如左。

一、蔣介石氏。對日二重政策。完全放棄。

二、華北排日機關組織解消。

因經何氏、要求蔣介石氏考慮。何氏亦首肯之。[illegible]限。而屆限外之事項。亦與中央交渉。而後着處。請暫猶豫。酒井參謀長却之曰。再或優柔寡斷。我自有手段。可以處之云云。

張學良成都行 爲華北問題 會蔣氏牽制

漢口四日電。張學良。爲會蔣介石氏。三日乘飛行機。急赴成都之事已明。即爲于學忠罷免問題。華北已之分子追放問題。黃郛氏等所進言華北解決策高唱已之立場。對抗牽制云。

河北省主席 求何應欽氏 臨時就任

上海四日電。于學忠河北省政府主席。既決定罷免。汪行政院長。擬用何應欽氏署之。因求何氏就任云。

法國梅內閣 組四日辭職

巴里四日電通急報。法國梅諾遜新內閣。四日午後八時。因下院財政全權要求法案。二百六十四票對二百六十二票。差少數敗。直開院內閣議。協議結果。決定總辭職。即時對於大統領。提出辭表。至今始自六月一日組閣。經過四日云。

法國俞總統 命單氏組閣

巴里五日電。法國俞大統領。命上院議長單雷氏組閣。[illegible]

磯谷武官北上 會梅津司令官 面商要事

上海四日電。駐華大使館附武官磯谷少將。五日[illegible]

始政記念放送 自十五日至十九日 有講演演藝其他

始政四十周年記念日。漸々追近。臺灣放送協會。自日來編成順番。大體得其成案。即以十七日記念日爲中心。自十五日至十九日五日間。將臺灣始政四十周年記念放送。中繼於全島。以祝此佳日。徐定順番如左。

▲講演 第一日。在臺三十年以上諸氏。開座談會。第二日。國姓爺物語。第三日題未定。兒玉拓相。第四日。領臺四十年歷史。第五日。臺灣產業四十年回顧。

▲演藝 第一日琵琶。和洋合奏。第二日ラヂオドラマ「鄭成功」。第三日新日本音樂臺灣民謠。第四日謠曲。臺灣歌謠曲。第五日長唄「吳鳳」。臺灣音樂。

三日汐止 臨時街協議會

汐止街臨時街協議會。去三日午前九時開會。石佐藤郡守。楠田庶務課長臨席。協議會員出席。諸追加豫算。及宗齋市場設置等。有二、三質問。照原案可決。議至午後一時閉會。

竹山林內間 竹筏連絡

竹山林內間清水溪。因去三日大雨傾盆。洪水氾濫。是故軌道橋梁流失。復舊從五日間。再被流失一部。至四日起。同方面交通。仍以竹筏連絡云。

南番騷擾 殉職警官碑 舉除幕式

高雄州潮州郡蕃地內文社。大正三年。有南蕃騷擾事件。當時殉職之警視相澤作藏氏。外巡查四名。該墓碑建于內文駐在所構內東邊。該地場狹甚。而附近蕃人三百餘名。及當時反抗蕃人。見蕃社如斯開發。皆相澤警視等之犧牲。始有今日。欲慰其靈。自發的提供經費及勞役。計畫殉難警察官碑。自去四月十日興工。日前竣功。以和田警務課長爲祭典委員長。盛舉除幕式云。

基隆圖書館 夜亦開館

基隆市々立圖書館。移轉于蕉石拔文庫完了。去四日午前九時。舉開館式。續對同館建設功勞者石坂莊作氏。舉總督府之感謝狀。與記念品傳達式。又圖書館使用條令。亦已認可。向來閱覽時間。至午後四時。延長至同九時。以圖利用者之便利云。

本島養鼈業有望 將對地方漸次獎勵 唯販賣要愼重考究

督府水產試驗場臺南支場實町淡水魚試驗所。自昭和六年開所以來。實施養殖試驗。頗得佳績。唯對一部病害。尙須研究。此其完成。其資本島養鼈業。恐爲不少。且將進而漸對地方獎勵。現在鼈價島內一斤五六十錢。較諸內地之二圓五十錢。價格甚賤。故于內地移出頗有望。前者彰化某本島人。以鼈之移出爲有利。曾蒐集自然產者。移出于內地。因與內地產稍殊。然于食味其他。固無大差。而被賤買。竟蒙損害。爲是對內地移出。于販賣方法。必須愼重考慮。本島爲自然的環境。甚養殖比內地極易。在內地市場商品。其成長要四年半者。本島據試驗成績。只以二年半便可與內地品匹敵。若經三年則過大。現在研究事項。要考慮撒出時期及販賣方法。內地需要最盛期在冬季。故其時期之輸送。及至同時之飼養等爲問題。要之本島鼈價格比內地甚廉。且養殖容易。自要考究內地移出合理的方法。又同試驗場。倂爲養殖鰻。然因養殖池不完全。屢歸失敗。而本年試驗川鰻苗。因資廢遲緩。過于長大。擬由東石方面運入鰻苗云。

基隆城隍祭典 獅陣參加 一行二百餘名

基隆慶安宮城隍祭典。照年例於舊五月十日舉行。是日[illegible]。亦將使用[illegible]之獅頭參加。一行人員。達二百餘名。[illegible]

彰化市郡 癩病檢查

彰化市內癩病患者。計有五名。郡部四名。因該症爲傳惡症、有傳染危險、去四日午後一時。召集患該症者。到員林保甲聯合事務所前。施行嚴重檢查。檢查官。則爲衞生課祖技師。郡役本行政主任。署大詞。西中路西衞生主任等云。

霞海城隍 六日例祭

臺北霞海城隍廟[illegible]

龍潭保護者會 學校不熱心 總會不成流會

大溪郡龍潭公學校兒童保護者會。第一回總會。本定三日午前九時起。開於該校講堂。是日會員百餘名。集於該校。觀該校應接之處。全無設備。會場不知何處。乃從參觀教授而歸云。

檢擧密醫 押收所備藥品

彰化市南郭人蔡色。年三十八。曾就職于當市某醫院爲助手。略解醫術。即購備藥品十餘種。及器具。將自宅爲治療室。爲附近之人治療。去三十一。更在同市東門三六五番地、某住宅。診察其三男黃木川年三。被署中內廢兩刑事發覺。往搜查其住宅。押收藥品。歸刑事室云。

國防强化大演說會 五日夜開于鐵道旅館 各地有多數激勵電報

國防强化。軍機擁護大演說會。五日午後七時。開于鐵道旅館。主開者爲臺北在鄉軍人會臺北海友會。並市民有志。全島各地。亦料有應援辯士。參加各地既有多數激勵電報。出演者如左（入場無料）鈴木重爾。陳清波。田中一二。唐澤信夫。柴山愛藏。緒方武歲。泉星浪。山下好太郎。橫尾武男。澤熊海三。林治人。西川純。中村小太郎。淸水記與治。是立乙亥千。謝龍濶諸氏。

兩案竝發

高雄州岡山郡湖內庄白沙崙。元稅關吏蘇生驪。年三十一。客月因密輸網被臺南警署破獲。現拘留訊問中。者番競發覺其金塊走私。去三晚。由署張建田兩刑事。赴市內各金銀舖搜查。至四朝獲得證據。再就木、研訊。蘇供自客年九月間。爲北門郡佳里庄人。向臺南市各金銀舖、以約千圓金塊。定製金器。及本年三月將赴對岸新竹。渡華之際。再購千圓。帶件。均未得如意。然其人眉間有小痣。雖僞名。而人均能認識。故當局。依各店所指。知係必彼所爲。故兩案並發也。

竊取倉庫商品 犯人就捕

臺南市本町人。現住市內下全府町四丁目十七番地無職凱添財。年二十四。自去四月二十日。由市內永樂町三丁目六十番地洋雜貨商新榮商店倉庫。竊取商品五百餘圓外。以同樣手段。由倉庫竊取商品二千五百餘圓。被北署刑事偵知捕去云。

嘉義遊廓 及傷事件

嘉義市榮町三丁目三四林新金。年二十九。去四日午前一時。在市內西門町帝國座前路上。被同六丁目[illegible]

西村被拘 花蓮港街助役 爲贌耕料不正

花蓮港街助役西村繁三氏。去二日突被鳳林支廳。任意出頭形式。命其到支廳。由係官嚴重查究後。附以强制執行處分。留置于支廳內。尙積極查究中。據聞內容。西村氏在昭和二、三年。爲花蓮港廳農會書記。關マタアン之農會所屬土地。贌耕料有不正行爲。至今同始發覺云。

依例一部取消

[illegible]

斗六

視察移民

臺南州佐々木警務院長。去四日到斗六郡。由永山警務課長道。視察新虎尾溪畔之移民村。即日歸南。

開懇談會

斗六街當局。去三日午前十時。假街會議室。招集協議會員等。開懇談會。議題爲將代照市場一旦解約。再行契約。並自治制度實施等件云。

竹山

區委員會

竹山庄區委員會。去五日午前九時起。在同庄役場公會堂開催。協議事項。十年度戶稅生產額稅調查之件。指示事項即地方制度改正主旨徹底所關之件。時之記念日所關。始政記念日所關。郡役所庭會落成。不知森勞水坑間道路開鑿。

記念行事

竹山庄。按來十日時之記念日午前五時三十分。鳴電鐘及以自動車散布宣傳單。喚起庄民對時之觀念。又十七日始政記念在竹山公學校雨天體操場。開官民合同祝賀宴。

郵筒問題

竹山郵便局前紅郵筒。因夜間所投入書信。頻被油蟲噬害。郵務一節。既誌前報。嗣據坂崎局長談。謂閱書報始知。當日立派員對街內三處郵筒。全部以硫黃燻約二十分間。然却無發見蟲跡。若果事實。亦係由外面一時的潛入者。非有蟲巢。今後自當致意。決不負一般期待云。

會事

▲臺北市京町蓬洲洋行李茂浦氏。於古曆端午節。在草山ホテル。開店員慰勞會。

▲詩社去五月二十九日。於法華寺。[illegible]

羅東

歪子歪橋

營林所羅東出張所。森林鐵道中。歪子歪木橋。爲改修工事。去三十日。由營林所係員及包辦人八名。到現場說明。擬近日中。著手工事。

供給肥料

羅東信用組合。最近營業狀況頗爲順調。此次以低廉價格。對農民。供給肥料。經客月中提出願書。去一日得當局之批准云。

水稻豫想

羅東街第一期水稻收穫豫想額。去三日發表如左。▲蓬萊種。三千五百五十五石。比客年減五百九十四石。▲在來種六千三百五十二石。比客年減三十石。▲長糯千二百二十石。比客年增十石。總計萬千百二十七石。比客年減收八百八十六石。而蓬萊種減收原因。爲一部分發生稻熱病云。

商況 五日

米況

正米市況前場

▲一期蓬萊米

	當限	中限	先限
寄		九、三七	九、〇八
高		三六	〇九
安		三七	〇八
			〇七
受渡		一九車	一五車

大阪期米前場

節	當	中	先
一	二九六四	二九五二	二九二七
二	二九六九	二九五五	二九二八
三	二九六九	二九五五	二九二五
四	二九六七	二九四九	二九二四
五	二九六六	二九四九	二九二四
六	二九六五	二九四九	二九二五
七	二九六五	二九四八	二九二五
八	二九六五	二九四八	二九二五
九	二九六四	二九四九	二九二五
十	二九六五	二九四九	二九二五

東京期米前場

	寄	引	高	安
當	二九二九	二九二九	二九三一	二九二九
中	二九三八	二九三六	二九三八	二九三四
先	二九〇六	二九〇四	二九〇九	二九〇四

神戸期米前場

	寄	引	高	安
當	二八二四	二八二九	二八三四	二八二四
中	二八一九	二八二〇	二八一九	二八一九
先	二八〇三	二八〇一	二八〇四	二八〇一

株式

大阪短期前場

銘柄	寄	引
商船	四六、二〇	四六、二〇
日魯	五七、九〇	五八、一〇
日糖	七五、九〇	七六、二〇
日立	八七、九〇	八八、二〇
日窒	九二、一〇	九三、〇〇
鐘新	七四、九〇	七四、五〇
日產	八五、八〇	八二、七〇
合銀新	一一四、一〇	一一二、四〇
倉紡	一七一、二〇	一七〇、〇〇
帝人新	一一九、九〇	一一八、一〇
帝人	一三七、四〇	一三七、〇〇
東新	三六、八〇	—
窒素新	二〇、三〇	二〇、四〇
淺野新	六〇、九〇	—
滿鐵	四六、八〇	四六、九〇
東電	一〇三、八〇	一〇三、八〇
大同	六九、一〇	六六、六〇
日毛	六八、一〇	六七、七〇
東レ新	二二五、一〇	二二五、一〇
日レ	一一七、七〇	一一七、五〇
同新	一六八、四〇	一六八、四〇
東洋紡	一〇三、七〇	一〇三、七〇
日鐵	九一、二〇	九一、〇〇
大株	八九、〇〇	八八、五〇
同新	[illegible]	[illegible]

大阪長期前場

銘柄	寄	引
大株	九一、九〇	九二、〇〇
大新	八九、七〇	八九、八〇
東新	一三八、七〇	一三八、三〇
鐘紡	二〇七、四〇	二〇七、四〇
鐘新	一一五、四〇	一一五、二〇
日糖	七四、〇〇	七三、九〇
同新	—	五六、〇〇
新	七、〇〇	—
同新	—	四五、五〇
商船	四五、二〇	一二、三〇
同新	一二、三〇	一五、一〇
郵船新	—	—
日魯	五八、二〇	二六、二〇
同新	二六、二〇	六七、五〇
日產	六八、一〇	一〇三、五〇
日鐵	一〇四、八〇	—
帝人	一二〇、三〇	七二、〇〇
同新	—	—
倉紡	一一四、一〇	—
同新	八五、八〇	三九、五〇
日石	三九、五〇	五九、七〇
北炭	—	四二、一〇
宇治電	四二、一〇	—

東京短期前場

銘柄	寄	引
東新	一三八、〇〇	一三七、一〇
大新	八九、一〇	八八、五〇
鐘紡	二一六、一〇	二一五、六〇
鐘新	一一七、四〇	一一七、〇〇
日清紡	—	一一〇、五〇
帝人新	七一、六〇	六六、〇〇
東レ新	六九、四〇	六九、〇〇
日魯	五七、八〇	五六、〇〇
北炭	五八、八〇	五九、三〇
日鑛新	四一、四〇	四〇、一〇
三菱	一〇八、六〇	—
日石	三八、七〇	三八、八〇
日產	七三、七〇	七四、三〇
日窒	九三、四〇	九二、四〇
鋼管	四二、九〇	—
人絹	四三、五〇	四五、六〇
東電	五三、五〇	五三、四〇
日電	一五、一〇	一四、九〇
郵船新	六一、〇〇	六一、一〇
滿鐵	二三、七〇	—
同新	三三、四〇	三三、八〇
日糖新	一〇三、三〇	一〇三、四〇
明糖	一〇二、八〇	—
王子	三七、八〇	三七、九〇
麥酒新	二〇、四〇	—

東京長期前場

銘柄	寄	引
富士紡	六六、二〇	三二、四〇
東洋紡	二〇八、三〇	一一三、三〇
日清紡	六一、〇〇	七〇、七〇
帝人	一一九、七〇	八三、九〇
倉紡	一一三、一〇	四五、九〇
東レ新	六六、四〇	一二、〇〇
東電	四四、六〇	—
東電	四六、一〇	三八、三〇
日電	七四、〇〇	一二、〇〇
東電	三六、三〇	三八、三〇

公債

東京國債

	寄	引
特別五分利	一〇〇、四五	一〇〇、四〇
第一五分利	一〇三、五〇	一〇三、五〇
第二四分利	九八、六五	九八、六五
佛貨四分利	一八五、六五	一八五、六五
米貨六半利	三九一、五〇	三九一、五〇
英五半利	三五五、五〇	三五五、四〇

紐育株式

スチール株 三三弗八分七

アナコンダ株 一六弗

東京銀行實株

銘柄	値	銘柄	値
日銀	五〇〇、〇〇	同新	三一八、〇〇
正金	二〇三、〇〇		
臺銀	七七、〇〇	同新	一八、二〇
鮮銀	七六、二〇	同新	五三、〇〇
勸銀	八九、四〇	同新	二三、〇〇
日糖新	六三、六〇	同新	六七、〇〇
日石	一三九、三〇	同新	一三、五〇
東株	一二八、九〇	東新	一三八、一〇
郵船	五一、一〇	商船	四五、六〇
鐘紡	四九、二〇	石川島	五三、二〇
浦賀新	二三、八〇	新潟	六六、七〇
日立	七九、二〇	北樺新	二七、〇〇
九炭	九九、五〇	同新	三六、二〇
磐城	五〇、三〇	同新	一一、五〇
入山	六〇、五〇	同新	三四、八〇
三菱重	一〇九、一〇	同新	五七、〇〇
鹽糖	六二、四〇	同新	三一、〇〇
鋼管	九〇、八〇	同樺新	七七、〇〇
同新	三五、四〇		
戶畑	六四、一〇	同新	一三三、三〇
淺野	三八、四〇	同新	一九、七〇
人肥	四一、八〇	同新	一九、七〇
窒素	六七、〇〇	電化	四二、八〇
明和肥	六三、三〇		
滿鐵新	二六、〇〇	地下鐵	一六、五〇
地下新	一一、四〇	東拓	三三、八〇
秋木	五六、〇〇	同新	二一、四〇
鬼怒川	四一、〇〇	同新	一六、五〇
大日電	六二、五〇	東邦	五六、五〇
大同	三九、二〇	同新	七、八〇
日電	五四、〇〇	王子新	八三、〇〇
火災	一三、一〇	合同油	五八、一〇
白木屋	三八、二〇	麥酒新	三七、五〇
日魯	五九、二〇	同新	二七、二〇
松竹	三七、八〇	同新	一一、九〇

爲替

外國爲替相場

米貨電信 二九弗一八仙

英貨クロス 四弗九六仙

英貨電信 一志二片八分一

神戸對外爲替

對米期近

	寄	引
同	二九弗八分一買	二九弗一六分三賣
先物	二九弗八分一買	二九弗一六分一賣

對英期近

	寄	引
同	一志二片一六分一賣	一志二片三二分三賣
先物	一志二片三二分三賣	一志二片三二分五賣

穀肥

シカゴ小麥

七月限 八四仙

九月限 八五仙

十二月限 八七仙八分三

神戸豆粕

▲前場

節	六限	六限
一節	四、二三	四、二二

砂糖

玖馬

實物 二仙四五

爪哇

直積	五盾九二仙二分一
六月積	五盾九二仙二分一
七月積	五盾九二仙二分一
八月積	五盾九二仙二分一
九月積	五盾九二仙二分一

大阪淸算

三盛(UBB)	一五四三錢
分蜜(N3)	一五四〇錢
同(臺)	二〇九〇錢
同(日)	二一〇〇錢
新茶白茶(A双)	二〇四〇錢

銀塊

大阪淸算

▲前場

	一節	二節	三節
七限	一一四〇		
九限	一一三九		
十一限	一一七九		
六限	一一三〇		
十限	一〇六九		

八限	一一四七
十一限	一一六八
十一限	一一八〇

倫敦現物 三二片二分一

倫敦先物 三二片四分三

紐育現物 七二片二分一

絲況

紐育 一弗九三錢高

九六錢高

臺灣日日新報
本日夕刊共十二頁
編輯兼發行人 河村徹 印刷人 前野隆
發行所 臺北市榮町 臺灣日日新報社
廣告料 ……

相馬御風先生著
良寛さま
(第五十一章百五十頁の美裝本) 價壹圓五拾錢 (送料八錢)

大人も喜ぶ
子供も喜ぶ
面白い童心
家庭讀物!!!

これを讀んでゐれば慾を忘れて何よりも面白いと大人は云ふ。子供には無論、良寛様のお話はお待ち兼ねの所です。子供と遊び、手毬と遊び、蛙と遊び、童心の一生を過した良寛和尚の面白い、有難い、尊い物語六十五篇未だ世に知られない奇談が多く、流石、良寛研究の第一人者が描いた名著です。

最新刊

相馬御風氏
好評の名著

良寛さま　凡ゆる家庭で大歡迎を博した空前の名著　廿四版　送料八錢 壹圓五拾錢
一茶さん　童心の俳人一茶一生の物語と童心俳句集　十二版　送料八錢 壹圓參拾錢
西行さま　武家生活を棄てゝ托鉢に暮した歌聖物語　五版　送料八錢 壹圓五拾錢
日のさす方へ　良寛に私淑する著者始めての童話童謠集　三版　送料八錢 壹圓參拾錢

荻原井泉水先生著
芭蕉さま　俳聖の純心な一生を通俗に描いた好著!　六版　送料拾錢 壹圓五拾錢

東京銀座西一丁目
實業之日本社
振替東京參六番

疲勞恢復に
はれやか
¥.30 ¥.50 ¥1.00

止血劑
トロムボゲン「ブジ」
醫家に限り文獻集送呈
肺臓及脾臓抽出
血液凝固催進性物質にして効力發現迅速且つ持續性に富み 何等の副作用なく 價格低廉なり
內服液 5本 3.00 / 50本 17.00
T17
株式會社 藤澤友吉商店
大阪東區道修町 東京日本橋區本町

資生堂
水白粉
うつすらと清澄な……水けはひ
(白・肌・黄・桃・濃オークル一號・二號)
80セン

資生堂
七色粉白粉
個性を生かす
明朗な近代美容に……
色味は七色揃つてゐますからお好みに應じて濃淡が自由自在です
(七〇セン)
(白・肌・黄・桃・濃オークル一號・二號)

皇國進展の跡を語る
民族地誌の巨編成る!

日本史蹟大系

郷土愛の泉!
維新史料編纂官 藤井甚太郎

吉野朝宮方が皇室御領地に起り維新の志士が忠臣の古戰場を廻つて血を湧かせ或は古戰懷古の詩賦となり筑後川を下る雄篇となつた。歴史は地理によつて復活し地理は歴史によつて永遠の生命を有つ。茲に『日本史蹟大系』出現の意義がある。熊田葦城君、文名夙に天下に鳴る。歴史を地にかけて詳叙し、讀む者をして二千五百年の歴史を宛ら眼前に髣髴せしめ、山河自ら活氣を帶び故人その間に活躍して光輝ある國史茲に甦る。今や萬人國史に活きんとするに際して此の書、郷土愛の泉となり日本精神の糧となる。切に國民の必讀を薦む。

地に即して史を說く此手法は軍談を聞く如き興味の內に日本史の眞實を何人にも知しむ。神社佛閣山川草木この書によつて甦り郷土愛を深め、祖國愛の情熱ことに溢る!

第一巻 神代に始まり仁賢天皇御代に至る。
第二巻 武烈天皇御代より後鳥羽天皇の御時代。
第三巻 平城遷都より宇治關白の時代に至る。
第四巻 平將門の亂及保元平治の亂等を入る。
第五巻 平家全盛時代より源頼朝歿亡に至るまで。
第六巻 源氏の全盛時代より鎌倉時代の末期まで
第七巻 承久の亂に始まり建武中興まで。
第八巻 北條時代より足利時代南北朝時代まで。
第九巻 南北朝和より足利氏衰亡に至るまで。
第十巻 戰國時代を中心とせる群雄割據時代。
第十一巻 織田豐臣時代より德川初期まで。
第十二巻 德川時代より明治維新回天まで。

熊田葦城著 全十二巻 毎月一冊配本
第一回配本全國書店にあり
菊大判總朱色クロース製一冊二圓八十錢 (送料內地十二錢 臺灣樺太十八錢)
內容見本贈呈 (全國各書店にあります。直接申込へ申込下されば進呈します。)

東京日本橋呉服橋三
平凡社
(振替東京二九六三九)

果然、出版界の新記錄を目指す大賣行

敢て江湖に推奬す
衆議院議員 法學博士 芦田均

鶴見祐輔君の新著『膨脹の日本』を手にして一氣呵成に讀了した。竹馬の友祐輔君は、向陵を出てから三十年にして今尙ほ靑年の熱烈たる心意氣を失はずに包藏してゐる。曾てセシルローズを嘆へ、チスレリーを讃した靑春の血を胸底に藏して近頃また『膨脹の日本』を物したのである。私等は老いざる氣魄に打たれ、彼の熱烈なる祖國愛に驚異の眼を見張らざるを得なかつた。鶴見祐輔は現代に於ける不可思議な存在である。彼の如く舌と筆と博識と才能とを兼ね備へる者は稀である。さうして、『膨脹の日本』の一篇はさながら相對して彼の大雄辯に接するが如き感を與へる。

彼はローマ、ギリシヤを說き、アングロサクソンの興亡を說き、我國の現在と未來の姿を描く。讀下して、鶴見君の風貌を眼前に見るの感に打たれる者は私許りではあるまい。彼はいつ迄も老いざる青年の侶であり、指導者である。

さうして、最も近代的な社會教育者であると信ずる。敢て江湖に此の書を推奬する所以である。

新英雄論
膨脹の日本
鶴見祐輔

皆さん讀みませう

民族も個人も、集中時代と膨脹時代とを繰り返す。集中時代とは、我が心の中に深く沈潜する時で、自己完成の時期である。膨脹時代とは、外界に勇ましく働きかける時で、自己表現の時である。集中は修養で、膨脹は實行だ。

今日の日本民族は、集中より膨脹へと、轉向した時だ。全日本の個人も亦、思索より、明朗な實行へ躍り出すべき時だ。

眼覺めよ日本!
立ち上れ日本人!
我等の生くる途は前にある。
前進!

一切の險難を乘り越えて、冒險と飛躍の旅に巣立ちせよ!

汽車の中で讀める本
電車の中で讀める本
氣安い友達の話聲のやうな樂しい本
食事の前に讀める本
氣輕によめる本
寢床の中で讀める本
一家團欒して讀める本

今が今!
あなたの手に

一巻のうちに……理想と處世訓と知識と興味と刺戟と慰安と笑ひと涙を盛つた本!

◇定價五十錢 送料八錢 ◇發行所 東京・小石川 振替東京二九二〇 大日本雄辯會講談社

●公告 [illegible]
臺北地方法院 出張所

●財團法人 [illegible] 公告
[illegible]
臺北地方法院新竹支部

●合資會社 [illegible] 公告
[illegible]
臺北地方法院 出張所

●有限責任 [illegible] 公告
[illegible]
臺北地方法院 出張所

大阪商船
◎基隆出帆
門司 神戶 行 蓬萊丸 / 瑞穗丸 / 高千穗丸
福州 上海 行 盛京丸 / 長沙丸
廈門・香港・汕頭 行 廣東丸 / 鳳山丸
福州 廈門 行 大球丸
大連 天津 行 華中丸
宮古・八重山 北部行 江蘇丸
神戶 行 朝北丸 / 湖南丸
蘇澳・花蓮港 新港・臺東行 でりい丸 / めなど丸
比律賓 行 しかご丸
南洋 行 はなま丸
●朝陽丸修繕ノ爲 一航海缺航 代船仕立缺航
◎高雄出帆
東公 行 20 共同丸
廈門・汕頭 香港・廣東行 福建丸
東京直行 ぐしどにい丸
其他船便多數アリ 臺北電三八五〇

近海郵船 基隆出帆
門司 神戶 行 大和丸 六月十一日午前十時發
朝日丸 六月十五日午前十時發
吉野丸 六月五日午前十時發
大連 仁川 行 岩手丸 六月十七日午前十時發

辰馬汽船 出帆
內地 行 桐葉丸 六月 日基隆發
宮殿丸 六月八日基隆發

大連汽船 基隆出帆
大連 直行 山西丸 六月十五日午前十時發
山東丸 七月六日午前十時發
代理店 丸一組 高雄電四九 基隆電八九 臺北電八八

父 楊 儀 新發 病氣療養中ノ處 五月廿七日午後十二時十二分死去仕候 依テ生前ノ知己諸彥ニ謹告仕候 追テ來ル六月七日(金曜日)午前八時自宅ニ於テ告別式執行引續キ市內下內埔共同墓地ニ埋葬可致申添候
昭和十年五月 臺北市建成町二ノ九
長男 楊 串
次男 楊 正
孫 楊 成
水根樹
親族 友人 一同

夫 從七位勳八等 馨亮 儀 永々病氣療養中ノ處 生不相叶 五月廿五日午前七時半死去致候ニ付此段御通知候 代ヘ謹告仕候
追而葬儀ハ六月十日午後四時ヨリ三橋町齋場ニ於テ佛式ニテ相營ミ候
昭和十年六月六日 臺北市大正町參丁目
竹村サダ子
長男 藤井 亮 松
中井 龜 三 郎
親戚代表 德成 義 和
友人代表 西村 唯 一
田邊 壽 二

東部臺灣と交通の改善
宜蘭線の改善が先決の問題

一

臺灣の交通機關や道路橋梁等交通政策の諸施設は、先にも屢々論じた通りに可なり不備であり、不統制であり、手の附け殘りも多い。この問題は、現下の臺灣に於ける實情から考察し、此際新しい眼を以て再檢討すると共に、根本方針の確立に向つて更に數歩を踏み出さねばならぬ事と思ふ。例へば臺灣の南と北とを繋ぐ縱貫道路にしたところが、濁水溪等の橋梁が架けられてないため實際上縱貫道路としての役をなさない。之では折角の縱貫道路を苦勞して作つても效果を收め得ないではないか。

二

先ごろの地震にしても、あの程度のもので忽ち北部と中南部との連絡が杜絶し、特使が飛脚でも立てぬと通信さへ出來ぬ有樣、而も新竹以南には川に橋が無いものが相當あり、一旦事あるに當つてはどうする事も出來ぬ樣な次第で憂慮に堪へない。下淡水溪の橋梁の如きも高雄州の西部と東部とを隔絶し、汽車に乘らねば一切交通が出來ぬといふ樣な事情にあつたが漸く最近橋梁の架設が具體化された樣で、この點は慶賀に堪へない。東部臺灣方面の交通狀態において現に角內部は平常時だけは先づ大體どうにか間に合ふ樣であるが、は餘りに低く、交通系統としても殆ど體をなしてゐないかの感が切である。

三

臺北から臺東に至る交通機關としては、成程宜蘭線があるが、之が隧道が多くて且のろい八堵蘇澳間への汽車であり、蘇澳まで四時間餘を要し、蘇澳で東海バスに乘つて花蓮港まで約五時間、花蓮港から臺東までは從來汽車で七、八時間を要してゐたが、之は近來機動車の發行を動かし五時間半位に短縮された。而も是等の區間の連絡が悪いために途中で八、九時間を浪費せねばならぬ樣な事情で、旅行者に取つて甚だ苦痛であり不便であるとの苦情が多い。

四

此方面の交通機關や運輸系統の改善については、鐵道當局に於ても充分考慮し工夫してゐるものと思ふが、貧窮易に實現の運びに至りさうもない。しかし此儘で打棄ておくべきものでもなく、又此改善は時代の要求でもあるのだから何とかして速かに改善の具體案が實施の運びに至らんことを望んで已まない。その改善の第一歩は、先づ宜蘭線にガソリン・カーを動かし八堵蘇澳間のスピードアップを斷行する事である。この區間中北部には隧道が多いので夏など不愉快であり、又餘りに時間もかかるので遊覽場があつても都人士は容易に出掛け樣ともしない。若し此區間に機動車を動かし三時間內外で蘇澳まで行き得るに至らば同地方への遊覽客も可なり增すこと必定である。この區間のスピードアップが實現すれば、現在の樣に臺東方面行きの旅客が花蓮港で午後一、二時頃から夜の十一時まで待ちくたびれる必要もなく、現在の樣で花蓮港發午後十二時半の急行機動車に乘れて、臺北を朝出發して夕方の六時には臺東へ到れる樣になるのである。

五

かくなれば、郵便物や新聞等も非常に早く入手出來、東部の社會生活に相當大きな好影響を齎らす事も出來る。要は最も不愉快でのろい宜蘭線に急行機動車を動かす事であつて斯くなれば同地一帶花蓮港廳や臺東廳一圓の住民が多大の利益を受けるであらう。鐵道部は今秋の博覽會を機として客車機關車等の増加を圖り何十萬といふ大旅客の輸送に苦心してゐる樣だが、博覽會終了後に於ては當然機動車の一部を割いて宜蘭線に助かし、以て東部臺灣全體の交通整備を斷行すべきものと信ずる。これは同地方民の切なる要望でもあり必ず具體化さるるやう希望に堪へない。尙道路による交通政策としては、臺北より宜蘭に通ずる坪林尾街道の完成、並に蘇澳花蓮港間の道路開鑿が掲げられるが、是等も豫算關係などから成るべく速かに實現さるるやう望みたい。

抗日は上手にやれと 蔣介石が密令を發す
何應欽を通じて平津要路に
面從腹背の正體

【新京五日發】何應欽以下北支の軍政當局は酒井駐屯軍參謀長の通告に對し平津地方に於て反日團體なるものは未だ曾つて存在しないと强弁、滿洲に對する反感の樣な料としてゐるが、事實は蔣介石から平津地方の要路に與へた密令の全文を擧げれば左の通りである

北平勵志社主任查森の通牒に依れば九・一八事變以來民衆の救國團體は增加せるも之等諸團體は統制を缺き、反滿抗日計畫並に實施共に調整周到を缺くを以て動々もすれば敵方の注意を惹き易く、甚だしきは機密を暴露するに至るものあり、斯くては救國の前途に對して影響する所大なるを以て、中央は華北に於ける民衆の各團體を整理する爲め密に北平勵志社を救國團體總指揮に任命し、民衆の反滿抗日の各種工作を統制し、一致して顛躓の發生を防止するを命じたり、社務の組織には軍政各機關より人員を派遣し、協力して實施を容易ならしむべし、茲に規定の罰を添附し貴會に送達するに依り查收されん事を乞ふ以上の論旨につき夫々所屬要路に傳達すべし

何應欽　蔣中正
中華民國二十四年四月廿六日

我方の主張と容れず
通告の根本を再度闡明す
酒井、高橋、何三氏の會見內容

【東京五日發】三日北平に於ける酒井駐屯軍參謀長、高橋武官補佐官と軍事分會委員長何應欽との會見內容に關する報告は四日陸軍中央部に到達したが右會見內容は左の如きものである、何應欽は先づ酒井大佐に對し

一、孫化縣縣長及び民團が匪賊に對し援助を與へた事實に關しては于學忠に對し調査を命じてゐる
一、天津親日新聞社長暗殺事件に關しては犯人逮捕方を嚴命目下極力搜查中である
一、蔣孝先(憲兵第三團長)丁正(同副團長)曾擴清(北平政治訓練處長)に對しては六月一日附を以て罷免せり
一、憲兵第三團の特務處については將來撤廢する意向なり
一、河北省政府主席于學忠、天津市長張廷鍔の罷免、天津市黨部の解散等については中央に右處分を要請する
一、第二十五師學生訓練班は解散する
一、憲兵第三團政治訓練處第三部の北支撤退に就いては何應欽の權

林陸相が滿洲國閣僚と記念撮影 (五月二十八日)

駐歐大使の會議
四日より開かる
巴里で三日間

【パリ四日發聯合】歐洲駐在帝國大使會議は愈々四日午後三時三十分よりパリ大使官邸に於て松平駐英大使司會の下に開會された、會議は四、五、六の三日間に亙り特に

一、松平大使の本國歸還に先立ち歐洲の情勢につき情報を交換し廣田外相へ報告する
一、軍縮條約の廢棄通告後に於ける海軍問題

を議題としてゐるが出席者は松平駐英、佐藤駐佛、杉村駐伊、武者小路駐獨、有田駐白、大田駐ソ、徳川駐土各大使、堀田駐瑞西公使、栗山海府參事等で會議第一日は松平大使先づ開會の挨拶を述べ各大、公使から夫々情報の報告あり、就中松平大使は海軍豫備會談の經過を基礎に軍縮問題の見透しにつき所見を開陳、佐藤駐佛大使はフランスから見た歐洲政局の動向を報告した、次で大田駐ソ大使はソ聯邦の事情、殊に西歐問題に積極に對するソ聯政府の外交政策を報告した、議題は前後五時間に及び八時卅分散會続了引續き一同佐藤大使主催の晩餐會に臨んだ、五日午前十時三十分から更に會議續行の豫定である

于學忠には他の要職を與へん
蔣介石の決意鈍る

【上海五日發電通】國民政府は于學忠の態度が決定した旨通告に對し三日蔣介石氏に對し成都に飛行した張學良は蔣介石氏に對し

于學忠の政治的生命を奪ふ事は余の政治的生命を奪ふに等しく、且つ將來北支に如何なる影響を與へるやも知れず

とて必死の運動を行つた爲め蔣氏は張學良の希望を容れ、于學忠に他の適當の要職を與へることとし、その旨を政府に指令し來つた、臺灣で、國民政府は第五十一軍長を兼ねた于學忠の政治的地位を與へることとなり兩三日中に發表を見る筈である

何應欽の回答は遺憾に堪へぬ
我が陸軍當局强硬

【東京五日發】酒井天津駐屯軍參謀長と何應欽氏との會見に於ける支那側の回答に對し我が陸軍當局は支那側に何等誠意の認むべきものなしと頗る遺憾の意を表してゐる、即ち何應欽の回答は我が軍の要求とする所の回答を爲し右に對し酒井參謀長は

一、右は軍の要求と相いれざる小要求の若あり
一、天津、北平間の我軍用電線が于學忠軍隊の駐屯地附近に於て破壞される事實々たるものあるが右は速かに適當の處置を要求するものである

と重ねて支那側の誠意なる反省と我方の通告の根本を再度闡明し支那側の實行を促し會談を了したが相隔たること多く支那側は更に反省して軍の要求を全面的に容認すべきであつた、我が方では重ねて今後の要求貫徹まで追究すべきである、と頗る强硬な意向を堅持してゐる

救國日報が排日强硬論

【南京五日發電通】北支問題發生以來國民政府當局の訓令に依り當地各紙は沈默を守つてゐたが、多年排日運動の急先鋒として排日を鼓吹する救國日報は五日國民政府の取締りを破し社說をもつて斷然國民政府の對日政策を絕對不可なりとし、左の如き强硬論を掲し各方面に衝動を與へてゐる

從來の例を見るに日支間に和平運動起れど必ず日本軍閥がこれに反對の態度をとり侵略行動に出る、今回大使館昇格決定するや北支問題發生した、吾人が日支和平運動に反對する所以は實に斯くの如き反對結果を招來するからだ、孫子の兵法に死せば生を得、生を欲せば死すと言ふが、吾人が必ず死する決心を有せば日本は決して支那に挑戰し得ない、蓋し日本の眞の敵は支那にあらず、英、米、蘇であり、支那と刺し違へて死ぬことは欲せぬからだ、若し政府が吾人と同一の決心を有するならば[illegible]を免かれるだらう

兒玉拓相と中川總督密議
督府出張所で會見
總督更に內相と協議

【東京五日發本社支局特電】中川總督は急に兒玉拓相と會見の必要起り電話を以て折衝の結果、拓相は午後より出向く事となり、拓相は午後一時督府出張所に中川總督を訪問し總督と別室に於て一時間に亙り何事か密議を重ねて辭去したが拓相の督府出張所訪問は之を以て嚆矢とする、中川總督は其後間もなく官邸に後藤內相を訪問密議する所あつた

首相を訪問

【東京五日發】中川臺灣總督は五日午前九時官邸に岡田首相を訪問し歸任の挨拶を述べ辭去した

藏相とも會見

【東京五日發】兒玉拓相は五日午後四時藏相官邸に高橋藏相を訪問し、明年度豫算編成方針及び植民地豫算等に就き懇談した

貴族院議員が臺灣視察
總督と打合せ

【東京支局五日發特電】小林貴族院書記官は五日中川總督を訪問、貴族院の臺灣視察團の件につき打合せを行つた

蔣介石が悟らねば事態は益々紛糾
北上を前に 磯谷少將語る

【上海五日發電通】磯谷少將は本野書記官を帶同し午後四時發列車で北平に向け直行したが出發に際しその北上の使命に關し左の聲明を發した

北支において發生した事件は南京政權が表に抗日緩和を唱へながら、陰に藍衣社、憲兵、黨部その背景たる中央軍を利用して支那民衆の自由を束縛し、その生命を脅威してまでも排日思想を鼓吹し來つた結果である、併し如上の藍衣社などは何れも自己の獨裁政權擁護の必要から蔣介石の特に造り上げた機關で謂はばその私有物である、この點から考察すれば根本に於て蔣介石自身の政策に存するものであると斷ずるに躊らない、帝國が今回斷乎たる措置をとつたのはかくの如き禍根を芟除せしめんとして居るのに外ならず、日支兩國民をこの禍害から救ひ、日支關係を根本的に調整して東亞の平和を招來せんとする崇高なる觀念から出たもので、その主張行動は公明正大、俯仰天地に愧ざるものと確信する、從つて蔣介石が從來の謬れる政策を根本的に是正しない限り、事態は益々紛糾するに至るであらう、北支における一二の人物等の入替は事態の改善に何等の寄與をなすものでなく斯くの如きは枝葉末節にすぎず要するに事件そのものは北支の局地問題にすぎないが、その禍根の絕滅は支那の全面的問題である、自分の今回の北支旅行の目的は如上の如く北支問題が蔣介石政權と密接なる關係があるとの見地から北支の我が帝國諸機關と充分なる協議を遂げんがためであつて、參謀本部からも右の趣旨に基く訓令を受けた次第である

震災復舊豫算
高橋藏相が承認
兒玉拓相との會見で

【東京五日發】[illegible]

地方選擧の三規程
けふ公布さる

地方制度改正に伴ひ今秋十一月行はるる選擧に關する三規程は本日府令を以て公布される、[illegible]米市庄長並に街庄財務に關する法規は施行法規を以て律してゐたが、選擧實施に伴ひ種々の點から之を地方長官の權限下に置き官吏の立前を與ふる必要上發布されたもので要するに三規程は選擧事務上に於て重要なる規程と云ふべきものである

單なる挨拶
中川總督は語る

【東京五日發本社支局特電】中川總督は內相官邸から歸來後出張所に於て大要左の如く語つた

本日は岡田首相、兒玉拓相更に後藤內相等と會談したので僕らずも諸君の第六感を煩らはしたのだが、事實は何にもないことだ、そんな君達の想像するやうな人事なんていふことはない、唯首相とも挨拶に過ぎなかつたよ

と哄笑したが心なしのためか何處となく落ちつかぬ面持に見えた、更に語をつぎ

例の砂糖問題は久しき間の懸案であるが早急に決定し兼ねる事情もあり目下調査中だ、商工會議所問題もさう簡單に行かぬ、之が設置については相當攻究を要するやうに思ふ、始政四十周年記念事業の一としての功勞者の表彰については目下調査中であるが、之もなかなか容易ではない、博覽會に皇族方の御台臨を得ば此の上ない光榮であるが、今のところ未だ御都合を御伺ひするまでに至つてゐない

動搖の辯
國民同盟全體會議
安達總裁結束を說く

【東京五日發】國民同盟は四日午後一時から本部に全體會議を開き安達總裁外所屬代議士全部出席、富田幸次郎氏の脫黨問題に關し中村嘉壽氏より質問あり、これに對し野田文一郎氏は其眞相を左の如く說明して諒解を求めた

過般の六十七議會前に民政黨の櫻井兵五郎君より招待を受けたことあり、その返禮として去月二十七日古屋、小山、井上、菊池の各代議士とともに民政黨の諸氏を招待したことは事實であるが席上政策、入黨乃至政黨合同等に關する話は一言も無かつた

依つて該問題を中心として意見を交換し最後に安達總裁より

我國民同盟が立黨以來主張し來れる政策改正又は政界刷新の氣運は今や漸く熟せんとしつつあるものと認められる、此際こそ吾々同志が一致結束して志を行ふ舞台であるからお互に誤解から疑惑を懷かれる如き行動は慎まれたい

と今後の行動に關する方針が指示する所あり一同これを諒として午後三時散會した

川岸部隊長と陸相が會談

【東京五日發】[illegible]

日銀理事後任

【東京五日發】日本銀行理事清水賢一郎氏の副總裁昇任に依り空席となつた理事は八月の定時株主總會迄に決定の方針であるが、現在の所營業局長山內靜吉氏及び大阪支店長田中鐵三郎氏の呼聲が高い

深井、清水正副總裁岡田首相に挨拶

【東京五日發】深井、清水日銀正副總裁は五日午前九時半官邸に岡田首相を訪問し挨拶を述べた

藤田遞信部長東部初巡視

藤田遞信部長は[illegible]六日午前八時四十六分臺北發の汽車で東部海岸地方初巡視に赴く、歸北は十二日午後八時三十六分の豫定、花田臺北局長、西村[illegible]が隨行する日程左の通り

△六日蘇澳泊[illegible]十二分羅東發△十一日宜蘭、羅東を經て大平山泊△十二日午後八時卅六分着北

總督官邸招宴

平塚長官は總督代理として六日午後六時半より陸軍聯隊長會議出席者を總督官邸に招待晩餐會を開くが陪賓は各局長、主客三十七名である

丁滿洲國公使七日發歸國

【東京五日發】滿洲國初代駐日公使丁士源氏は七日東京發歸國の途に就くこととなつた丁氏は歸國後滿洲國參議に任命されるものと見られてゐる

海軍辭令(東京五日發)

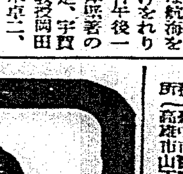
侍從武官 海軍少將 出光萬兵衛
補第一潜水戰隊司令官
軍令部出仕 海軍少將 平田 昇
補侍從武官
平田少將は故平田東助子の三男である

督府辭令

專賣局長 田中 金三
依願免本官
總督府事務官兼府事務官 宇佐美珍彥
州兼府警視(以上四日) 桐林 茂
東京、兵庫の兩府縣へ出張を命ず

辭令

府警部補 副島 [illegible]
同 宮木 廣大
熱帶產業調查會幹事を囑託す
府事務官 中島 一郎
臺灣總督秘書官 横山 保一
[illegible] 赤堀 鐵吉
府事務官 一番ヶ瀨佳雄
專賣局參事 小布施 齊
中央研究所事務官 玉手 亮一
熱帶產業調查會幹事を命ず



(來航)門司發以來平穩な航海を續けられり六日午後一時頃臺北着の豫定、宇賀四郎、原口竹次郎、明大教授岡田莊作、朝鮮殖產局技師[illegible]、[illegible]の諸氏外多數(五日發無電)

人事

▲河村徹氏(本社社長) 來る五日朝東京發 大阪に立寄り兩三日滯在、八日神戶發の便船にて歸臺の豫定
▲中野泰雄氏(衛生病院長) 五日出北
▲宇賀四郎氏(臺灣電力理事) 六日內地より歸臺
▲坂本素魯哉氏(彰化銀行專務) 五日來北(日の丸館)

シナチク

「今度は誠にお有難い旅行をして來ました」とは三井合名出張所長大島卓爾君の述懐だ、聞いてみると成程、釋迦や耶蘇、聖地めぐりをして、まるで宗教巡禮旅行の樣なものになつてゐる▲第一には印度の眞中でベナレスといふ佛教聖都に行き、釋迦が無道に入つてブダガヤを出て始めて大衆に說教をした記念地の卒塔婆を見た、ここには又アソカ王の建てた寺の跡があり、今は新寺が建つて居るが、その寺の壁畫を二年越しに描いて居る東京美術學校出の野生司香雪畫伯にも逢うた▲次ぎはパレスタインを訪ひゼルサレムのクリスト教聖蹟地にも行つていろいろイエスが迫害を受けた古蹟などを見た最後に埃及のカイロには大きなモスクの中に在る回々教大學を見たが、ここでは學生が地べたに跪坐してコーランを教はつて居るのだが、當時は何か紛擾があつて、學生がストライキをし、[illegible]が之れを取囲んで居たさうだ▲此の內佛教は日本その他で繁榮して居るが、[illegible]のみは現地に多く止まつて餘り擴がらない、併し信仰の熱度の最も高いのが回々教徒であることが不思議な因緣といつたやうな感じがしたさうだ

米日爲替十四仙續騰

【ニューヨーク四日發電通】四日の米日爲替は十四仙方騰貴し二十九弗十八仙に引けた

登錄商標 金鳥印かとり線香
人畜無害 効力拔群
渦巻かとり線香

外務社員招聘 固定給有リ、年齡二十五歲以上內地人男女ヲ問ハズ責任指導ス
事務所 臺北市本町一ノ八
電七六

銘酒
な、なる程
色しろく
香りよく
味のよい
三拍子揃つた
納入代理 桑田商店

天南丸の試乘式（澎湖馬公）

西村助役の罪狀
賦耕料騙取と判明
近く停職處分に附さる

【花蓮港電話】西村花蓮港街助役の土地賦耕問題に絡る不正事件は[illegible]の涌り身柄を臺北支廳に[illegible]し、小笠原主任の手で連日取調べを行つてゐるが事件の内容は[illegible]する所によると花蓮港[illegible]が[illegible]林區再太鞍に於ける百八十甲の所有地に對し特に賦耕料三千五百圓で國營會社と契約締結したが昭和三年十二月契約滿了となるや當時[illegible]務主任であつた西村氏は右の土地の賦耕料値上げを計畫し[illegible]と手を切り別に再太鞍居住の本島人黄[illegible]、羅[illegible]二名に對し昭和四年一月より向ふ十ケ年間九千圓の賦耕料で新規契約を結ぶと同時に西村氏は更に右農會所有地に接續する官有地十餘甲をも自己の所有地と偽り別に契約を結び爾來[illegible]賦耕料を騙取してゐたものの如くである、從來右の土地問題に付ては[illegible]噂されてゐたが證據不充分と西村氏が花蓮港街助役並に[illegible]人分會長の地位にある爲め容易に手が下し得なかつたが今日[illegible]らずも右二名の本島人の自白により動かすべからざる證據が[illegible]たので遂に官憲の活動となつたものである、一方花蓮港街では事件[illegible]するや宮崎街長は五月午前[illegible]一方ならず宮崎街長以下[illegible]政所[illegible]これが善後策に付き[illegible]が西村氏に對しては取敢ず停職處分に附し罪狀判明と共に斷乎たる處分に出づる筈である

定期預金を解約し
六千餘圓を詐取
惡智慧を絞つた組合書記
バレて遂に留置さる

【臺中電話】臺中信用組合某組合員の定期貯金が去月二十一日を以て滿期となつたので拂戻し請求した所意外にも右は既に解約濟となつてゐるので組合當局では大狼狽をなし秘密裡に調査の結果同組合書記臺北大學理財科出身大槻進(三)が過去二年半に亘り組合員の定期貯金の途中に於て密に解約しこれを詐取してゐたことが發覺被害額は六千九百餘圓に上つてゐる組合當局では直に事情を州當局に報告すると共に數回に亘り緊急役員會を開催、四日最後的會議の結果役員一同が被害額を辨償し組合員に對しては迷惑をかけぬことに決定し此の旨各組合員に聲明書を發した同組合は今迄種々の問題を惹起してゐたのでこれを機會に今後徹底的に業務の刷新を圖る方針であると尚大槻書記は四日臺中署に留置され引續き取調べ中である

汐止街の御遺蹟所祭典

【臺北電話】臺北州汐止街の御遺蹟所の祭典に來る十日につき去る三日午後一時から官民有志[illegible]に於て[illegible]を[illegible]今年は[illegible]より[illegible]

[illegible]行することに決定したが行事は左の通りである

一、午前九時より式を擧行
一、同九時半より小公學校生徒、青年團　街民の旗行列
一、正午より祝賀宴開催
一、午後二時より子供相撲大會
一、午後七時活動寫眞、芝居
一、晝夜奉祝花火を上げる

小公學校長會議

【屏東電話】屏東郡小公學校長會議は七日午前九時半から郡役所會[illegible]

第二聯隊の除隊兵

【臺南電話】臺南第二聯隊除隊兵百七十六名は來る十一日出發の豫定の所便船の都合上來る十四日午前九時五分臺南發列車に變更した

[illegible]議案に[illegible]するが討議事項(地方制度改正に伴ひ學校教育並に社會教育上特に留意努力せんとする事項を語ふ)の外打合希望指示注意事項十件を附議する

田舍むすめ二人の
風變な桃色逃避行
一人の若者を共同の愛人とし
澎湖島に愛の塒を求む

【高雄電話】高雄州[illegible]の[illegible]と[illegible]の二名は[illegible]

[illegible]

些細の事が因で
夫婦格鬪の大喧嘩
妻は夫を竹棒で毆殺

【高雄電話】四日午後十時高雄州潮州郡潮州庄四林五二田佃作陳天來(三)と同人の妻陳黎氏花(三)とが些細のことより口論の末格鬪を演じ夫は妻の爲めに長さ六尺餘の竹棒を以て前頭部に一撃を喰はされて大怪我を負ひ昏倒し六ケ五日午前六時四十分遂に絶命したので急報に接した同郡警察課では直ちに加害者を檢擧し取調べを開始すると共に高雄法院檢察局の臨檢を仰ぎ被害者の死體を解剖に附した

臺中市民大會
會場差支への爲
六日に延期

【臺中電話】既報飛行場設置運動に關し五日午後七時より臺中市公會堂に於て市民大會を開催する筈であつたが、五日夜は公會堂使用差支ありとの州當局よりの通告により五日午前中田中、[illegible]邸、加賀三委員は州當局に再交渉の結果、六日午後六時より開催することになつた、尚同夜は引續き放談會も行ふ筈

兩當の自殺未遂

【嘉義電話】嘉義郡水上庄[illegible]

臺南州下のバス
不評でお客が減る
警務部から、統一的の改善を
營業者らに嚴達

【臺南電話】臺南州警務部保安課では從來臺南市内バス運轉系統の不統一及びバスガールのサービス不馴れから殊に便乘者の不便不快をまねき從つて利用者も減少すると云ふ實状に鑑み近く臺南州會を控へて五日之が徹底的統一改善方を營業者に嚴達した、尚當局では臺南州下主要道の四通八達に伴ふ各郡部に於ける乘合バス運轉の激増に關して、運轉系統及び運賃の統一を計るべく目下調査中である

接客業者らが
勸業課に懇願

【臺中電話】臺中州下鹽水港者より通知從來の特殊取扱ひ撤廢の通告に接した料理屋組合及び旅館業組合ではこれが對策につき寄々協議中であつたが五日午前十一時州廳に[illegible]業課長を訪問し從來の如く特殊取扱の繼續方を[illegible]々懇願したが松村勸業課長は製氷同業組合よりの木僞申請には特殊取扱ひ云々の件なき爲め當局としては如何とも致方なき旨説明したので一同は止むなく辭去した

卒業生の指導講習會

【屏東電話】屏東市の卒業生指導[illegible]

青年團長會議

【屏東電話】屏東郡青年團長會議は八日午前九時から郡役所會議室で開催するが附議事項は聯取事項始め打合希望、指示、注意事項等約十件である

【屏東電話】[illegible]講習會は五月から一ケ月間每夜二時間屏東興農信用組合樓上で開催するが講習者は三十名である

臺南州會議室の
設計出來上る

【臺南電話】臺南州會議室の新築は既に設計も出來上つたので愈々來る十一日請負入札を行ひ請負者を決定する筈

兄弟二人に
天秤棒で亂打さる
原因は痴情か

【彰化電話】四日午後六時五十分彰化市牛稠子一五〇道路上に於て傷害事件があつた、被害者たる彰化市牛稠子一五四番[illegible]日夕刻、街より豚の餌料を買ひ歸宅の途中前記道路上に差かかつた際同所前記五犯前科者[illegible]及び同所二五一許[illegible](三)の兄弟の爲に天秤棒を以て頭部その他全身數ケ所を亂打にされ[illegible]傷を負はされた、加害者[illegible]はその場より逃走したが[illegible]たた彰化署では直に非常線を張り犯人を搜査する一方被害者を[illegible]呂[illegible]水[illegible]に[illegible]

不義の赤子を
竊に生埋したか
臺中署刑事が探知して
緊張裡に取調べ中

【臺中電話】臺中市[illegible]町三の一四[illegible]が五日午前七時半頃に[illegible]を[illegible]

臺南市の
生產調查會

【臺南電話】臺南市では來る八日午後三時會議室に町委員五十餘名の參集を求め昭和十年度生產調查委員會を開き市當局にて作製された個人生產額につき審査決定の筈

汐止街の
臨時協議會

【臺北電話】臺北州汐止街臨時協議會は去る三日午前九時より街役場にて[illegible]、[illegible]なる[illegible]は左の如くであつた
一、追加豫算の件　一、[illegible]
[illegible]の件

魚塭の水死人
解剖の結果、他殺の疑ひ晴る

【臺南電話】五日午前六時半頃臺南市[illegible]

冷用瑞光を近く賣出す

【臺中電話】專賣局臺中支局では昨年度の[illegible]として冷用[illegible]を[illegible]

犯人捕はる

【彰化電話】傷害犯人許兄弟の行方については彰化署[illegible]

臺南州の武道爭覇戰

【臺南電話】臺南州警務部では來る十五日午前八時から臺南武德殿にて州下二郡十市の[illegible]南北軍に分ち南軍は臺南、新豐、新化、北門、曾文、新營、北軍は嘉義、斗六、虎尾の各郡[illegible]

戸税の調査會
公會堂に開催

【彰化電話】彰化市に於る本年度の戸税調査會は去る四月一日より調査を施して[illegible]

小公學校兒童らの口腔檢查

【宜蘭電話】宜蘭郡[illegible]

敎育相撲の講習
三校の對抗試合も行ふ

【彰化電話】彰化市南郭公學校では去る五月二十七日より敎育相撲の八尾秀雄氏を招聘して相撲の講習中であるが同校は元校長以下職員は[illegible]

定時厲行を
大いに强調

【花蓮港電話】來る十日の時の記念日に就き花蓮港街では[illegible]

根の暴行

[illegible]

會事

△落成式　屏東郡利[illegible]信用組合創立十五周年記念式及び農業倉庫落成式は五月午前十時から新築の事務所に行はれたが州から野田郡守、[illegible]田、金[illegible]

人事

△工藤新平氏（高雄警察署長）[illegible]
△西澤義徵氏（高雄州知事）[illegible]

筆の滴　推奬文の裏の話

[illegible]

求職　萬なかだち

代貸家　[illegible]
女事務員　[illegible]
交換手　[illegible]
店員入用　[illegible]
讓店　[illegible]
電話六九六番賣　[illegible]

日本中が聾になる！

皆さん、どうぞ
サロミンで强くなつて下さい

不健康な前屈みの姿勢、ひつきりない信號燈の點滅に、交錯したコードの樣に頭は亂れて、身も心も耐え難い迄に疲れて了ふ
氣鬱ぎ・冷症・消化不良・下痢便秘・頭痛・不眠などが起つて來るやうでは大へんです
交換手の皆さんが病氣されると日本中が聾になります

貴女がたはこの重大な使命を遂行される爲に當然健康を護らなければなりません
家庭をお持ちになつた場合を考へても！
而もこれは獨り電話交換手諸孃のみの問題ではなく、社會全體が考ふべき重大問題ではないでせうか！

胃腸を强くして生活を明かに。

消化と榮養に
錠劑　サロミン

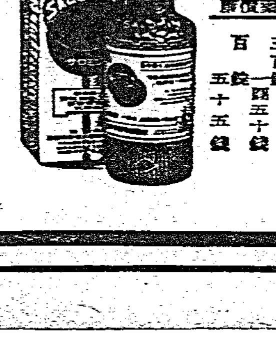
「錠劑サロミン」は胃腸を根本から强くして榮養を增し、全身を强くする次の作用と、成分をもつてをります（藥學博士西崎弘太郎先生指導創製）

治療作用
一、胃腸の運動を活潑にし、胃腸液と消化液を强力にするヴイタミン
一、蛋白質脂肪の消化を扶けるリパーゼ　ペプチターゼ
一、糖分、澱粉類等の消化を扶けるアミラーゼ
一、胃腸の消化吸收機能を扶け食慾を増進する諸酵素
一、胃腸ホルモンの分泌を促し、胃腸の働きを活潑にし、筋肉を引緊める綜合作用

榮養となる成分
一、全身細胞を强化し、榮養を向上するアミノ酸
一、發育を促進するヴイタミン並アミノ酸、運動力の素源となるグリコーゲン
一、神經、腦の榮養となるレチチンケフアリン

サロミンは醫家の處方箋に書かれて病者に投藥されて居りますが、近くの有名藥店にも販賣されて居ります

無代進呈
營業婦人必讀書、和田醫學博士著「胃腸病の豫防と療法」發賣元へ申込次第無代で急送



定價　三百錠　一圓五十錢
百錠　五十五錢

發賣元　[illegible]
臺灣總代理店　小林大藥房

天使 (97)

横光利一 作
宮田重雄 畫

八の十一

京城まで汽車は無事だつたが、海は少し荒れた。貞子は苦しがつて、船の中を、ずつと幹雄の傍で寝て過した。夜の九時頃釜山へ着くと、それからまた汽車で、京城へ着いたのは、翌日の正午ごろだつた。

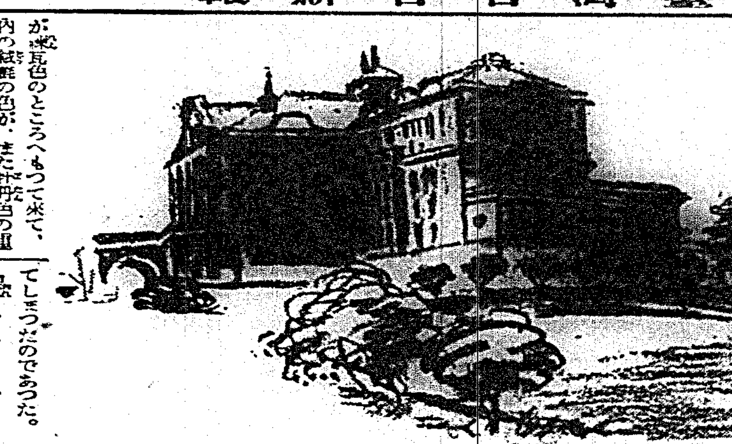
二人は京城の驛前の廣場へ降りると、疲勞のためであらうか、京城全體が、黄表色に煙りに見えて、しばらく自動車に乗るのも忘れ「ほう。」と幹雄は云つたまま立つてゐた。

宿屋は朝鮮ホテルにしやうかと、昨夜から考へてゐたのも、ここまで來ると、ふとホテルにしてみやうといふ氣になつて、朝鮮ホテルへ自動車を命じた。

ホテルへ着くと、北側の部屋へ二人は案内された。

「しかし、ここのホテルは、なかなか立派だな。」

と幹雄は感歎して云つた。外觀が緑瓦色のところへもつて來て、内の絨氈の色が、また牡丹色の重厚な、アフガン製で、統一がとれてゐた。



「建築としては、東京のステーションホテルが、これに似てゐるけれども、あれより豪華でない。京都ホテルは、中の趣味が明治初年といふ感じで、博物館へ入れられたやうなものだつたが、ここは全く、これやいいね。」

一人はしやいで喜んでゐた幹雄は、窓のカーテンをあけて見た。先づ、壯快な北漢山が、三角山の向うに、巨大な岩山の姿を現はしてゐた。

「やあ、これは素晴らしい景色だぞ。あれは貞子さん、白雲臺さ。左にある四角な黒い山は、仁王山といふんですよ。正面の三角山の下に有名な新宮家があるんですがね。」

窓のすぐ前にある五重塔を指差して、貞子は云つた。

「この五重塔はいい塔ですのね、向うの山がいいからかしら。」

「さうですよ。しかし、塔のある所は、ローズガーデンといつて、場所もなかなか、良い所なんですよ。」

「あなた、よく知つてらつしやいますわね。」

貞子は幹雄の記憶力のいいのに感心した。

「僕は一度前に來たことがあるんですよ。けれども、ここのホテルは、始めてです。たしか、このホテルの洋食がうまいので、有名だつたと思ふが、これはたしかぢやない。」

二人はしばらく景色に見惚れてゐたが、景色も眺めてしまふと、急に旅の長い疲勞が出て來た。幹雄は服を脱ぎ、着物に着換へると、寢臺の上へ、どうと倒れた。

しかし、その瞬間、ふと彼は、これはここで、自分と貞子は、結婚したのだと思つた。それに、彼は、もういろいろのことを考へるのは、つまらなくなつて來てゐるうへに、何となく幸福な感覺した氣持ちが、心の中に浸み流れて來るのだつた。それが、旅の寂愁といふやうな、そこはかとない詩情に、幹雄は全く反抗心がかき消えてしまつたのであつた。

「俺も、たうとうやられてしまつた。」

部屋の隅で帯を解き、着換へをしてゐる貞子の腰もとを眺めながら、ふつくらとした夢心地のやうな、悲しみに滿ちた氣持ちで、幹雄はいつまでも横になつてゐた。

「その着物は、貞子さんによく似合ふね。」

「さう。」

貞子は嬉しさうに、窓を開いて彼の方を振り返つた。何とその眼は、嬉しさの溢れた眼であつたか。

ラヂオ

午前の部

【六・〇〇】朝の體操、ラヂオ體操 今日のお天氣のお知らせ…臺北觀測所發表

【七・三〇】全國氣象通報(東京)

【八・〇〇】商工メモ(東京)

【九・三〇】家庭百科問答 △三十八歳の女性お産後手足に輕いシビレを感じます△三十八歳の女性姙娠四ヶ月より手足に痛みを感じます△十四歳の男子手足の毛穴にニキビ様のふき出ものが出ます△汗疹にお困りの方へ

【一〇・一〇】家庭料理獻立 臺北 稲修女學校教授 秀子 △肉團子のおけ(?)△トマトの酢のもの

【一一・〇〇】日用品小賣値段(各局) 職業紹介事項(各局) 午後の放送番組の紹介(各局)

午後の部

【一一・五九】正午の時報 氣象通報…臺北觀測所發表

【〇・〇一】放送局編輯ニュース

【〇・二〇】晝間娛樂時間 レコード演奏…交響樂(?)裸山の一夜(ムソルグスキー作曲) コンセール・コロンヌ交響樂團、指揮ポール・パレー△ヴァイオリン獨奏…ミケル・カンデラ 一、歌の翼に乗りて、作品三十四ノ二(メンデルスゾーン作曲) 二、ホラ・スタカツト(ディニキュ作曲)△チエロ獨奏…アンドレ・レヴィー 一、アヴエ・マリア(シユーベルト作曲) 二、セレナード(シユーベルト作曲)

【〇・五〇】經濟市況に引續き內臺定期船及臨時列車時刻のお知らせ…鐵道部運輸課發表

【一・四〇】全國氣象通報(東京)

【五・〇〇】子供の時間 東京 和洋合奏…若葉和洋合奏團 指揮 大越與四郎 一、子供の世界 二、きよし編曲 二、うたのお馬車

夜間の部

(同右)三亭の踊り(西村芳之助編曲)

【五・二〇】コドモの新聞(東京)

【五・二五】英語講座 臺北 中學 糊屋五十二 科第二十六講…片岡治

【五・五五】カレント・トピックス(東京)

【六・〇〇】子供の時間 臺北 お話 殿ぶらし殿様…臼井富英

【六・三〇】講演 東京 最近の支那を語る…神田正雄

【七・〇〇】長唄と淺歌 東京 東京美術學校 東京高師學校

【七・二〇】落語 名古屋 柴田屋長兵衛…橘の圓

【七・四〇】二幕歌謠(東京) 明應谷黑勢、一幕騒命濱船外 一、松曇二題遊び

【七・五五】連續ラヂオドラマ(大阪) 富士に立つ影 白井喬二作(四) 神垣…河原崎長十郎、中村石衛門、河原崎國太郎、解說 西三郎、演出 永田衡吉

【八・二〇】時報 東京

【八・二二】講談 臺北のみ 出世車…色井梅

【八・三二】琵琶 臺南のみ 江戸の紀行…高野旭嶺

【八・三二】邦樂 臺中のみ 湖水後り…大阪鶏雄

【八・五五】俚謡 臺南 一、追分節…尺八 菅竹山、山中節…唄 成田雲竹 尺八 菅竹山 三味線 成田米子 唄 成田雲竹 二、追分節・道行…唄 錢吉、尺八 成田雲竹 三、伊那節(大島節)…唄 成田雲竹 尺八 成田雲竹 三味線 成田米子

【九・一〇】氣象通報 臺北觀測所發表 放送局編輯ニュース、新聞社提供ニュース(各局) 公示事項(各局) 明日のプログラム發表(各局)

躍進する 彗星的イーデン

輝かしきその經歴

ヨーロッパの危機は國際外交の舞臺に英國の國璽尚書アンソニイ・イーデンを華々しく踊らした、三十七歳にしてアンソニイ・イーデンは國璽尚書の重職にあり、しかも過去十五ヶ月間における我國の如き彼の躍進振りはまことに驚異的である 彼は成功に成功した、彼の將來は今築かれつゝあるかのやうである今や彼は大英國の外相ジョン・サイモンの後任に擬せられてゐる

アンソニイ・イーデンが今月若へることを英國の保守黨は明日考へるだらうとは既にいはれてゐたことだ、イーデンはとつくに英國の新しい政策を實行に移し始めた英國がヨーロッパの舞臺を今日握つてゐるやうにイーデンの指引と直感さの上にヨーロッパの將來の平和がかかつてゐる

微笑むイーデン(彼の秘書(右)を連れて旅客機を降りるイーデン)

☆

彼の貴族出であることと彼の教養と彼の四年間の軍隊經驗とにも拘らず、アンソニイ・イーデンは文藝的藝術的素質と雅致とを兼ね備へてゐる。今日の英國における最も愛誦ある人物、大臣で一番多く語られる人々の一人に彼をしたところの特色は彼の性格と彼の態度とにある

イーデンは二十八歳で彼の最初の重要な位地についた、その時彼は內務省のゴツドフリー・ロツカア・ラムプソンの議會秘書となつた、その後一年にしてサア・オースティン・チャムバーレエンの議會秘書として外務省入りをした、國民政府が組織された時彼はサアジョンサイモンの下で外務次官に選んだ 昨秋さらに國璽尚書となつた、しかし彼の星は彼をここにとどめておくには餘りに輝き過ぎてゐた、彼は今に外相となるだらう、保守黨の首相の印綬を帶びるだらうと噂されてゐる、彼の名はロードウエリントンの後任としてインド總督と結びついて語られる、その位地こそ彼の東洋學と彼の東方への興味とによつて彼を最も喜ばしむるに違ひない

☆

イーデンはその容貌風采から藝術家、軍人、或ひは貴族、英國人のよい典型と呼ぶのに困難である、彼には丈が高く、色が黒く、髭形で、きつちりした性格である。彼はエコール・ド・パリスの流行專門家ピエル・デスラートによつて八ヶ月前「英國において最も立派な服裝をした人」であると賞せられた。デスラートを特に悦ばしたのは「イーデンのシルエツト」であつた。も一人のフランスのジャーナリストはイーデンのやり方は出來るだけ度々服裝を替へることだ、そして出來るだけ稀に政策を變へることだ、といつてる。漫畫家は彼を洋服屋の招き人形として描く

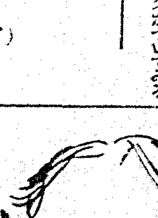
☆

ところで彼が今日のやうに英國の指導的政治家たる以前、もつと若かりし頃イーデンもまた政治に行くべきか、それとも文學に行くべきか？の人生の十字路に行き悩んだことは殆ど誰も知らないやうである。恐らくイーデンは政治家として今日の輝かしき地位を築かずとも、藝術批評家として名をなしたであらう。彼が論陣を張してゐた時でさへ既に藝術批評家であつたのだ。當時「ヨークシア・ポスト」に出てゐたA・Eといふ署名は實はアンソニイ・イーデンなのである(アイルランドの詩人ジョージ・W・ラツセルのペンネームのA・Eと同じであることも興味深く感じられる) 彼は嘗てオーストラリア、ニユージーランド、カナダを旅行した後で「太陽の照りわたるところ」の本を出した。それにはボールドウインの序文がついてゐる

漫畫的に見た名士の横顔 (下)

豊島舜吉

田中貢太郎氏



田中貢太郎氏

になつたが賓客婦の方が好者と謂ることができた。大阪の女給は知識が缺けてゐる。東京の女給の方がましだ。外國の漫畫の女給務員がめしをくふのにエロテシズムに走る。その後にくる女給はもつとメチヤメチヤになるであらう。

酒豪文士でエロチズムの作家旋風時代の作者である。氏の容貌はとても頑固であり、一寸見たら大工のやうであり、浪花節語りのやうでもある。「旋風時代」を連載中に大稲埕の梅田ホテルに時々泊つてゐた。

東京の酒は飲つぽたくて喉にかかるが、さすが灘西の酒は本場だけにうまい。大阪の仲居や女給は東京の女と比べて人間味が少い。お客としてサービスをするからだ、オレはカフェーなどの如く椅子に腰をかけてのむのはいやだ。文士の癖化なんかアホーだ。オレみたいに酒をのんでゐたらアホーな思想にはなれないよ

佐藤功一氏

早稲田大學工學博士である。なかなかの敏腕者。よく大阪にくる。

食の趣味はたしかに大阪は東京を凌いでゐる。大阪の千日前、道頓堀、心斎橋筋、そは東京でもない。つまりそこに盛り交ぜられる職業と趣味のコンビネーションがわかる。

ゲイシヤは東京の方がツホーマルだ、カフエーは大阪の方がツホーマルだ。

佐藤功一氏

「ラキヂユリアス・アバンダン」この氣持は大阪に強い。

廣津和郎氏

現代の若い女は結婚後は外國の優秀映畫をみて大に情操教育をせねばならない。

廣津和郎氏

早稲田英文科出身で木村毅氏と同じ出身である「女給」と云ふ小説でよく世間に知られた。ボクが會つたのは「女給」の作品が殺人公判に出てゐるときだつた。故直木氏のやうに相撲がお好きらしい。女給はゲイシヤとちがつて新生活でいろんな變化した經驗をもつてゐるから、身の上話でもきいてやりたい氣がおこる。ソクラテスの時代に人生はバカ

謎の國蒙古

蒙古と滿洲國の漫畫が八釜しく云はれ、ソビエツトの赤化政策で相當騒がれ出した此頃 現代六月號が發表した「漢古出身留學生に蒙古の習俗を訊く會」は非常に時宜に適したよみものと云ふべきである

女博士の顔合せ

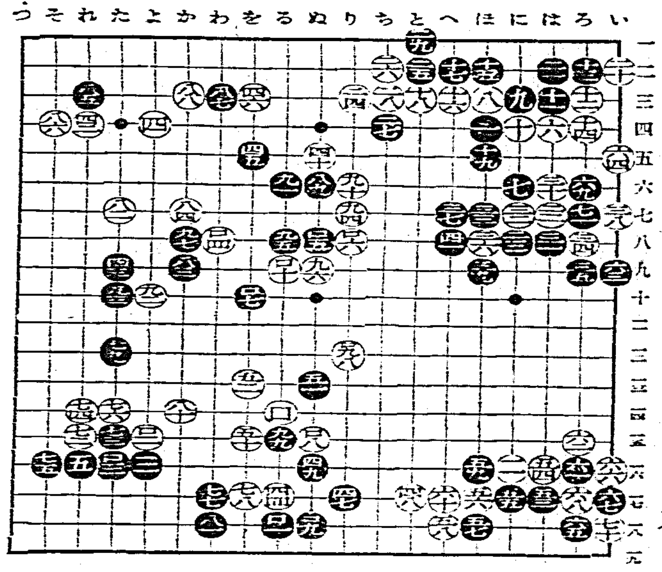
女流醫博五人がズラリと一堂に會し更に女醫界の大御所吉岡彌生女史が司會格で音頭取りをして「女の身體について」と云ふ珍らしい座談會を行つた婦人倶樂部六月號のこの記事は正に神秘の扉を開くものと云ふべきであらう

日本棋院 春季大手合戰譜

(第一局の三) 先相先

四段 宮下秀洋

先番 三段 田中不二男



○八六その四 ●八七わの三 ○八八かの三 ●八九ぬの六 ○九〇りの六 ●九一るの六 ○九二よの一〇 ●九三たの一〇 ○九四りの七 ●九五るの八 ○九六ぬの九 ●九七かの八 ○九八りの一二 ●九九るの一五 ●百るの一四 ●百一るの一八 ○百二よの一五 ●百三たの一六 ○百四わの八 ●百五ぬの八 ○百六りの八 ○百七をの一〇 ○百八ぬの一五 ●百九ぬの一八 ○百十るの九

所要時間累計 白七時三四分 黒六時二三 制限時間各八時間

戰評 白八六の下りは手強い。續いて黒八七に對して八八のコスミツケで手にさせぬ所、宮下君の本領を發揮して流石の田中君もいささかたぢたぢの體だ。黒八九、九一と重く打たせた所に、白八六、八八の殺さぬ氣合が波及して居るのを見逃がせない。この重い引き出しが遂いて白九二のノゾキを絶對ならしめ[illegible]

ければならない、黒九七で「ろの九」のツギ「かの十」の押へたとには白口四を含へ有力ならしめる、諸の突當りに白百「ろの九」の出を殘しては居るものの口四とハネ上げた事は「わの七」に皆割を殘して居るのだ、黒の延ひたのである、この一著に田中君四十八分の長考を費して居る、最後著く熱して一手一手お覺悟、宮下君ここぞと許り著實な著手、白九八は[illegible]の裂りを殺つて居る、黒九九で「ぬの十二」もりの十三も考へねところ、流石に踏み切つたもの、

口に次いで口一のワタリで急をかはした所は[illegible]白口二で口六にハネ出しても以下黒「ぬの十七」白「をの十八」の時その十六のワタリコミで失敗りワタられる白口四は九六の時から延ひ黒口七で「わの六」だならば殺いて白をの九との二段にハネ出して行かうの手、黒がこれを取れて諸の二子を取く外しで「わの七」の取りを狙ふ、白口一の九手を斷念して來たが、果して如何なる經過を示したであらうか

大評判の 富士 七月號

戀の横綱 富士七月號

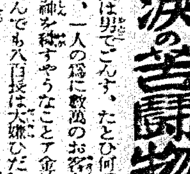
●小說讀むなら斷然「富士」

「富士」七月號の大讀物 玉錦涙の苦鬪物語

「玉錦三右衛門は男でごんす、たとひ何千何百の金を積まれても、一人の爲に數萬のお客をあざむき、相撲道の精神を穢すやうなことア金輪際出來ねえ、わしア死んでも八百長は大嫌ひだ」

あゝ！ 頼もしきこの一言！

昭和三年一月場所千秋樂の好敵手三杉磯との一番に、三杉磯の株屋に、まげて星を讓つて貰ひたいと札束を握らせられた時、好漢玉錦の一言！このあを傳へ聞いて、人知れずぢつと戀の焔を胸に燃やした花の名妓 それは新橋花柳界きつての人氣芸人松子さんだつた。二人の純情は遂に結ばれて戀の花と咲いた。ボロ錦と言はれ疵だらけの身體に横綱目指して一意努力を續ける玉錦が、遂に、横綱の榮冠と戀の喜びと、二ツながら摑んで、東關校館の花と咲くまで、血と涙の苦鬪、又陰に赤く咲く戀の純情ロマンス「富士」七月號で大評判、今スグ見られよ…



富士七月號は面白いので大評判

●將棋上達の急所 八段 金子金五郎

●圍碁上達の急所 七段 瀬越憲作

定價五十錢(送料三錢) 東京・小石川 大日本雄辯會講談社

昭和の金色夜叉 晴曇 久米正雄

珍談秘話 私にはこんな話がある

「金と權力に屈された淫獣に對して、彼の處女貞子が計劃した奇想天外の大復讐」

富士漫畫大笑館 名士名流の内職

▲戀愛流轉 七色の太陽 中村武羅夫

▲秘話末轉 虛無僧系圖 吉川英治

▲代表客一 鐵火の久助 村上浪六

子母澤寛得意の 新版やくざ系 血みどろ三平

…やくざ稼世にや過ぎた秘限、其で出合つたお銀の純情に、始めて知つた戀心、その戀に生き戀に倒れる血みどろ三平生命をかけての大義理、大痛快！

▲青春哀史 歎きの椿姫(北林透馬)

▲妖艶怪奇 神蛇苑事件(高橋定敬)

▲社會小說 鐵の十字架…長田幹彦

▲時代小說 敵討手形…三上於菟吉

▲因緣怪談 呪ひの腕守り…長田秀雄

▲時代小說 坊樣羅五郎…白井喬二

▲諧謔小說 奇人群像…佐々木邦

▲宮中奇聞 火星戰隊…平田晋策

▲熱血情話 春潮…佐藤紅綠

▲大岡政談 音羽丹七…一龍齋貞山

▲報國美談 山上の握手

▲探訪漫畫 邦坊道中修業

▲新作落語 長屋の算術

痛快壯烈 飛行家大座談會

岡本かの子先生をお訪ねして

井關智世子

井關 今日はお化粧について少し伺はせて頂きたうございます。

岡本 婦人がお化粧をするのを恐や恥の様に思つて居る方がまだある様ですが、人間が好い柄の着物をきるのが自身にも他人にも快感を與へるのが當然であると同じく、化粧もある程度むしろ必要だとさへ信じます。自分の立場とか程度をよく知つてするお化粧であつてほしいのは云ふまでもありませんが……。白粉をつけないことを自慢にしたり、他人のお化粧のことを云々するのを批難したりする人がありますが、女性として私は化粧に關心を持ち、化粧品に就いて語ることを恥かしいなどと考へません。わたくしが西洋から歸りましてから、サーワ白粉を知りましたのは、自分の劇作りましたものが上演せられますので、主人(岡本一平氏)と一緒に尾上菊五郎氏一座の多賀之丞さんを訪ねて楽屋へ參りましたら、多賀之丞さんが忙し相に白粉刷毛を動かし乍ら、別段こちらから質問もしませんのに——先生私共はこんなに白粉を塗ります。これはサーワ白粉です。此の白粉が出來ましたので私共がどれだけ助かつたか知れません。どんなに白粉をつけても絶對に絞がなくつてそして綺麗につくのですから安心して使はれます。——

——と、お話のうちにうつくしくお化粧が出來上りました。舞臺の方々は全部サーワ白粉を絶對信用して居るのですねえ。別に私が質問した譯でもなし、多賀之丞さんが私に白粉の宣傳をなさる必要もなし、機會に應じてふいにあの方の心から出た言葉ですが、私も劇を書きます關係上名優は國の寶だと思ひますので、其の方々が絶對に信用されなさるのは嬉しいことだと思つて居りましたところ、今の多賀之丞さんのお話を聞いて、サーワ白粉は良心的な品物だと自分もうれしく思ひました。[illegible]

以來サーワ白粉に關心を持つ様になりました。泰西の女優さんは綺麗にかゝつたお話は聞いたことがありません。ミス・タンゲツトなどもあれ程の年でありながら、舞臺許りでなく、[illegible]。世界に誇るべき我が國の歌舞伎の名優達の大半が舞臺のために命を縮めたのが、サーワ白粉の出現に依つて一掃されることになつたのは、劇に關係の深い一人として本當に喜んで居ります。

井關 サーワ白粉は唯無鉛と云ふだけでなく普通の白粉と原料が異つて居りますので、お化粧崩れがなかなか致しませんし、お寫眞などお撮りの節にはサーワ白粉のお化粧は好な光りが無いのでとても喜ばれます。先生はどう云ふ風なお化粧をなさいますか？

岡本 わたくしはコールド・クリームを薄くひきまして暫くの間乾かす意味で、ほかのことをして居ります。洗顔後や湯上りのときは、手水があいて居りますから、特に時間を置きます。そして粉白粉をはたきます。多忙でもございますので、お化粧は極めて簡單に致して居ります。西洋の婦人はとてもきれいにお化粧をします。クリームをひいてから、粉白粉を何回もくつけますが、とてもきれいに出來上ります。サーワ白粉はキメが大變細かく出來て居りますので着きもよろしうございます。無臭で、無害といふことがとても嬉しく、つけたあともサラツとしたい感じです。前にも申上げました様に以前は西洋のもの許り使つて居りましたが、此の頃は國粋の[illegible]くもあり、こんないゝ白粉が自分の國で出來るんですから、高い舶來品を買ふ必要は無いと思ひます。粉白粉の色は、[illegible]つ一寸云ふ白粉をつける方もある様ですが、少し婦人らしい色の感じが致します。

井關 サーワ粉白粉にも水白粉にも白色の他に三色ございますが、若槻師自身のお好みにいろいろお混ぜになつて使つてらつしやいます。中年のお方は肌色水白粉を非常に歡迎なさいます。

岡本 口紅は淡くあるのも好いですが、もつと深へた色を今一色欲しいと思ひます。私が西洋から歸りましたとき、日本の婦人方がお化粧が上手になつて居られるのに驚きました。丸見屋さんの様な信用のあるお店が、いろいろ化粧品を研究なさつて、良い品を社會にお送りになるのはよい事だと思ひます。一滴の白粉、小指の先きでつけた紅が個性に適應し、智的でスマートで各自の趣味性をも十二分に表現出來るとしたら、自分を朗かにし社會生活に家庭生活に非常に潤ひが出來るであらうことを思へば、愉快でございます。此の間お店の催例の、全市女學校卒業生招待會の講演に上りましたとき、きれいな方々が一杯に滿ちて居られましたが、私までが嬉しくなりました。學窓から社會へまたは結婚への輝く行進途上の無垢の化粧品でお化粧なさることが出來るので、非常に安心だと思ひました。私は巴里へ參りますと直ぐ社交界へ出ましたが巴里の婦人達のお化粧の美しいのに驚心致しました。自分の長所を生かし切つて、白粉の色などを各自が巧妙に研究して居るのには實に驚きました。此の間丸見屋様からお届けの化粧品はあちこちの婦人達に上げました節にお話し申した様にサーワ白粉は良心的な商品だと信じて居りますので、親類の若い婦人達の爲にと思ひまして分けて上げた様な次第です。

井關 ミツワ石鹸に就いて伺ひしたいのですが。

岡本 ミツワ石鹸は別に化學的に見たのではありませんが、使つて見て泡立ちがとてもよく、適度に溶けますし、使用後、肌がサツパリして、乾燥もなく良い品質の石鹸だと存じます。わたくしミツワ石鹸はずつと前から使つて居りました。

◇カツトは岡本かの子女史

◇さしゑは多賀之丞丈の素顔と舞臺(記事參照)

サーワの既製色粉(白・肌)二種・水と粉白粉各色(白・肌・新肌・濃肌)各四種づゝ、他にヴアニシング・クリームとクリーム白粉、以上十二種何れも[illegible] 東京市日本橋 丸見屋 ミツワ石鹸本舗[illegible]

崩潰に瀕した 歐洲金ブロック

今後の爲替相場は？

ベルギーが金本位から離脱した當時より早くも歐洲ブロックの崩潰が傳へられ、その後和蘭に於てもまたギルダーの動搖があり、同國も早晩金本位制を停止するだらうといはれたものであるが、その後

和蘭 の財界もどうやら落付き何時とはなしに金ブロック崩潰解消になりさうであつたのに今度は金ブロックの本塁たる佛蘭西の動搖である◇

佛蘭西として如何にその維持に努めた所でさきには英國の金本位停止でロンドンに正貨を積んで居た連中は大損害を蒙りその後にはドル王國のアメリカの停止で二度とびつくりした、英國の金本位停止で資金をアメリカに移した連中も多く「アメリカに限つてソンナ事はないだらう」と信じて居たのにアメリカさへ金本位を停止したのだ、佛蘭西政府は三日この方幾度となく聲明を發し「どこまでも金本位を維持する」といつて居る、たしかにそれは本氣でいつて居るのだらうか、さきに二度まで苦い

經驗 を嘗めて居る連中は「まあ引出しておくに越したことはなからう」と金の引出しを行うて居るに違ひない、政府の聲明があり、且つまた金ブロックの不安も一時は小康を得たやうであつたのにその實三月以來四十億フランの金が流出して居るといふことは明らかにその間の消息を物語つて居る◇

所でフランスが金本位を停止し延いて歐洲金ブロックが全然崩潰したらどんな影響を齎らすだらう、爲替相場は世界的に

動搖 しそれがため國際貿易が阻害されるであらう事はいふ迄もない所で、それでなくとも自給自足の國家經濟となりつつある矢先であるから爲替相場の動搖はさらにさうした氣運に拍車をかける事となろう、世界恐慌—世界的不景氣が更にその濃度を增し何時に至つて恐慌から脱出し得るかは到底想像もつかない◇

更にその影響を單にこれを日本に關する限りに於て見るに日本の商品が世界に向つてその市場を求めて進出して行つたのも爲替相場の關係から

通貨 價値が低下したのに日本人の通貨に對する觀念といふものは絶對的で少しも動かなかつたので再禁止制の半分値でこれを海外で賣つてもこれを邦貨に換算すると少しも損にならぬ、と云ふ所から日本製品がどしどしと捌けたのである、所がその後邦品の進出を阻害しようとして各國とも關税の障壁を高めその上にアメリカその他の金本位停止で爲替相場の關係は、わが輸出品に

不利 となつて來た、しかも今度佛蘭西その他が金本位を停止することとならば、全く爲替關係に依る有利な立場は或程度までなくなるわけである、昨今のわが株式市場の低迷は明らかにその暗影を反映して係りあるものがあらう

五月迄の輸出入貿易 既に三億圓臺に突進

五月中は内地貿易までも出超

對外貿易の躍進著し

臺灣貿易は外國貿易の大膨脹によりますます躍進してゐる、之を總督府財務局税務課統計係で調べたところによれば

五月 中の對外貿易は

輸出 三、八二八、一九〇圓
輸入 四、三二一、一九六圓
合計 八、一三九、三八六圓

に達し差引き四十八萬三千六圓の輸入超過を示し、前年同月の

輸出 二、四〇〇、九一〇圓
輸入 二、三四六、四六七圓

に比較せば輸出に於て百四十二萬七千二百八十圓、輸入に於て百九十七萬四千七百二十九圓、合計三百三十九萬二千九圓の激增を示してゐる、一月以降輸出入

累計 では

輸出 一五、六七一、二六八圓
輸入 一八、五四二、四〇二圓
合計 三四、二一三、六七〇圓

に達し僅か五ヶ月間で三百萬圓を突破してゐる、之を前年同期の輸出入累計二千三百八十八萬四千八百十七圓に比較せば實に百萬圓以上の膨張振りを示してゐる、次に内國貿易では五月中の

移出 二五、四四〇、二九〇圓
移入 一七、三〇七、七五三圓
計 四二、七四八、〇四六圓

に達し、前年同月の

移出 二一、六一七、八六四圓
移入 一五、五八八、三九三圓

に比ぶれば移出で一千二百八十二萬[illegible]圓、移入で百七十一萬九千三百六十圓

合計 に於て一千四百五十[illegible]萬二千四百二十九圓、移入で百八十一萬九千二百六十圓に上り、三億四萬二千七百八十九圓を激增し、差引き本年五月中では八百十三萬二千五百四十圓の大出超を示し、前年同月の移入超過二百九十七萬五百二十九圓に比較せば五月中の移出が前年同月に比し如何に多かつたが窺はれる、移出の激增は砂糖、米、鐵、茜蒲貢の移出增が主因し、移入では新竹、臺中兩州

移入 激增に因るものであ る、一月以降移出入累計では

移出 [illegible]
移入 [illegible]
合計 [illegible]

に達し前年同期累計に比し移出四千十九萬四千百八十九圓、移入一千九百十九萬七千六百四十八圓を共に膨脹してゐる、右により一月以降五月末までの輸移出入累計貿易額は實に二億九千九百七十四萬三千七百三十六圓に上り、三億萬圓臺に肉薄し、前年同期の輸移出入累計二億三千萬二千四十六圓に比較せば實に六千九百七十二萬六百九十圓の大膨脹となる

下の移入は肥料、雜貨類、燐寸、木材、綿織物、鹹乾魚、肥料の増大を來したによるものと見る、さらに毎月物價騰貴の影響も見逃されないのである

來月實行の 臺電增資案

【東京四日發支局特電】臺電增資は總督府では七月一日現在の株主に對し增資株を割當募集することに決定したが、さらに同案中の種々の點に就いて總督府では若し同案組合のいふことが不當であるとするならば、當初中央市場に「特殊の事情あるため同業組合に加入しなくとも宜しい」と總督が認定したことも今では事情變化し最早や特殊事情ありとは認定し難き實情となつたのである、因つて同業組合に加入して他の組合員と同樣な取引によつて進むべきものと思料される、但し事情の眞相に總督府自體が調査した譯でないからこれを斷じ兼ねる次第で、その眞相は今後の調査の結果に俟たねばならぬ

とあり、市場側及同業組合側及び仲買人との抗爭はこれに依つて一層深刻化するかも知れないと見られてゐる

内地農村信組

餘裕金が著增

全國農村信用組合の餘裕金を見るに運用狀況は次の如くである、その昨年末現在の狀況は次の如くである、即ち當組合四六八の餘裕金總額は四三一六六、七七七圓で、一組合平均九二、二二六圓の巨額を示してゐる、此の一組合平均餘裕金額の累年比較を見るに、昨年末峰に著増を示してゐる、即ち

	一組合平均餘裕金
六年末	七四、〇五二圓
七年末	七六、五六五
八年末	七六、九八三
九年末	九二、二二八

右餘裕金の、運轉で前年末に對する割合は、九年末で七八、一%で、前年末に比し二、七%の増加であり、同年末に比し二、七%の增加である、なほ右餘裕金の運用狀況を見るに

	一組合平均	割合
預け金	七〇、[illegible]圓	七[illegible]%
現金	[illegible]	[illegible]
有價證券	一六、四八八	[illegible]
計	九二、二二八	一〇〇

期米蓬萊上向く

拂下げを恐れた反動

[illegible]を經て左の如く決定發表された

等級	品種	産地	等級	品種	産地
一等	臺中六五號	鳳山郡	三等	同	高雄市
一等	同	同	四等	同	鳳山郡
一等	同	同	五等	同	鳳山郡
			等外	同	鳳山郡

政府の第一次拂下げが今にもあるかの如く警戒してゐたので一般に買手筋を手控へ勢が空いてゐるだけに相場は皮肉に下げないのみか逆に上向く可能性多しとみる玄人筋も可なり有力であつたが、政府の肚は拂下げの爲めに米價が崩れることは望ましくないといふにあるらしく過般第一次拂下げ發表後米價が暴落したことは寧ろ意外としてゐるやうであるから、先づ第二次拂下げをやるにしても期米が三十圓位に戻つてからでないかとみられ農繁期に入り産地正米の引締りも利いて發會以來幾度か伸惱んでゐた期米も遂に保合上放れとなり五日後場では同れに新規に買物多く大阪當限二十九圓八十錢と前日より二十一錢、中限二十九圓六十八錢と二十二錢、先限二十九圓四十三錢と二十八錢高、前日より二十錢高、中限は六十八錢と二十八錢、先限二十九圓四十八丁方の大引となり、蓬萊米は過日來の大勢崩で地方の實況もやや買氣動きと三十錢高で期近物を先約してゐたトランケン筋で手頭ひ來した向もあり又農家は一向賣急ぐ模樣もないので臺灣トランケン筋が逆に市場から期近物を買漁るといふ有樣で五日午前は中南部蓬萊現物九圓五十五錢、中部蓬萊九圓七十錢買入、六月渡南部蓬萊九圓三十五錢買入とメッキリ強氣配となり午後は期米高に連れ正市各限共買氣旺盛となり六月二十日限九圓四十八錢と前日より十六錢高、七月五日限九圓十六錢と前日より十九錢高を示し過日の最安値からみると前者四十八丁、後者三十七丁方高すに至つた、初め内地神戸の十圓以下賣下りを云爲し年ら一度九圓五十錢以下に崩れてからは諸種態勢してゐた内地の買戻筋も期米高に刺戟買氣を寄せ來り七月限沖の九圓六十五錢まで躍り出來し目先尙一段高を期待されてゐる

圓かに進み度い

深井日銀新總裁語る

【東京五日發】日本銀行總裁に任命された深井英五氏は流行に於て包み切れず左の如く語つた

自分は日銀に永らく生活して來たのだから日銀外から總裁になつて來た人達のやうに特に異つた今後の方針を說明する必要もあるまいと思ふ、通貨政策、金融政策に關する今後の方針は根本的には社會經濟情勢の發展に適度に順應し充分誤りなきやう政策を樹てて行く方針であるが現在の情勢では從來の方針を中心として極めてただちかに無理のないやうに進めて行きたいと思つてゐる、自分として最善の努力をして通貨政策の遂行を誤らないやう心掛けて行く考へであるが、これにつけても財界一般の支持協力を得なければ滿足に遂行することは出來ないから折角民間一般の支持を望みたいと思つてゐる

一期丸糯の 生産豫想と移出力

島内消費が案外多い見込？

四等代用無制限で取引安全

正米市場では今六日より一期丸糯作付面積や收穫高も決して確實なものとは云へない、蓬萊米の移出ことになつた、一期米の種類別作付面積が昨年は生産高も生まれた數字が發表されないので丸糯の生産高が如何なるかサッパリ見當つかず專業者に不明ではないかといふ批評も行はれて居るが、更に作本年一期丸糯は生糯作付面積が少し減少して生産少きも作付面積十三萬圓以上の滿度に作付も増加したので一期丸糯は中南部に作付割合少い方であるから作付に割合多くも前年と大差なき程度であらうとみる向もある、試に昨年の丸糯生産高をみると作付五千三百八十甲で收穫高六萬五千石、搗精十六萬二千袋に達したことになつてゐるが、これに內地移出に僅に三萬二千袋に止まり本島に殘り十三萬袋は島內需要で消費せられたのではないかとみられてゐる、丸糯の島內消費は年々特別の手當をせなければ本島消費の代りに消費せられたのではないかとみられてゐるとも種類別にかかはらず內地との取引は昨年一期丸糯が最後に十三萬六千袋に達したと見られてゐるが、昨年の島內消費十三萬圓一期丸糯はハズむものとみられてゐる、因に内地との取引約定は業者は四等米代用を無制限に許すことに決定したので內地移出は賣方も安心して賣向ふこととなり二十五圓から取引約定の十五年今日まで圓滑に出來てゐると

宇 壞 五、四四〇棟
無 被 害 二、五六一棟

一、家屋其他損害見込高四六、三九八、六二一八圓

大體右の通りで罹災地以來地方より最近迄の借入申込高は二百餘件金額約六十萬圓の由である

中央卸市殘氷の 共同調査は物別れ

組合側の歎願書內容 兩者の主張併行

臺北市中央卸市場殘氷問題に關する臺北市製氷業組合員と製氷同業組合員の五名調査は四日午後一時から同一所調で兩者共に調査したが市場側は本來の使命により使用する氷塊を十五貫と二十四貫を文書を以て提出することになつたが組合側ではそれに對し同業組合側は經驗を十分知らない事は出來ないと撥ね返し、數日中に臺北市は市場本來の目的による使用に限定するか或は四月までにかんがみ夏期生産十噸、冬期生産五噸に生産制限をするかと二項目を文書を以て提出することに決したもので市側が應ずるや否やは全く疑問で市對同業組合の殘氷の紛議は併行線をたどり遂に一致點が見られない

殘氷問題を續る 市場と組合の抗爭

共同調査の上總督府に陳情

督府の裁定が見もの

全島各地に於ける氷價は重ねて同業組合から各州當局への申請によつて認可が下り、之で全島の製氷界は同一の歩調によつて統制がとれるものと豫想されたが、最近に至り突然臺北市の中央市場製氷部の殘氷處分方法が問題となり同業組合及び仲買人間に相當の反感を買つてゐる模樣である、問題の要點は中央市場製氷部は製氷能力二十噸あり、一方市場關係の必要量は五六噸位であつて、若し二十噸の製造ならば十四五噸の殘氷を出し十五噸ならば十噸近く殘氷を生ずる豫定であり、之等に一般需用に賣出されてゐる、斯くては代行會社本來の主張たる重要物産同業組合法に謂ふ所の「營業者間の利益」に背反するものであるといふにある

例へば臺北市の綠町市場の如き普通なら一日に十貫目もあれば充分なのに、十塊即ち三百五十貫もの氷を製氷部から請け市場使用の分を除く大部分は萬華の達元方面に賣捌いてゐる、西門市場に於ても同樣な奮法で一般用に供せられてゐると主張する、之に對し

中央市場 では決してそんなことはない、現に製造してゐる程度の氷は市場だけで使用してゐる、若し嘘だと思つたら同道で實地見分に出掛けても宜しい

といふ譯で同業組合委員の立會で四日市内の各市場を調べて歩いたものである、之に就いて組合役員が五日總督府に陳情したところを聞くに、最初に調べた市場には左程でもなかつたが、次々と市場を變へるに從つて氷の使用量が次第に多くなる、といふのは市場側の立會人が市場の商人に對して「なにお前の店に二貫目でいいのか、五貫位は使ふだらう」「よく五貫目も要ることはよくあります」といつた樣な調子で段々增えて行く、そこで同業組合側の立會人が「そんなに氷を使つたら魚の賣上の儲けがなくなりやせんか」と突込めば「いえ私のところに現金賣で商賣につけませぬ」

と云ふので、ふでもなくやればならないと見られてゐる、そこで組合の商賣が出るのであるが

同業組合 側の言を聞くに

著しく好轉せる 對支輸出貿易

一ヶ月に千萬圓以上の增加ぶり

關税引上への見越輸出も含むか

【東京四日發】日支國係好轉に伴ふ兩國經濟提携は、最近益々密接の度を加へ本邦品に對する支那の需要は近年の同國農村不況及び銀高による同國經濟界一般の極度な萎縮狀態にも拘らず邦品の撤價なると良質なるため益々喚起されるに至つたが、この兩國經濟關係の好轉は各方面より好感を以て迎へられると共にその

將來 については多大の注意が拂はれてゐる、即ち最近上海駐在横竹商務參事官より外務省への電報によれば本年四月中の支那對日貿易は輸入一千五百九十萬元輸出四百七十萬元で輸入は前月に比し英米が夫々六分を減少したにも拘らず一割增加してゐる、更に前年同期に比べて輸入は四百七十三萬元を增加したが輸出は百三十一萬元を減少してゐる、本年一月以降累計は輸入四千九百五十萬元輸出一千二百二十萬元と前年同期に比べ輸入は實に一千百三十一萬元を激增し輸出に於ては逆に百九十九萬元を減少してゐる

對日 輸出の減少は全く同國接者に基くものと見られる、而して我が大藏省貿易月表による四月中の對支貿易も右と同じ傾向を示してゐる(單位千圓)

	本年	前年同期
△四月中		
輸出	[illegible]	[illegible]
輸入	[illegible]	[illegible]
△一月以降累計		
輸出	[illegible]	[illegible]
輸入	[illegible]	[illegible]

即ち對支輸出に關する限り僅か一ヶ月中に實に一千萬圓以上の激增を示してゐる、右は日支經濟關係の好轉を如實に物語る證左とされるが又一面近く國民政府に於て輸入税附加定徵收の意向あるやに傳へられるため邦品の見越輸入もこれに相當加味されてゐるものと見られる、而してこの

見越 輸入がなは必ず警戒されるものと觀測されるので四月中の對支貿易の良好なるを以て直に全般的日支經濟關係の好轉と見るは稍や早きに失する感があり尙今後數ケ月間同國經濟界の動向を見極めると共に兩國貿易の成行を静觀した上で決定さるべきであらう而して輸入激增品別の重要品目の一般的輸出は左の如くである

	本年	前年
ビール	[illegible]	[illegible]
石鹸	[illegible]	[illegible]
絹絲	[illegible]	[illegible]
人絹糸	[illegible]	[illegible]
綿織物(生地)	[illegible]	[illegible]
同(晒)	[illegible]	[illegible]
毛織物	[illegible]	[illegible]
紙類	[illegible]	[illegible]
硝子及同製品	[illegible]	[illegible]
鐵	[illegible]	[illegible]
機械及部分品	[illegible]	[illegible]
木材	[illegible]	[illegible]

高雄州の檢査 標準米決定

高雄州當局一期蓬萊米の檢査標準米查定會は去る三十一日高雄檢查所に於て開かれたが五月蓬萊米檢査標準の決定は

勸業銀行の 貸付先被害調査

回答による見込四百四十萬圓

借入申込金既に六十萬圓

日本勸業銀行の震災地方に對する貸付高は既報の通り約二千四百二十萬圓(債務者數一千九十〇)によつてゐるが同行に於ては震災地方を通し最近に至り此債務者に對し震災に依る被害狀況を書面を以て照會させる由で其の結果に就き照會に依れば左の通りである

一、照會件數 二七七六件
一、回答件數 二二七件
內 被害有之 二二一二件
無被害回答 一五九件
一、損害內容
一、家屋被害者 二四五名
(內全壞者一五五名)
一、家屋被害程度
全壞 七七九七棟

內地、臺、鮮を通じての 農林省の馬政計畫

今月中に內審へ附議

農林省では、目下各地馬政計畫を審査中であるが、この計畫は[illegible]

大馬政計畫を示して[illegible]を通じ、施行[illegible]を實施するにあたり

◇臺灣 などの外地は勿論調査[illegible]

◇元來 [illegible]

◇飼料 [illegible]

一、[illegible]

糯の買氣旺盛

蓬萊は產地高に賣無し

【臺中五日發支局特電】臺中地方の蓬萊米は[illegible]産地高に賣ものなき有樣一期丸糯は先々一期糯に移る形でソビエットへの輸出見込が傳はるなど三圓六十錢と二十錢方至くなる[illegible]

商況(五日)

島內米肥

臺中米價(五日)

臺中蓬萊米九圓七十五錢△出來高蓬萊米二千二五袋 臺中在來[illegible]

臺北米現物相場

		五日	對比
中部一期蓬萊米		九七三	三五
南部一期蓬萊米		九六三九	六五

基隆在庫米

(五日朝現在)

一期蓬萊米	三四五九六
二期蓬萊白米	二〇二二
二期在來米	一六九

高雄在庫米

(五日朝現在)

一期蓬萊米	二二四三六八
二期蓬萊米	八八二
合計	二五六六〇

正米市況後場

受渡に付き休場

島內肥料相場

(現物現金賣價)

大豆粕	一四五錢
硫安	一四九〇錢
英安	一四五〇錢
過燐酸(七貫五入一五%)	一〇〇二錢
同(七貫五入一九%)	一四一一五錢
智利硝石(四八%)	三四四五錢

期米

大阪期米後場

[illegible]

東京期米後場

[illegible]

神戸期米後場

[illegible]

堂島調達控除寄合

[illegible]

株式

大阪短期後場

[illegible]

大阪長期後場

[illegible]

東京株況前場

【東京五日發】買込の反動で前日は一戻りを示したが環境情勢は依然たる不透明にあるので買控と共に早くも伸惱みの市況と化し佛國內閣の再辭職を傳へ金本位暗惡の再燃となり賣方の手仕舞で早くも反落商情を呈した、長期紡績株は鐘紡不振新東三十錢高その他倉紹新、東レ新等一圓內外安鉛株も殆んど保合ひ人絹株では帝人頭重く伸惱み鐵株では銅官二圓安入山一圓三十錢高日鐵新一圓二、三十錢高三菱一圓四十錢安日鐵一圓四十錢安戸畑東六十錢安東株新一、二千錢安に引けた、短期新東は百三十八圓丁度と七十錢安に寄り戻り一週に強戒氣分を强め金本位ブロック崩潰懸念等もあつてアト下向き七圓丁度と下げ七圓十錢と引け鐵紡弱重く人絹株の一角は東レ新の減配說に六十錢安帝人新も七十二圓原から六十九圓七十錢と崩れ日產は七十五圓七十錢で寄引と崩れ

東京短期後場

[illegible]

東京長期後場

[illegible]

東京株況後場

【東京五日發】フランス內閣の瓦壞に前場から後場漸狹し一方人絹株の再暴落等も人氣冷し後場は一段と崩れ込み買人氣手控した長期新紡株は覆いて轉轉に保合ひ人絹株は更に大崩れとなり東レ新は五分の特別配當踏止說で三圓二十錢方崩れ倉絹五四十錢安帝人二圓七十錢安と一齊賣叩かれ砂糖株は保合ひず雜株では日立、大日電一圓安その他も小甘きもの多く日產十錢安となり東株は諸株に比し荊祿袖され二圓十錢安新東一圓七十錢安と大引

短期 前場から又軟化の商情で後場は一段安に崩れ新東は百三十七圓十錢と不機に寄附き五圓九十錢まで下げ大引は利喰買で六圓五十錢と落附いて止めた減配見越の東レ新は六十一圓七十錢まで暴落し帝人新も六十六圓六十錢と崩れて止め一般の人氣も之がため惡く鐵鋼は九十四圓丁度まで落し日產も七十一圓六十錢と押し日新も五十八圓丁度と一服となつた

大株雜觀

【大阪五日發】買込の反動を惹起し昨日猛反撥して市場人氣は漸く落附いたかに見えたが先頭切つた買氣は更新年するに至らず利喰つて賣力を增大せる軟派の戾り賣侮り鞘くく後場は早くも人絹株中心に一齊再落した、然し池日の崩落で玉整理一段落してゐるだけに要物は良く消化され底意は隱分改善されて來た模樣で一般人氣は軟材に鈍感となり上海の金融恐慌による金本位ブロック不安及び崩る一段の更に相場に好感してゐた、月先賣方の壓迫は免かれぬか一杯買込んだ後は買込の反動を惹起するに非ずやと見られて來た、尙大新硬い山國賀出動と發紡整理から新東への箇替せ懸想の買氣が動いて來た爲である

爲替

臺銀建値

倫敦	一志二片三一分三
紐育	二九弗
上海	七七四二分一
新嘉坡	二〇〇二分一
爪哇	一二四二分一
上海	一七〇四分三
香港	一四〇三四三
孟買	一四〇四分一
濠洲	[illegible]
加爾	一〇三四分一

絲況

大阪綿絲

▲後場

	寄	引
六月限	二〇八、七〇	二〇九、一〇
十二月限	二〇二、八〇	二〇二、五〇

砂糖

大阪清算

▲後場

	寄	引
十限	一一六、八	一一七、八
十一限	一一三、八	一一五、八
七限	[illegible]	[illegible]
十限	一一六、九	一一七、八

青物魚類卸相場

五日(臺北市中央卸市場)

▲蔬菜地物 [illegible]

▲蔬菜內地物 [illegible]

▲魚類地方物(五日) [illegible]

五月五日にて各種蔬菜共仕掛け顯著相場は手堅く保合であつた(二)西瓜、刈菜、韮花は入荷薄の爲保上引戻き氣配濃厚相場も一般に手堅く保合で居る越瓜は出盛期に入り下押の觀あるも人氣よし

▲魚況 地方物、內地物共に入荷少量、主として上りマグロ、鯛、上サヨリ、イカ、シマアジ、大フカ、赤芝、多く、尙何の相場も入荷よりも、主として下落、[illegible]

馬越藥學博士創製
濱谷農學博士監製

慢性の胃腸病には
一時押への散剤や
下剤よりは……もつと
根本的な……補強
療法で！

胃の工合が悪いからと言つて散劑を服み、腸の工合が良くないと言つて下劑を服む、何れも一時的には症狀を除き得ますが、その藥が通過し終ると、效力も亦過ぎ去り、次の食物が入り來るや更に散劑や下劑の援助が無くては働かなくなります。急性の胃腸病にはこれも良いでせうが、慢性になるとかゝる一時的な對症療法では胃腸の活動は鈍りその症狀は次第に嵩じ底知れず深みに陷り行くのみです

便が腸内に停滯するのは日常の食物中にヴイタミンB複合體を缺くことが最大の原因であることが闡明さるゝに至りました。つまりヴイタミンBを充分に攝らないと胃腸の組織が弛み消化液の分泌が減るため、榮養物が充分消化吸收されず、且つ排泄が停る結果、新しい食物に對する飢餓的欲望も起らないし、便が停滯する結果體内に便毒が循環して神經を亢奮させたり、皮膚に發疹させたり血色を蒼白くさせたりしますが、一層重大なことは病氣に對する抵抗力が著しく減殺することです

かやうなときヴイタミンB複合體及び各種酵素を豐富に含有する麥酒酵母エビオス錠を與へますと先づ第一に失はれた食慾が再び起て來ることです。次に便通が自然についてくることです。從つて今までのやうに幾日目毎かに下劑に依らなければ通じがなかつたやうな場合でも、何等不自然な催便法を講ぜずとも自然に且つ的規則に健康便を排泄し得るに至るのです。その結果、體内の不淨物が淨められ、氣分は爽快となり、食事は進み、種々の病氣に對する抵抗力は非常に強大となります。

所謂「慢性胃腸病」と云はれる胃腸弛緩症に惱まれる方は、ぜひ麥酒酵母エビオス錠を以つて在來の一時凌ぎの療法に代へて原因的榮養療法を試みらるべきであります。これは胃腸の組織を根本的に補強するのですから、數日乃至數週にわたり規則的に連用して機能の立て直しをすることが望ましいのであります。ヴイタミンB飢餓症を鎭める可く初めの數日間は二三倍の大量を服み、一旦食慾が正常化され、便通が整つてからは普通量に復歸して連用し　少くも一ケ月間は繼續して結果如何を注視されるやうお薦めいたします。

純正の麥酒酵母！

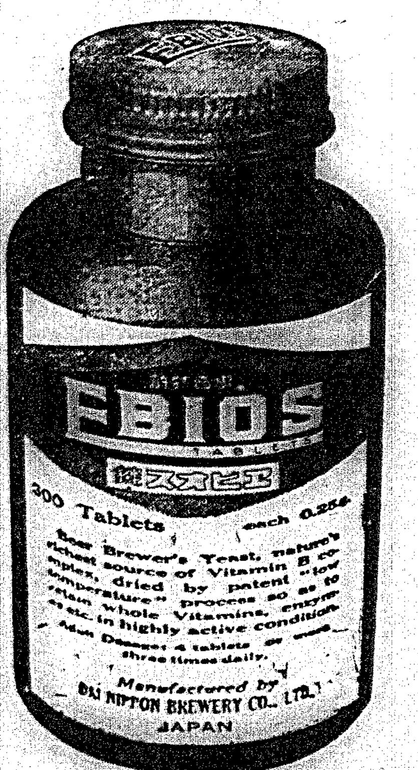
酵母ならばなんでも同じやうに効くと云ふのは過去の觀念です。今日の科學は純正の麥酒酵母のみが治療的に有効であると教へて居ます。廢糖蜜酵母その他の蒸溜酵母を絶對に混入せざる純正の麥酒酵母を御選定あれ。

三百錠入……一圓六十錢
一〇〇〇錠……四圓八十錢
その他粉末あり

エビス・アサヒ・サッポロ・ユニオン麥酒醸造元
大日本麥酒株式會社
東京市日本橋區本町二丁目
株式會社田邊元三郎商店
大阪市東區道修町三丁目
株式會社田邊五兵衞商店

胃腸を丈夫にする

エビオス錠



EB66

佛壇から怪白骨
老夫婦の死後に發見
失踪した長男は殺されたか
財産横領の爲のトリックか

長男は再び歸へらぬ遠い所へ往つたと生前奇怪な事を口にして居た老夫婦の死後、失踪の主である長男のものらしい白骨が開かずの怪佛壇の奥から發見され、件の白骨は遺産横領のトリックか、それとも此の白骨は十年間祕められた殺人事件を暴露するものかと云ふ探偵味百パーセントの怪事件が起つた

長男が放蕩兒で猛烈な親子闘爭
十年前長男は失踪（？）

失踪の主は岡山縣上房郡津河村八川一七一四島田定一郎と妻能婦恕の間に生れた長男島田稔で、現在生存して居れば三十八歳になる、彼の父親の定一郎は郷里岡山で巡査を五年勤務した後、[illegible]業に從事して居たが、志をたて明治四十年來臺、四年間臺北廳巡査を勤めあげ、辭職してからは澎湖に於る[illegible]利平の財産管理に當り、その間郷里の財産を整理したり、僅かな月給を爪の先に火をともすやうにして

貯へ込んだ金が全盛時代には七、八萬圓もあつたが、好事魔多しの例に洩れず何不自由の無い定一郎夫妻にも一つの惱みがあつた、それは長男稔の放蕩である、稔は兩親のチヤツカリした性格とは凡そ反對の濫費癖の男で、兩親の財産を盛んに濫費したので兩親は極度に稔を疎んじ、彼が入營前には勘當寸前に返し各新聞紙にも廣告した程だつた、彼は間もなく朝鮮龍山師團に入營、て満期となり或年内地でぶらつき大正十四年の末ひよつこり歸臺した時は兩親は放蕩息子に貰はれるよりは寄附した方がとの考へから新北投十四番地に新築した

別荘をつくつて住つて居た、そこへ兩親には目の上の瘤の稔が歸つて來た、猛烈な親子の爭ひが連日のやうに繰返された、

不孝者の稔は「出刃庖丁」で父親に向へば父親は日本刀を持出すといふ大騒動が間斷なく續いた、隣近所では怪親子とい噂のたちかけた頃（大正十五年十一月中旬）突然件の稔の姿が湯の町北投から消え

失踪の島田稔（岡山縣高等中學時代）

た、間も無く定一郎夫妻は北投の別莊を人手に渡し臺北市新榮町五六番地に新築した二階建に移り、共處で父親は昭和五年二月十六日死亡した、親戚知己が寄つて家督相續の關係上稔の所在を

母親に訊いたが「稔の事は聞いて呉れるな、あれは二度と歸らぬ遠い所に行つた、遺言には頭髪と爪がとつてあり、佛壇に祭つてある」と奇怪な事を云ひ、親戚の者もあらゆる手を盡して稔の所在を搜査したが判明せず、大方北海道の監獄部屋にでも賣られたのだらう位に考へ追究しなかつた

母が死の床で奇怪な言葉
古ピストルも出て
當局大活動

然しながら奇怪な事には母の能婦恕が今年の初頭から病床につき昔田病院に入院してから能婦恕は何かに憑かれたやうに魘され、郷里の兄の森下多作（六三）に云はねば死ぬと云ひ出したので死んだ氏等が相談の結果、前記の多作と能婦恕の從兄弟に當る森下卯太郎氏を岡山から呼んだ、兩人は何事か

密かに兄の多作に告げて去る五月十一日一人娘千枝子（三五）を遺して死んだ、後に殘つた千枝子と財産を繼り親戚間に爭ひが起きかけて居るが、今では新榮町の家で亡兄の千枝子が存在して居る、百治氏は稔の所在が不明で一日目の去る二十一日の午後四時頃千枝子に兄の事を云出した所千枝子は「稔樣は殺兄さんは佛壇に居ると云つて居ました、でも佛壇に觸れると祟りがあると云つて除けませんでした」との話に、ままと開かずの佛壇を除けた所布で

二四重にも包まれた髪と爪ならぬ白骨が出た、兄の定一郎の白骨の外にこんなものが有る筈は無い、之はてつきり稔の白骨だと直感し、百治氏は此の謎の白骨發見に吃驚すると共に、念の爲家内を搜した所前居の二階から古ぼけたピストル二挺と使用済のピストルの彈丸を發見したので益々奇怪に感じ直ちにその旨を當局に屆け出た、此の奇怪にしてグロ味溢れる訴へに接し當局では稔の死は定一郎夫妻が殺したか死に至らしめたものとみられ、件の白骨の謎を解かねばと大活躍を開始した、一方新竹州下に出張取調べを開始した、現在迄の當局の取調べでは件の白骨が失踪の主稔のものと斷定もし兼ねるが、他面稔が

前記のピストルで射殺されたと見られる節もあるし、或は二三萬圓の資産の横領を謀る一味の巧妙なトリックではないかとの疑問も存在する模樣で、何れにしても近來稀な奇怪極まる事件である

腑に落ちぬ
謎の家を守る
百治氏の談

怪白骨が十年近くも開かずの佛壇の中に秘められて居た謎の家を守る島田百治氏は語る

二十一日白骨が佛壇から出たので能婦恕さんの弟の森下琢也さんと兄の國多作さんに來て貰つた所多作さんの云ふのには、死んだ妹（能婦恕）は長男の稔の髪を姿のと一緒に郷里にたてて呉れ、稔の爪と髪は佛壇にあるが決して見て呉れるなと云つたさうです、能婦恕さんが入院中留守番を頼んだ伊丹ユキさんはあの家は氣味が惡くて一人で居れんと逃出した事もあり、兄夫婦が所在不明の長男を十年近くも一度も搜さなかつた點も腑に落ちません

ジユノウ號の船長
人目をさけて出北
臺北裏驛から直ぐ自動車で
淡水のライ石油社支配人宅へ

世間注視の的

世間注視の的になつてゐるジユノウ號のジー・テイアリング船長は臺南病院から保釋を許され四日長尾辯護士と共に臺北へ向ふ事となつたが、臺南から乘車する事を避け嘉義で二等の乘車券を買つて同夜十一時六分嘉義驛發で北上、五日午前六時十九分臺北驛に着いた、しかし表改札口から出ず裏驛から出て同所で待ち受けた自動車で船長と二等運轉手とが淡水へ向つた、かくて七時淡水のライヂングサン石油會社支配人某氏の宅へ入つた記者は程經て同所を訪れ船長に面會を求め船長方へ懇請したが、同行の一等運轉手は

只今寢て居ります、全く心身共に疲勞してゐて未だお氣の毒でありますが御勘辨願ひます

といふ、依つて記者はテイアリング船長の目覺めるまで待つとて三時間を同所で待つたが遂に代らず辭去した

（寫眞は淡水の隱家）

臺南を出發
永康驛で乘車

【臺南電話】ジユノウ號船長ジーテイアリング氏は四日午後八時半頃長尾辯護士、土居ライジングサン號商會代表と共に自動車にて四春園旅館を出て人目をさけて永康驛に於りここより同九時十八分發上り普通列車で嘉義驛迄、それより上り夜行急行一等寢臺車にて臺北に向つた

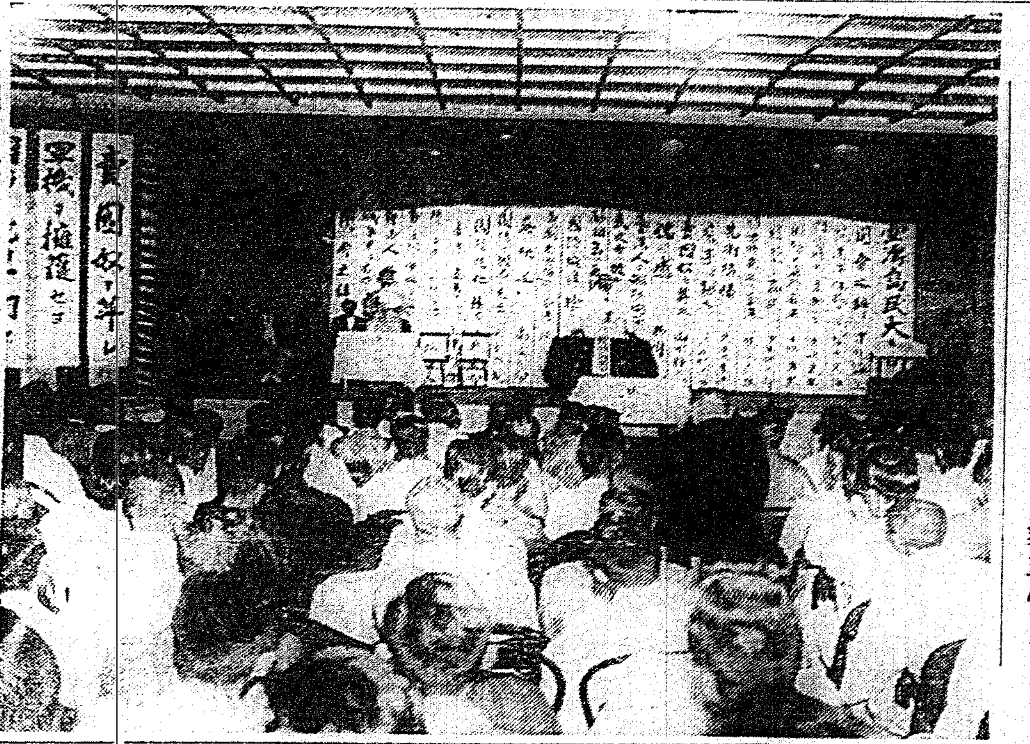
岡田明大教授に
辭職を勸告
大日本生産黨が

【東京五日發本社特電】大日本生産黨ではジユノウ號事件の辯護人明大教授岡田庄作博士に對して五日明大教授辭職の勸告をなした

重大視

し當局者は係長[illegible]

白骨の出た謎の家



國民的感情は
火の如く燃えて
殆ど全島大會の觀を呈した
ゆうべの國防强化大演説會

帝國の國防上に於ける重大時局に際して臺北で開催する國防强化大演説會は五日午後七時から鐵道ホテルに於て開催された、主催者は臺北在郷軍人會同志會並に市民有志であり、非常時局を反映して全島各地からも多數の聽衆が馳せ参じ、形式上全島大會を現出する盛況である、會衆は

怪船臺灣近海横行の報道と併せ、臺灣國防について國民の衷心より祈る[illegible]して、會衆は一千餘名に達し、定刻にはもう寸分の隙なきまでに會場を埋め盡した、正七時半

頭濱顯海三氏を議長に推して滿場一致全島大會の名に於て左の決議文を可決し、直ちに岡田首相はじめ各大臣、内地各國防團體、島内各分會等に各電報を打電し、次いで頭山満、内田良平、諸氏をはじめ各地より寄せられたる五十餘通の披露あり

滿場湧き立つたが、特に臺灣在郷軍人會が各團體でジユノウ號事件の臺北移管に關して發せる痛烈な檄文を

熱心に聽き入つたが、斯る會衆中には官民有力者や法曹關係者も多數あり、近來にない國民的感激に溢れた會合であつた、演説者並に辯士は左の通りである

△開會之辭（濱崎顯海三）△花蓮港の住民として（松本光雄）△非常時局に直面して（寺崎武雄）△國防と海外發展（森方男）△日本島民（中本欣太郎）△非常時意識と覺醒（梅尾武雄）△先づ國防（足立乙彦子）△魔手は動く（清水紀與治）△皇國奴を葬れ（山下好太郎）△僞装（西川紀）△臺灣人と國防問題（谷龍郎）△武文者に敎ふ（石原俊）△[illegible]（濱崎顯海三）△國防の擁護に就て（濱崎顯海三）

【寫眞は演説會場】

△帝國の南方經過と濃厚（陳清波）△無軌道南洋三郎）△國防と國力の充實（米女正義）△國防强化に就て（中村小太郎）△南方の南方（上瀬利雄）△敵て平民より特殊階級へ（林治人）△身を以て重機を護れ（田中二）△自由人の立場から（唐澤信夫）△我海軍の威力を示せ（米澤國粹）△閉會之辭（中村小太郎）

喝采を博す、淸水氏は露頭を剃し、さこは英領に於て日本船が拿捕された不法なる事實を列舉して無慙の暴をそそり、我國の侮りに無關心なるを說き、稻尾氏は臺灣在住者は今日に於て漸く目ざめたりと喝破し、この犠牲を實行に移せと結ぶ、西川氏は歐米人の横暴を痛いてその爪牙に燃ゆる

内に漲つる熱狂振りである、演說は花蓮港より應援の松本光雄氏によつて開始されたが、同氏に次いで寺崎氏は十四萬の生靈と三十億圓の國帑を賭して東洋平和のために確保したる滿洲である、今日満洲は喜怒であると て非常時克服を强調し、森方男氏は積極的國防を力說し、臺灣は南方の生命線たれと叫び、足立氏は國防第三線の威力と國民の力を說きいづれも大

決議

帝國南方の國防線たる我が臺灣の近海に於て最近頻々たる怪外船の出沒するに鑑み、我等全島民の愛國的意識を喚起、輿論を統一し、軍機の擁護と國防の確保に向つて邁進せんことを期す

決意せり、內地人と本島人とは既に渾然一體となり國防には內臺人の區別なし、本島人も[illegible]支那人の通謀なく外交と經濟の能力もなきことを告げ、陳清波氏は國語諸語氏は府介石軍に國民黨に目覺めた國民の義勇なる事を強說、全國に雄飛した、上瀬氏に次いで中村氏は國防の淨化を說き、上瀬氏は刑法の不法なる日本商品の拿捕と漁船の邪道を列舉して奔放の餘地なしと叫び、林氏はスパイに對して嚴たる國法を強調す、田中氏は臺灣の國防の重大性を强調するは畏くも御聖旨に副ひ奉る所以であることを力說し、唐澤氏は自由人の立場と題してジユノウ號の正體を巧みに摘つてヤンヤの喝采を博し、米澤氏の海軍の威力を最後に同十時半閉會したが、會衆は最後まで席を立たず、いづれも

氷仲買人
百餘名集合
四項目を決議

臺北市內の氷仲買人は卸賣と小賣との値幅を廣ねてより三錢以上たるべきことを主張し、共同計算所の設置に對しこの申入れその實施方を依賴し置いたにも拘らず、四日夜の共同計算所のよそ〳〵しい態度に憤慨し五日午後八時から約百名の仲買人集合し滿場一致を以て左の四項を決め九時半散會

一、臺北市內氷仲買人の生存權を確立すべし

二、中央市場の製氷は共同計算となすことなく、仲買人協會に供給すべきことを主張す

三、須賀の買占り一錢五厘は尽く業狀態を來し著しく困難に陷るを以て之を三錢以上とすべく共同計算所に陳情す

四、一塊を從前通り三十五貫として計算されるやう陳情す

賭博犯が逃走
中に死亡

臺北州高等[illegible]臺北市有明町三の三〇賭博逃走犯[illegible]朱木生（二）が自宅に立ち歸つた所を五月午前十一時頃受持ち警官が逮捕し同人を連れ出さうとするや、いち早く逃走したので警官が追跡龍山寺二の三五先き空地に差しかかつた際犯人が急に倒れて死亡した、追跡中の警官が早速醫師の診斷を求めた所モヒ中毒なのに急に激しい活動をした爲め心臟麻痺を起して死亡したものと判明した

幼兒の毒藥自殺

【新竹電話】新竹郡新埔庄宿里六大陳金水の孫陳葉松（三つ）は三日午後一時頃自宅で五月節句の粽に使用した灰油を誤つて嚥下したので直ちに同庄仁醫院にて手當を施したが四日午後十時頃に死亡した

冷用酒瑞光の小壜を賣出す

專賣局では昨年試驗した冷用酒瑞光の賣行良好なるに鑑み本年は品質並に外裝を一變して淡雅な清水の如き色澤を持ち味も風味豐かな味はひの冷酒を永なの如き小壜な特製壜に詰めて賣出した、定價は二勺入（二合七勺瓶）一本三十五錢で、瑞氏十二、三度に冷しガラスの小杯を取つて飮むのに好適だといふ

新竹の時の記念日行事

【新竹電話】新竹市に於る十日の時の記念日行事は左の如く決定した

一、時刻通報

イ、十日午前六時、正午、午後六時の三回各一分間モーターサイレン吹鳴

ロ、各寺院教會では同日正午一齊に打鐘

ハ、機關車各工場等にては同日正午汽笛吹鳴

二、九日は標ビラを撒布す

三、各小公學校その他教化團體では朝禮、講話、時間測定、標語作成、學校新聞掲示その他適切な方法

四、各團體の申合事項、時間勵行定時勵行

當日午前十時を期し各教化團體を網羅し自動車隊を編成して市內を練り廻り大々的に宣傳する豫定である

一般市民に定時勵行の引締をなし一般市民に徹底的に行はれる

て正時を報知せしめ榮町、本町、御成町、太平町、萬華の各通りに

時の記念日の臺北の行事

六月十日の時の記念日に際し臺北市の實施事項は臺北市小公學校長會議、教化聯合會理事、勵行青少年團長會議に於て本年度中特に實施事項中に揭げ申合せした定時勵行の勵行を實する事に決定し、時の記念日前日に關係者に公文を發し協力して定時の勵行を計る事、時の記念日に臺北市では午前六時、正午、午後六時モーターサイレンを吹鳴し市內主なる寺院教會學校會社工場に於ても鐘又は汽笛を吹鳴せしめる外前日迄に時勵行ビラを配布し時間勵行に關する放送、十日午後七時半から新公園で映寫會の開催或はバス車掌に[illegible]、[illegible]

バスの僞造乘車券

【新竹電話】新竹、頭分間乘合バスを經營してゐる新竹昭和自動車株式會社では最近僞造乘車券を顧客が十枚發見してゐるが、之を聞き込んだ新竹署の柳本選は目下嚴重搜査中である

けふの天氣

▲臺北地方　南東の和風　曇一時驟雨

▲北部地方　南東の和風　曇一時驟雨

△昨日の最高氣溫八十四度七分午後四時（臺北測候所發表）

特別廣告

內科花柳病　本町二丁目　電話六六七番　山本醫院

榮座庭木及庭石一式

六月六日午前十時競賣入札

（御希望の方は榮座へ御越し下さい）

急告

弊社瑞穗丸ハ都合ニヨリ六月八日基隆著及六月十二日基隆發航海ヲ缺航致シ自由代船トシテ恆春丸ヲ左記ノ通リ運航セシメ可申候ニツキ此段謹告候也

恆春丸　基隆著六月　五日　正午　基隆發六月　九日
　　　　基隆發六月十二日　前八　基隆著六月十五日

追テ六月廿二日基隆著六月廿六日基隆發瑞穗丸ハ定期就航可仕候

大阪商船株式會社

始政記念 四十年間の臺灣

我々非戰闘員まで
日本刀をぶち込む
臺北も土匪襲來で夜の
通行を禁止（小宮氏）

——（6）——

本社主催座談會

大澤　小宮さんは二十八年に臺灣へお出でた樣ですが、其際には宮部にお在でたと承知してゐますが當時の模樣をお話願ひたいと思ひます

小宮　始めて臺灣が日本に歸した其の際の一端を憶い描んで申上げます。先帝閣下さんより伏見宮殿下が本部を御統率になつて臺直宮にお遠入りになつたと云ふ頃から其の本部の御陣營にかりました殿下に私は随從して居りました關係上其の當時の一端を述べさして頂きます。私は明治二十八年の九月に一回の軍を發せて參りいたしました。

小舟で基隆から
臺北まで

其の時基隆港内の今の南岳[illegible]ありますあたりの海の中に小さな島があります。これは今は取拂はれて立派な港となつて居りますが、其の時分は未だ小島があつて、まだ荒れてゐて港も水が淺くして海灣な形の蒸汽が着き込んでゐて汽船が來てきました。[illegible]二、三千噸の汽船は港外に投錨致しまして、それから私は一つの小船に乘つて基隆川を下り大稻埕の河岸から上陸して臺北城内に這入つたのであります。當時兵隊は只今、我々非戰鬪員も[illegible]

身の爲めに日本刀を帯たへてゐたのであります。臺北城内外の情勢も土匪が南門、東門を襲ふと云ふ有樣で夜間等は北門、西門(今丁度臺北驛前)があります附近が西門であつた)だけに限つて門扉を開いて通行を許してあつたと云ふ有樣であつた。そして大稻埕、萬華は案外に安全の勢は少しもなく住民は附近に寄てられ蛇や蛇は群集し道路の狹隘屈曲なる、家屋建築の不取締りなる事其他凡ゆる生活狀態、社會狀態を見ましても支那政府の發置に對する施設の放擲であつたと云ふ事は誠に驚くの外はないのであります。又臺北城は四面

殿堅な城壁を以てしてあり、今は御承知の通り三線道路が取拂され、あるのでありますが、其の當時は堅牢なる城壁で、清な行政の場所であつたのであります。それから住民は自分の門戸だけは非常に嚴重な鍵を以て守りを固してありました。これは即ち一面住民の横行が盛んであつたと云ふ事を窺ひ知る事が出來るものでありますが、一面には支那政府及び其の保護施設の國家的觀念に乏しき經濟、唯僅かに一部一家を利益さへすればよいと云ふ利己的な思想を如實に發揮してゐるものであると云ふ感じを其の當時から存じた次第であります。當時臺灣には

表北帰臺、淡水帰臺が支那の改良下水道を築設され、新北門町から、臺北城内の支那領有を奇くなる部から、其の當時支那政府の改良局跡を經てより臺北市の臺灣都府の旨がありまして臺北城を開拓すべく支那が[illegible]

十日一日頃から南部方面に進軍する兵にかわつた[illegible]。これから南の有名なる何々族の抵抗などもありまして、これは[illegible]掃軍出ますとかう云ふ抵抗を[illegible]

一銃彈も投せす
臺南は落城

有[illegible]たのであります。

白川宮殿下、伏見宮殿下其の他の將士は非常に長く入城された次第でありますが、北白川宮殿下には御病氣の通り御承知の如く病と戰ひ遊ばされましてその年の十月二十八日に病が重られて御薨去あそばされた次第でありまして、伏見宮殿下におかせられては南部に御在營あらせられた殿下の此時宮殿下に奉仕致しました事、或は[illegible]の豫定が始めて御南進を遊ばしてゐましたことはまする非常に多[illegible]であります事は寔に無比の感激であります。又伏見宮殿下の御運動、或は[illegible]御本宮に關しましたのであります。二十八年十月二十八日北白川宮殿下の御薨去の後に[illegible]その家々には[illegible]の外にはないのであります。そして此の北白川宮殿下には二十九年十二月には十一月二十八日に南進御着して居られまして、私は平伏見宮と將軍に京都御所へ御同行で[illegible]の方へお歩きした[illegible]。私は[illegible]

する事にしますがお亡くなりに[illegible]密とせられまして非常な[illegible]

長官閣下は日に[illegible]下に隨從して[illegible]の通りに十年十二月[illegible]

座談會出席者

△臺灣總督府（資源局長）△臺灣內務局長△[illegible]臺灣議員[illegible]△小宮元之助氏（明治二十八年來臺）△[illegible]氏（明治二十九年來臺）△[illegible]（明治三十年來臺）△[illegible]（明治二十八年來臺）△[illegible]（明治三十年來臺）△[illegible]（明治三十年來臺）△[illegible]臺灣日日新報社長

鳳山丸の全船員が
拳銃を持つて警戒
海賊の首領が厦門に
渡つた噂から萬一に備へ

【基隆電話】[illegible]

[illegible]

の小宮氏

外地米生產費問題
農林拓務意見再對立
生產費調查會無期延期

外地米生產費問題所關。農林拓務兩省。再行對立。生產費調查會。事實上。且無期延期。遲延解決。拓務省。就外地意向大體如左。一、此回調查會。提出調查資料。別無作意的工作。皆應實際調查。一、一石生產費如內地所觀。比較的高。一反約不過內地半額。一、然農林省。拒絕內地生產費調查之資料提示徒論難外地生產費之不當。究何根據。殊苦諒解。一、生產費決定。離事務的見地不得。農林省。有異見地。別欲解決。絕對反對。五日東京來電云

七星郡茶農
發動機講習

七星郡街庄主催製茶用石油發動機講習會。訂來九日至十一日三日間。開于汐止街蘇清其氏劇場。講師委託追田州農會技手。講習人員。係郡下茶農十五名云。

旗艦龍田
八日入高雄
參加港祭

鳳山海軍無線電信所發表第五水雷戰隊旗艦龍田。為參加高雄港祭行事。及休養。訂來八日午後一時入港。繫留于第九岸壁。九、十兩日間。午前八時至午後四時。許一般拜觀又八、九、十三日夜間照射探照燈。為普及軍事思想並助港祭閙熱。按于十一日午前中出港。乘組員。司令官下村少將。艦長原大佐外准士官以上四十名下士官兵二百十名云。

觀賞花木
一部栽完
壽山森林公園

高雄州當局。壽山森林公園更新事業。本年度實施計畫。接續山球場之臺地及溪谷地帶。約二十五甲集團栽培南洋櫻。鳳凰木タガヤサン等花樹。及楓ランリン。南京黃櫨等柳子類。計約三萬餘株。日前已採伐雜木。從事於栽地之整頓。經栽培完了者又自壽峰。至日猿臺。岩整一帶。以局部的。試種四季緋櫻。桃、櫻、紅葉。躑躅各百餘株。現工作中。今後再二、三年間。當與前記溪谷地帶。一齊開花壽峰海拔。千二百尺。與平地氣候風土有異。亦有拔海二千尺之野生植物。料想緋櫻。躑躅等之栽培必能成功云。

糖業館
出品研究材料

博覽會第一會場小南門廣場糖業館中。臺南糖業試驗所。欲出品有益參考品。因出々張所長出府。與總督府磋商。豫定陳列如左。一、糖業試驗所全景。世俾知有糖業試驗所。而不知辦理何事。乃以試驗所鳥瞰圖。俾一目瞭然。知事務種類。二、甘蔗品種變遷。凡竹蔗。紅蔗。蚋蔗。大莖種舶古品種。以至現在大莖種優良種。以實物標本。表示改良變遷。且以圖表說示收量增加關係。三、早熟甘蔗之育成以甘蔗及蔗麥之交配種。欲得早熟品種。展示現在展示過程。四、新品種一〇八號。將來有望新品種。以何者而改良。說明其系統及特性。五、甘蔗水耕法。甘蔗育成於水槽中。依肥料作用。以資蔗園施肥配分上之參考。上記之外。尚有重要研究事項不少云。

南州警務部
開州下司法
警官會議

臺南州警務部。鑒于刑事々務繁忙。宜統制司法警察官及搜查事務。訂六、七、八三日間。在州會議室。開第一回州下司法警察官會議。集司法搜查當事部補以上二十五名。及會長佐々木警務部長。指導官石橋臺南法院檢察官長。臺南、嘉義法院支部五檢察官。佐野刑事課長。西村同係長等出席。第一日。午前十時起。有今川知事訓示。乃附議諸問。指示注意諸事項。第二日午前七時起。實地演習。第三日檢察官長訓授。次質疑事項應答。實務演習。講評等云。

蔣氏回訓漠然
何應欽氏更陷於苦境歟

北平四日電。何應欽氏請訓。蔣介石氏回訓。四日午後已至。內容如左。余至今日。努力日華親善。不意惹起今日事態。甚憾。其問題解決。一委貴下。如信適當。萬端可以措置。何氏接此。漠然無所把捉。却陷於苦境云。

黃郛氏
解決具體案
建議蔣氏

上海四日電。黃郛氏。與四日午後到滬之殷同氏。密議華北問題。結果致訓成都。蔣介石氏。以長文電報。述最近在滬與日方軍部代表折衝。所得為本之華北問題具體案。建議解決。有公赴漢口。余亦急行面商之語云。

謀一席地
學良為于學忠
蔣氏似允之

上海五日電。國民政府。決定罷于學忠。乃三日自漢口赴成都之張學良。面告蔣介石氏。內容如左。于學忠政治的生命。不會絕余政治的生命。且於舊東北軍。如何影響亦未可定。極力運動。蔣氏卽容其希望。決與于以其他適當要職。似已指令政府向來。國民政府。因援使之仍蒙第五十一軍長、與以適當政治的地位。兩三日中。合應發表云。

永田軍務局長
代陸相赴熱河
更赴天津

奉天四日電。林陸相初擬赴承德山海關。慰問熱河所屬部隊。其他方面。並視察長城線。及華北方面情勢。因故中止。永田軍務局長。乃為陸相代理。乘奉天五日午前六時。發飛行機。赴該方面。或更赴華北。會梅津天津軍司令官。傳陸相意圖、相議華北善後策云。

商震氏意氣
勸于軍全退
否則實力對付

天津四日電。四日午後八時半。據華方接報。且任平津警備司令之商震氏令部移駐下部隊於平津。與日方密接連絡。以維持治安。大有勸于軍完全撤退若干不肯。則以實力對付之意氣云。

蔣氏決裁不載
國府決定
學良派反對烈

天津四日電、南京政府部內。決定罷免于學忠。乃為張學良一派極力反對。仰蔣介石氏裁斷。蔣氏亦與[illegible]認。恐害東北軍大部分諸衷。而出暴舉亦未可知。頗為躊躇。又于之秘書。有于不自辭職之語云。

福州洪水
危機全脫

福州五日電。福州洪水。四日午後漸退。至五日朝早已全脫危機。又省政府目下被害調查中云。

我軍當局
尚嚴追究
使實行四事

北平五日電。華方實行我要求一部。現地事態。有稍緩和之觀。我在外軍當局。猶嚴監視華方對我要求之履行態度。必欲將當初要求四事。完全實行。積極追究云。

局鐵貨輸大增收
新年度五十三萬圓
首推砂糖五倍八分

鐵道部運輸課貨物係調查去五月中。貨物輸送狀況局鐵貨物輸送成績。貨車收入百八萬千八百十三圓。比前年同期。增收二十五萬七千百八十圓。十年度累計。增收五十三萬三千二十三圓。足見本島產業之隆盛。其中砂糖。視前年同期。增加五倍八分。蓋于九十年期糖之增產。製糖期間延長使然也。而日糖虎尾工場于二十二日製糖新營工場于二十五日各見完畢。以此為最後。本期製糖已全完。米之增加者。因潮州線一期米出貨。比前期早一旬內外。目下石炭為製糖期間延長。及船舶用炭增加。他如木材洋灰。煉瓦等之建築材料增加者。主為農村之好況一面為此新竹臺中兩州下震災害後復興。亦占大部分。五月肥料。以各州農會納入者。居其大部分。亦足以窺視農民對晚稻之如何用心也。雜貨之增加因其需要關係為一般的。故其移動。悉為本島景氣之標準。目下輸送狀勢。潮州線正在芭蕉最盛期。而地方之一期米。逐日出貨量增加。現忙于臨時貨物列車之增發等。豫定本月十日頃。雖屬地方的。而以此線路之輸送。為最盛期。其他方面隨早米之出貨。以次繁忙也。

斗六移民村
按七月初
盛舉入村式

臺南州斗六郡下移民村建設。工事順調進行。按本月末完成。兩州當局。對嘉南熟卒業生八名。訂來二十一日。集于斗六郡。給與農具。肥料。牛其他並準備食料。一齊整理耕地。開鑿水田。及園。前者播種二期作。後者栽培蔬菜等。按七月初。盛舉移民村入村式。又村名經已決定。不日可得發表云

宜蘭舊中元
普度改革
可節省三萬圓

宜蘭街。舊七月中元。例分七回普度。耗費不貲。且祭品相餽贈。極不衛生。有志屢倡改革。不果實現者番東警察課長。更欲徹底之。去三日午後一時半起。假公會堂。招集街管內保正甲長計四百餘名出席。開磋商會。樋口街長外來賓多數列席。由連保甲聯合會長。說明改良方法並決議。照原案通過。以七回縮小三回。一、第一回宜蘭市場。舊月小六月二十九日。月大三十日燃放水燈。舊七月一日普施孤魂。關字區域隔限。第二回巽門。坤門。金六結。舊七月十四日。燃放水燈。同十五日普施孤魂在五穀廟。第三回乾門。艮門。壯一。舊月小二十九日。同月大三十日。燃放水燈。末日普施孤魂。每戶節省六圓。全街可達三萬圓之巨額。由東課長說明宜蘭消防組。欲建設自動車喞筒。寄附金。建設飛機場。寄附募集之件。託保甲極力鼓舞。以達其目的。滿場贊同。至五時二十分頃散會云。

澎湖廳下所產甜瓜
耕作三種成績各佳
廳當局以責任斡旋

澎湖廳下。本年甜瓜。耕作面積一甲半。第一回豫想收穫。約三千個。目下新貨上市。價格一斤二十八錢。各方面定購蜂至。關澎湖甜瓜。據淺生庶務課長所談如次。澎湖甜瓜。聞為世界一之不甘。然吾人正以為澎湖之特產品。全加努力。務使發揮眞價向上。而蒙此惡評。殊覺殘念。然究其何以得此評判。蓋于疏指導外。現在各農家。掠奪的耕法。幾同野生。不為施肥。以是成果。雖具有外形者簇出。此等若屆時期。盛出于市面。概在棧橋邊交易。而逆瀨全島。遂受此惡評。此等雜物。自不能與眞甜瓜同日而語。且甜瓜有分第一二三番。其間大有差異若非第一番收穫。則澎湖甜瓜。雖有其實。本年甜瓜。耕作三種類。成績各良好。皆如豫期向上。誠堪為澎湖特產品稅稿。擬全加指導獎勵。以期品質向上。對該地所產甜瓜。大形者不若小形之較有香味。對本甜瓜之定購。廳勸業係。將以有責任斡旋云云。

廣東地方民衆好意
希望日華國交親善
中山大學馮教授談

商船南華航路廣東丸。去五日未明入基隆港。總乘客六百二十名。各等滿員同船有廣東國立中山大學農學院教授馮子京氏。引率東亞農業考察團七名來臺。馮教授係我東大出身農學士。日語暢談曰。豫定四十八日間。視察臺灣日本內地與各地農林業施設。在臺灣滯在。按一週間。乃至十日間。廣東製糖業。尚屬初步。至為栽培爪哇種。就中在來種。亦混多數。製糖工場現在三處。技師屬亞美加人。將來頗為有望。廣東之產業計畫。此外尚有紅毛土又農業。努力于水稻改良廣東一般民衆。對日本皆懷好意。以平等為原則。希望日華親善。北華事件在出發之時。詳細不明。該問題之發生。於日華將來、勿論不好。余屬今學者。政治問題不詳。亦雅不欲言也。又同船有廣西省政府工商局囑託板橋出身之本島人游石虎君。及農林局囑託蔡前澤君。廣西決歸臺。游君談曰。廣西省。自本年起。停止從來之舊式製糖。開辦新式機械製糖。蔗苗五萬斤（爪哇種十七萬餘。當臺灣之一甲步）。栽植完了。至為爪哇糖。金甘種。糖分因地勢氣候關係。不及臺灣。果得如何程度。現尚疑問。至自給自足之域。尚要相當月日。又廣西計畫栽培柑橘類。蔡君二三航海前由臺灣搬往種苗百箱云。

米穀改善協會
開座談會

新竹米穀改善協會。訂來十日午前十時。在市公會堂。就一、品種別取引厲行。二、粟乾燥強制方法注意。三、等級別粟實實厲行。四、實乾法厲行。五、頁瓊並稻熱病被害粟處置。開座談會云。

見學市內
學生視察團

廣東中山大學學生視察團一行七名。為視察本島產業。搭去五日入基隆港之廣東丸來臺。午後零時二十六分抵臺北驛。立訪問督府文教局。與往日因對岸南華視察相識之郡學務課長致詞。然後由文書課片寄氏同導見學博物館。植物園。中究林業部商品陳列館云。

詩海慈航
出版中豫約

瀛社長謝雪漁氏。為研究詩學者謀利便。搜集關係詩學著籍。參互考證。採取卓論。闡明蘊奧。編輯詩海慈航。分上下二卷。上卷。備載源流。及歌。謠。吟。引。曲。篇。弄。怨。五七言古。五七言絕。五七言律。六義八病。詩中常用語及虛字。引證用法實例。下卷載歷代詩學大家略歷。及詩話披萃。裝潢優美。外護布函。上卷約百頁。下卷亦約百頁。與前人近人所著者迥殊。定價金四圓豫約金參圓。將付剞劂。按本年九月中出版。欲購讀者。可函知臺北市蓬萊町二二一番地。又託妥人賚帶有豫約書各地募集。與之接洽亦可云。

全國初等教育大會
按臺博期中十月末開于臺北市
內外地及島內七百名出席

今秋臺博會期中。欲開全國初等教育者大會。由帝國教育會。與臺灣教育會開。交涉中。而阿部督府視察官。出席于全國學務部長會議後。特向當局交涉。諸事漸調。其經決定者如左。一、會場在臺北市醫專講堂。二、主催帝國教育會（臺灣教育會）。三、會期十月三十日三十一日兩日間。四、參加者全國初等教育者並初等教育關係者。五、區域。內地。外地（朝鮮。臺灣。）南洋。滿洲國。外務省指定學校（馬尼拉。香港）。右大會主催。為便宜上。以帝國教育會名義。其實際以臺灣教育會。對內地各府縣。及外地當局。發信勸誘。出席者。內外地按五百名島內二百名。計七百名。往復舟車減折。現交涉中萬一東京市長。帝國教育會長永田秀次郎氏。來臺出席時。則欲請其講演。而大會順序如左。第一日開會辭。奉唱國歌奉讀勅語。主催者敘禮。祝辭。乃入議事。終有關臺灣教育事業講演。第二日。議事終了後。視察市內及博覽會。大會終了後。出席者分數班。視察島內云。

嘉義市內
毆打兩則

嘉義市東門町三丁目二十五番地黃春。年二十六。五日午後六時。在市內西市前行商。被同市朝日町四丁目六十七番地無賴漢林淵清。年二十七。外一名。不分皂白。揮拳亂毆。陷于人事不省。急舁入回生醫院治療。生命危篤。加害者林淵清。現場被郎刑事捕去。原因為誤會齒春。對加害者家族嚴責。又同有東石郡太保庄麻魚寮人朱根。年三十一。及葉貴茂。年三十三。兩名在市內西門町六丁目游廓錦香亭小酌後。互相要求第二次會。終至用武。西門町派出員。聞報趕至。葉逃去。朱被捕云。

豚賣金不來
詐漢訊後留置

嘉義郡大林庄林子前三四四朱榮修。年二十四。去四月四日。對同庄中坑三六五錢安外五名。臨買豚十五頭。價格三百餘圓。其對于各人。先送交金額倍十餘圓。外尚二百餘圓。約于翌日兌清。然竟不照付履行。被害者。對同郡警察課。提出告訴。三日由警察課堀籠司法主任召喚。訊問後留置云。

大世界旅館
變更合資會社

臺北市太平町三丁目大世界旅館。此次變更為合資會社。資本金二萬圓。業務家業。使用人。及下女。大部分改換。以期面目一新。宿泊料照舊。文化室一泊一圓。並將樓下全部改造為客室。使得收容百名以上。以期應博覽會觀光客之需云。

畫報徵詩

本社畫報。每期徵詩。辱承大方各位。惠賜珠玉。不勝佩感。茲更擬定如左

題 曉起

七律 不拘韻

右請于來六月二十日以內惠交漢文部為荷。顧頌吟祺。

博覽會舉地鎭祭
關係者三百餘名參列
在新公園舉行

臺灣博覽會地鎭祭。如所豫報。去五日午前八時。在新公園廣場。嚴肅舉行。齋主由日宮司以下奉席。是日參列者。總督代理平塚長官。軍司令官代理桑木參謀長。保田總長。各局長。保田臺銀。三好德三郎氏等。並博覽會協贊會關係役員。委員等。共逾三百名出席。首先修祓。次由日宮司降神。祝詞。獻饌後。平塚博覽會長下錄。松本協贊會長（代松岡理事長）下錄。井手工營部長鎭物等。次總督代理。軍司令官代理。博覽會長代理。（奧田特產課長）協贊會長代理（松岡理事長）。知事代理（嘉元內務部長市尹）。工營部長。來賓代表保田臺銀頭取土木協會代表（國部氏代理）。奉奠玉串。式終。開簡單祝宴。由平塚博覽會長致辭。為來會者謝意。對此。為泉帝大總長起立。為新博覽會之隆昌乾杯。午九時過散會。

龍舟競渡
競爭甚烈
礁溪兩庄民

宜蘭郡礁溪庄淇武蘭州子尾兩庄。例年端午。龍舟競渡。本年訂來舊五月六日起。六日間。在淇武蘭港仔尾港。各輪流一日。而十、十一日兩日與間。兩庄各演唱梨園數齣。參加團體龍舟競渡。該處龍舟競渡。概為兩處之人。向來之說若優勝地。今年農產物定見豐收。然故競渡之日。兩庄人。宛如仇敵。不讓寸步。各逞勇力決雌雄云。

金山庄戶稅
權衡調查

臺北州基隆郡金山庄役場訂月六日午前八時。在公會堂。開昭和十年度戶稅賦課生產額權衡調查會云

捕放火狂
攜藥草及火柴
貪夜徘徊

北署風紀係鈴木。鄭兩事務員。去二日午後十一時在市內港町三丁目附近警邏中。發見攜藥草及火柴之男子。乃喚至北署調查判明為放火狂人淡水郡八里坌人鄭申。年三十四云

翰墨因緣

▲羅東街東明吟社。擬于來十六日。開創立一週年總會。並開擊鉢吟。分配月例會值東。

▲宜蘭郡壯圍庄。開瀛理王永錫扁。所徵詩文。因與稿甚少展限。二十名以內。均有酬贈。一、永鎮戒開漳（冠首）。一、交宗稅淵卷先生。一、徵收限至新曆七月十五日。一、交卷宜蘭郡壯圍庄役場內。

▲臺北市永樂町三丁目瓷洲吟社員鄭金柱氏。徵震災絕詩。島內惠賜珠玉。計千餘首。鄭氏因感島內人士。對諸災民深表同情。故決定對投稿者。各贈詩抄一冊。尚恐投稿者有住所氏名不明。希早向鄭氏聲明。方可發送贈品。但發表本投六月上旬。因恐臨鐵及郵遞發時。故稍延就亦未可知云。

▲南山生擬徵詩揭曉。前所徵題南山生擬詩。茲經卽雲石選畢。前茅十名如左。一臺中王竹修。二新竹希顏。三臺南吟香逸史。四景尾文淵生。五臺南鐵承烈。六臺南市隱。七斗六柯四寶。八臺化蘇宜秋。九臺北黃喬之。十臺南林珠浦。

▲彰化崇文社第二百八期文題孔教重興論。經楊星亭氏評選。一中壢楊梅古道興。二古柄。三文山文淵生。四文山文淵生。五美濃吳金沼。六臺中其眞。七新營王稚禎。八新營釋次池。九臺北卓周紘。十臺中其眞。十一文山文生。十二臺南韓秉澤。十三西濠逸士十四高雄陳國樑。十五臺中其異。十六臺北李世昌。十七臺北彰觀棠。十八高雄宋世彝。十九高雄陳國樑。二十西濠逸士。二十一高雄陳國。二十二臺南柯世宗。二十三高雄宋叢勇二十四高雄宋世英。二十五臺南雲生。二十六新港何際二十七臺南資益之。二十八楊梅劉文清。二十九臺南王努琨三十楠梓郭廷修。

又詩榜揭孔教重興如左。一鳳山鄭國樑。二鳳山盧聯濬三臺中柯古香。四文山文生。五楊梅古道興。六高雄陳國樑七臺南許君山。八楊梅古道興九高雄許君山。十臺南黃秀十一岡山李劍峰。十二頭圍綺雲生。十三楊梅古道興。十四高雄陳國樑。十五鳳山歐炳楷十七臺南柯比玉。十八楊梅古道興。十九阜林楊仲熙。二十高雄陳國樑。二十一中壢古炳。二十二新港何際虞。二十三頭圍綺雲生。二十四高雄陳國樑二十五高雄陳國樑。二十六頭圍綺雲生。二十八中壢古炳。二十九高雄陳國樑。三十澎湖宋世榮。

▲錦園卽事。詩榜。詞宗魏潤菴氏選。一高雄蕭二鄭戊端。三文淵生。四蔡沼楊。五吳醉錢五。九陳氏秋香。七文淵生。八謝三宋世雄。十四蔡湘甫。十五十一劉氏琼耶。十二文江。十鼠外堂主人。十六楊耕汀。十七賓獻三。十八謝芳池。十九謝錢五。二十蔡氏。二十一楊星亭。二十二高鍵滞。二十三許父。二十四許儷南。二十五陳守坤。二十六高敬德。二十七賓啓茂。二十八柯登鄒。二十九蔡敬廉。三十王清泉。

新莊
神社敷地

新莊郡役所。六日午前十一時。召集新莊街。鶯歌。五股。林口。各街庄委員八名。在於郡役所會議室。開新莊神社敷地選定。開協後委員會。

修養例會

新莊街婦人修養會。去五日午後一時半。在郡役所樓上。召集會員百餘名。開第二回例會。金子郡守。並由各庄務課長講演。至四時散會。

嘉義
腸疫患者

新竹州新竹郡新埔街南打鐵坑人。現住嘉義市南門町。永行商姚木春。年三十五。自本年五月下旬發病。入市內榮町加藤病院治療中。至六月一日。判明為腸疫。欲送入傳染病院。然被其逃去。嘉義署接報。恐其病傳染他人。嚴重查察。至四日始判明其歸鄉里云。

販假氈膠

高雄州鳳山郡舊港庄大林埔劉發入。年二十七。多行騙局。此回以不知其歷膠。假充氈膠。到嘉義郡新港庄方面行詐。去三日被嘉義郡警察課。捕往留置。聞被害者頗多其人云。

觀察團來

臺中州大屯郡產業視察團一行十數名。月四日午前。到嘉義。由嘉義郡與郡原技手。嚮導往視察郡下農事。

臺南
社會事業

臺南州當局主催之郡市社會事業事務磋商會。定來七八兩日間。朝八時起。開於州會議室。會者各郡市關係者十四名協議事項。聽取事項一、指示事項二、注意事項三、磋商事項二、外郡市提案十、希望事項三。就中指示事項。有聘金制度廢止及部落改善所關其設的方法云。

擧拔穗祭

新豐郡歸仁庄農業補習學校。於去四朝。由郡大西庶務課長。及庄主要人士參列之下。盛擧拔穗祭。

文山
醫療囑託

新店庄方面委員後援團體社會事業助成會。因鑑州費配付施療券。每苦不足。欲期施療機關完備。另加發行施療券。以新店同春醫院林栫杏氏為囑託醫。此後凡有方面委員所發給施療券者。無論公醫或林氏處。均可就醫云。

選舉講習

文山郡庶務課。自去一日起。每日午後一時。假會議室。開選舉事務講習會。講師吉田郡守。蘇村庶務課長。而講習員為郡職員。期間按二週間。

修築橋柱

新店景尾間之景尾溪留公圳橋因橋柱下所築石籠。經過多年有些流壞。此次由瑠公圳水利組合。施設改修。經費按六千餘圓。歸二宮工務所包辦。目下工事中。

彰化
戶稅查定

彰化市本年度戶稅生產調查。自四月一日。由調吏員。從事調查。茲告一段落。訂來八日午前九時。在市公會堂。召集町委員。開最後之查定會云。

拘二九天

彰化郡秀水庄馬鳴山。李頭前厝五番地。陳再添。年二十四去五月十二日。被富地派出所員。檢舉賭博。罰金十八圓。心甚不服。對該派出員不正行為。去三日告發。自目無司法主任。處以拘留二十九天

詩壇

春日過溪訪友　黃竹塘

雨餘苔徑滑。春啓草芽肥。為訪良朋出。還尋舊路歸。鳥吟如有韻。吾醉欲忘機。漸覺煙村落。明蟾上翠微。

重到悠然書齋

到此十來客。重來感倍深。人煙猶昔々。風物自今々。梧長新栽樹。柑添舊燒林。寒蛩如識我。傍曉憶情吟。

舊寓

昔々稱栖地。胡為一愴然。主人今數易。鄰右亦頻遷。梅老半斜月。蛩啼欲曙天。更尋懸榻處。位置異從前。

北州同聲聯吟

蓮塘　林述三　杜仰山選

左一　盧史雲

萬朵妖嬈正出塵。亭々玉立望平均。一池風動玫瑰般。十里霞封錦綉新。作畫何須倩劉叟。行吟端合過庭筠。納涼最好黃昏去。兩岸荷香欲襲人。

右一左二　曾笑雲

請香冉々水蕩々。春草生池夢未眞。露冷紅樓房違雨點。風翻碧扇沼無塵。光靄翳花光亂。珠點浮瑾雨點新。好是蓮窗橫十頃。停撓影裏賞荷人。

右二左十六　林夢梅

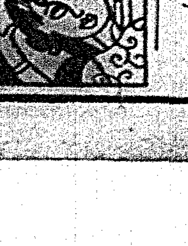
橫塘風趁月痕新。並蒂花開不染塵。濁世堪稱君子節。淨池空現美人身。亭々出水都無力。冉々凌波別有神。卅六鴛鴦香夢裡。莫教雙槳泛來頻。

左三右十四　何栫鄰

激灔波光碧四隣。清風兩岸絕纖塵。青錢疊疊連莖翠。綠柳長垂帶草新。十里荷香迎畫槳。一池涼味憶佳人。來時莫笑姮々步。怕動鴛鴦戲水濱。

右三左十　呂厚生

絕好田田隔水濱。淤泥拔取更丰神。香含鏡淨風停後。色映雲清月浸新。曲唱嬌聲消九夏。花開艷態勝三春。轉憐萬頃煙波下。太液昆明且莫倫。



櫻花夢（下卷）
第八十八回　前人何知今日

席散。山輝等齊集別室。良玉桃仁順氏令氏亦在。山輝曰。前刻雲生道人之言。可信乎抑不可信。嘉周曰。現時歐米日本諸國。皆有一種預言家。而亦有奇中者。雲生道人之預言則謂經決議必行者。是與其他預言絕異。其可信者乎。太平曰。聞其決議情形。則謂天機不可洩。屬於虛然矣。未可信也。忠淡曰。據天文學者所觀測。日月及諸星辰。皆有大氣包之。各成一氣圈。地球與他星體相距。遠近不同。欲交通他星體。設能實現與否。非吾所敢知也。祖香曰。雲生師之言多驗。家父亦如金科玉律。嘗有至理存其間。與他術士大言欺人者自異。文成曰。雲生師云。將以仙家之五遁法。改良為淺近者。使人習而用之。則無思氣圈之阻隔。揣言在今日論之。頗屬怪誕。等諸空言。然理論為實行之母。若今日飛行機飛行船在空中活動。時或用以交通。時或用以征戰。在十七八世紀。人未經實用。必以為妄。彼又何知有今日。故他日之應用遁法。或將如今之飛機飛船。自由去來也。山輝曰。赤崁城中。古今事蹟。領略殆徧。明日欲往高雄。觀打狗港形勢。祖香曰。我與文成弟當敬陪諸位。翌夜束裝。搭南下列車。直趨打狗港。遊壽山公園。太平往廳投刺。庶務課長是太平親戚。為告廳長。廳長命課長齋藤官接待。啓迎賓館。請茶點。山輝見岩頭岩下。猴兒跳躍。有臨人家籬落。竊取殘肴零飯。有嘗其半者。有未嘗即棄者。去忽如風。殊不畏人。嘉周問課長曰。此地猴兒禁捕耶。曰禁用銃擊。前時樹木蓊鬱。人跡不到。遂育頗繁。今拓為公園遊客時至。穴處無地。遂散其群。今所存者。不及昔之半。及至物園保護書類。分送諸人。課長招待諸人於壽山館。課長山輝等謙。席散。遂赴屏東。時日將暮。投宿旅館。市中一遊。（未完）